

昭和10年 (つづき)

早大快勝す 對立教蹴球

關東學生蹴球リーグ早大對立教の試合は卅一日午後三時から日吉台廣大グラウンドで竹内(主)木村、阿部(線)三若審判、立教の先陣に開始

早大 13(7) 10(1) 1 立教
試合は豫想された通り早大の一方的ゲームで早大のFWはかなりなましまりを見せてゐたがパツクはまだ落着きがなく、また守備にも何さなくギゴチないところがあった、立教の占めた唯一の得点は早大パツクのエラーにあつたもので立教FWにして今少しの鋭い氣魄を呼んでゐたならば或はもう一二點の得点を挙げ得たかも知れない

村廣田上田崎野野田口	4	4	15	0
中朝灰久井肥宮駒藤武山	FW	HB	FB	GK
兄本岸島弟野原野木江野	FW	HB	FB	GK
加川野西加關立濱倫堀佐	FW	HB	FB	GK
【早大】	7	5	2	1

S 10. 11. 1

蹴球

地方對抗選手権

蹴球競技全日本地方對抗選手権第二日は卅一日午後一時五十分から神宮競技場で第二回戦を舉行、優勝候補慶應B R B が攻撃線の威力を示した

慶應	4	0	0	0
B R B	5	0	0	0
熊本俱	0	0	0	0
【關東】	5	0	0	0

【熊本先陣、清水(主)宮本、粉川(線)三若審判】
熊本はキツクオフ直後出足のよい陣を見せたが關東の強攻にあつて忽ち各線亂れHB線は徒らに後退してFW線への供球なくFW線また中央線付近に一線をなして受身の一時に終始した、慶應B R B は解調さば音へないがこの勝敗は相當であるといふよりない

明治神宮體育大会

して善闘したが惜敗せざる、蜂章は前半大勢決したと思つてか動き鈍く前半の鋭鋒を見せず凡戦をつづけた

名高商(東海)

田脇田波本田藤木澤田村	2	9	16
太森伊藤安岡佐鈴中西中	FW	HB	FB
藤原泉谷田原樹島浦地賀	FW	HB	FB
齋佐大大三北大小三葉中	FW	HB	FB
蜂章俱(東北)	3	6	14

けふのプログラム

【地方對抗準々決勝】
關西大學對北陸四高俱、京城對附館一戸山學校(二時半)

S 10. 11. 1

蹴球

地方對抗

蹴球競技第三日は一日午後一時から戸山球場で全日本地方對抗選手権第二回戦を舉行、附館は京城を堂々攻め立て、収束した

關西	4	2	1	1
四高俱	2	2	1	1
【關西】	4	2	1	1

【四高俱先陣、手島(主)江崎、大村(線)三若審判】
【關西】
關西大學對北陸四高俱、京城對附館一戸山學校(二時半)

明治神宮體育大会

蹴球

關西大學對北陸四高俱	7	1	10
京城對附館一戸山學校	3	6	22
【關西】	7	1	10

【關西】
關西大學對北陸四高俱、京城對附館一戸山學校(二時半)

關西大學對北陸四高俱	7	1	10
京城對附館一戸山學校	3	6	22
【關西】	7	1	10

【關西】
關西大學對北陸四高俱、京城對附館一戸山學校(二時半)

けふのプログラム

【地方對抗準決勝】
慶應B R B 對東北蜂章俱、京城對附館一戸山(二時半)

S 10-11-1

蜂章強攻の前に名高商コンビネーションを襲ひ蜂章が三點を収めたに對し八分右CK、三十四分中央突破があつたのみ、後半は兩側を開いてオープンに試合を進め成功し六分四分名高商優勢廿五分から二點を恢復

近近官橋崎川元丸藤内宮	6	5	2
堀石二播駒松石松伊竹一	FW	HB	FB
田毛部岡本木村額田野掛	FW	HB	FB
内養阿西坂藤大永林西月	FW	HB	FB
熊本俱(九州)	1	3	21

S 10-11-2

蹴球

◇地方對抗選手権

蹴球競技第四日は二日午後一時から戸山球場で全日本地方對抗選手権決勝二試合を挙行

△準決勝

關東	6	4	0	東北
慶應 B	2	1	0	蜂章俱
R B				

關東先蹴、杉村(主) 鹽谷、金澤 (線)三君審判

◇前半 東北は頭得點機會を得たが空しく關東は十四分東北陣中央にFKを得岩崎の好キックを得て得點更に三點を加ふ

◇後半 開始直後關東は右近一點を加へ東北は十七分頃から得點機會屢々あつたが空しく終る、二十二分大泉、三田、彌藤のパスなを決定的の機會であつたが逸機したのは得點力を欠く結果である、關東は二十五分増田の得點で快勝す

【東】北

慶應 B	3	5	18	0
FW				
HB				
FB				
GK				
CK				
FK				
GK				
PK				

部近田慶元丸藤崎官
塚右増播胸松石松伊右一

【朝】東

朝鮮	2	0	0	關西
京城蹴	2	0	0	關學大
關西先蹴				吉原(主)大村、神賢
(線)三君審判				

◇前半 慎重に過ぎて凡蹴逸機兩軍得點なし
◇後半 關西の強攻空しく朝鮮は四分首肯し兼ねる機會に恵まれ一點を拾ふ、一九分LW蔡の送球は崔からCF金にわたつてその好蹴で一點を加へ關西は好機を逸して空敗す

明治神宮體育大會

蹴球

朝鮮代表勝つ

關東決勝に敗る

◇地方對抗決勝

蹴球競技は三日午前十時二十五分から神宮競技場で全日本地方對抗選手権決勝關東(慶應B R B)對朝鮮(京城蹴球團)の試合を野村(主)渡邊、村形(線)三君審判の下に關東先蹴で舉行朝鮮代表が優勝した

朝鮮	2	1	0	關東
京城蹴	2	1	0	慶應 B R B

◇前半 風上の朝鮮は巧みに風を利し關東向風にパスワーク乱れて不利な試合を續けた、二分朝鮮はRB村の長送球左前に出で關東はRBモーションを起したがゴールアウトと見て逃した瞬間、朝鮮のLW蔡、LI崔跳び込み蔡のパスを崔シュートして一點を先取

【朝】東

宮近田慶元丸内崎官	10	2	18	0
二右増播胸松石松竹岩一				
FW				
HB				
FB				
GK				
CK				
FK				
GK				
PK				

【朝】鮮

四日の運動

◇蹴球【學生第三部】工大棄權 日大

S 10 . 11 . 5

關東高專蹴球 關東高專

蹴球聯盟二試合は六日午後舉行成績左の如し

商船	6	4	1	東海
高學	13	4	9	0
				明薬

S 10 . 11 . 7

浮沈の一戦を

蹴立大惜敗す

球 商大辛うじて勝つ

關東大學蹴球聯盟立教對商大戰は七日午後二時半から石神井球場で竹内(主)木村、阿部(線)三君審判の下に立教先攻で開始、シーズンゲームを演じた末商大辛勝す

商大 4-1-1-2-3 立教 3-1-1-1-3

◇前半 二分半商大はCH小西の前送球をLW大掛シュートして一點を先取、立教は十分CH飯島の放ったチャージボールを追って井上灰田チャージして突つ込み同点となる、二十三分立教はPI久保田の送球高く出で商大GK失に乗じてLW中村突つ込み2-1のリードとなる

◇後半 三分商大はLF枝村の前送球大きく出で立教FB逸して危機を招きLW大掛シュートして得点2-2となる商大は八分更にRI林田のパスをLW大掛ぶつてFBを抜きシュートしてゴール成り3-2商大リード、立教の全線漸く亂れ商大は三十八分RI林田の好蹴はバアを弾い

たがLW大掛チャージ、LI荒井拾つてシュートすればゴールインとなつて二点を開く、立教は四十三分LI朝廣の集積で突き出した球をRI久保田アツシユして一點を報いたが惜しくも敗る

立大

村廣田上崎島崎野本口 3 11 19 0

中朝灰久井巨飯駒藤岡山 3 11 19 0

FW FB GK CK FK PK 5 16 19 0

掛井田田井田西島村木島

大荒角林村森小水枝鈴田

商大

審査

◇：浮沈にかゝる重要なこの一戦であつたがために兩軍は氣ばかり焦つてフットワークは鈍重を極め利那利那のプレイによつて繰り合はされた凡戦に終結した

◇：立教はシーズン半ばにして上田兄を失ひ折重なる事故のため陣容手薄となつて窮余の一策として灰田を前線に送つたがこれは必ずしも背水の陣として何等得る所なく布陣において既に失敗してゐた前半商大HB線の後退はFW線との連鎖を薄くしてゐたのに乗じ朝廣の活躍は飯島の力闘と共に立教陣の命脈を保たしめたが兩君が後半疲勞するに及んで全線は局部的に辛くも糊塗し商大FW線の不用のパスに救はれたやうなものであつた、石神井の高原球場に用鐘を聞く思ひでのプレイであつて見ればそれは賣めるにあたらぬとしてもコンピネーションを忘れた動きに至つては立教イレヴンのため一言なきを得ない

◇：商大は立教に比しチームバランスはとれてゐたが前半FW線の弱氣はチャンスを目潰す事が多

かつた、前半廿五分の如きRIがフリーシュートの絶好機會を無用のパスに逸した如き、四十三分左CKの機會を隠して躊躇し朝廣殊動のヘッドイングとして止んだなどはその最たるものであつた、勝つたとしても商大は善闘したとは言へぬ、正鵠の判断に果敢のプレイが伴はぬ事を惜しんで置かう

◇：この試合のフリーキックは合せて廿七本、焦つて位置を知らぬオフサイドが三割強、これは兩軍の焦燥を物語り一面身命をも賭した一戦であつた事も示してゐよう (山田生)

S 10. 11. 8

九日の運動

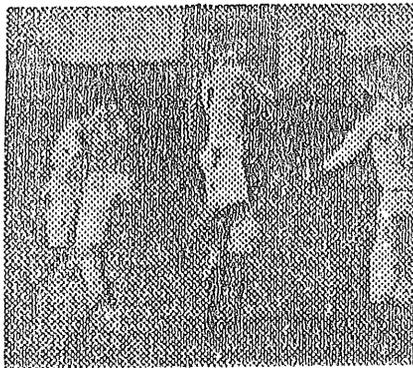
球 (リーグ戦) 工大6-1 國大
▲成蹊5-3 府高▲浦高4
1 高野醫大 阪電話 關學17-0
大外語 S 10. 11. 10

早大蹴球陣崩れず

帝大の追撃を突放す

早大 4-2 2-0 帝大

◇帝大の回調は屢應を降しこの一戦は久し振りに覇権を左右する重要性を持つに至つた、近來の早大の出來榮えからすれば孰れに勝味ありとも言はれぬ試合であつた



早大立原の悪陣を帝大川島ノック

関東大學蹴球聯盟早大對帝大戦は九日午後三時から神宮體育場で濱田(主)松元、津田(總)三浦雅利の下に早大の先陣で悪行

られたものとしては恨深いのが致し方はない、こゝで混乱の狀態に置かれた早大は一轉機を見出したのであるが帝大は屈せず陣容にも異變を認めぬ善陣であつた

◇後半に入つて眠れる獅子が目ざめ醒めたのは早大陣を遺體なく攪亂し巧みなカットで攻守は地をかへた、FW線兩翼をきかして固固のプレイに成功したが、後半帝大陣の試合も漸く後半なかば頃からの疲勞によつてもれも運び切れず潰れた、こゝに實力の相違ありとも見られる、帝大は實力以上の好戦と言へよう

◇それにしても早大は立原の得點まではFW線は極めて變化に乏しいボールの贈り物を離り返した

十日の運動

- ◇蹴球 ▲明大 7-1 荻大 ▲拓大 8-1 中大 ▲千葉醫(兼禮) 日大 ▲日醫大 7-1 駒大 ▲一高 8-1 8商船 ▲外語 2-1 明葉 ▲(大阪電燈) 京大 1-1 關大

S 10. 11. 11

運動界だより

◇大日本蹴球協合理事竹腰重丸君は今般鴨岡登子嬢と婚約整ひ来る廿三日學士會館に於て華燭の典を舉げる事となつた

S 10. 11. 13

十三日の運動

◇蹴球 成隊 5-1 東醫

S 10. 11. 14

がもう少し工夫があつてよかつたと思はれる、重寶に固くなつたといふ事も言へるだらうがボールを流し込むにしても一律一體といふとはらぬ、早大は守備陣の奮闘によつて勝つた一戦でありFW線は試合毎に模倣替へをやつてゐるのでラインとしては未成品で、この出來榮えも首肯出来るが模倣替へと工夫に關しては注意を拂ふ必要があらう(山田生)

試合成績 (九日後)

早大	0	0	0	0	0	0	0
文大	0	1	0	0	2	2	2
帝大	1	0	2	2	2	2	2
立原	0	0	0	0	0	0	0
橋本	0	0	0	0	0	0	0
大	0	0	0	0	0	0	0
立原	0	0	0	0	0	0	0
橋本	0	0	0	0	0	0	0
大	0	0	0	0	0	0	0
立原	0	0	0	0	0	0	0
橋本	0	0	0	0	0	0	0
大	0	0	0	0	0	0	0
立原	0	0	0	0	0	0	0
橋本	0	0	0	0	0	0	0
大	0	0	0	0	0	0	0
立原	0	0	0	0	0	0	0
橋本	0	0	0	0	0	0	0
大	0	0	0	0	0	0	0
立原	0	0	0	0	0	0	0
橋本	0	0	0	0	0	0	0
大	0	0	0	0	0	0	0
立原	0	0	0	0	0	0	0
橋本	0	0	0	0	0	0	0
大	0	0	0	0	0	0	0
立原	0	0	0	0	0	0	0
橋本	0	0	0	0	0	0	0
大	0	0	0	0	0	0	0
立原	0	0	0	0	0	0	0
橋本	0	0	0	0	0	0	0
大	0	0	0	0	0	0	0
立原	0	0	0	0	0	0	0
橋本	0	0	0	0	0	0	0
大	0	0	0	0	0	0	0
立原	0	0	0	0	0	0	0
橋本	0	0	0	0	0	0	0
大	0	0	0	0	0	0	0
立原	0	0	0	0	0	0	0
橋本	0	0	0	0	0	0	0
大	0	0	0	0	0	0	0
立原	0	0	0	0	0	0	0
橋本	0	0	0	0	0	0	0
大	0	0	0	0	0	0	0
立原	0	0	0	0	0	0	0
橋本	0	0	0	0	0	0	0
大	0	0	0	0	0	0	0
立原	0	0	0	0	0	0	0
橋本	0	0	0	0	0	0	0
大	0	0	0	0	0	0	0
立原	0	0	0	0	0	0	0
橋本	0	0	0	0	0	0	0
大	0	0	0	0	0	0	0
立原	0	0	0	0	0	0	0
橋本	0	0	0	0	0	0	0
大	0	0	0	0	0	0	0
立原	0	0	0	0	0	0	0
橋本	0	0	0	0	0	0	0
大	0	0	0	0	0	0	0
立原	0	0	0	0	0	0	0
橋本	0	0	0	0	0	0	0
大	0	0	0	0	0	0	0
立原	0	0	0	0	0	0	0
橋本	0	0	0	0	0	0	0
大	0	0	0	0	0	0	0
立原	0	0	0	0	0	0	0
橋本	0	0	0	0	0	0	0
大	0	0	0	0	0	0	0
立原	0	0	0	0	0	0	0
橋本	0	0	0	0	0	0	0
大	0	0	0	0	0	0	0
立原	0	0	0	0	0	0	0
橋本	0	0	0	0	0	0	0
大	0	0	0	0	0	0	0
立原	0	0	0	0	0	0	0
橋本	0	0	0	0	0	0	0
大	0	0	0	0	0	0	0
立原	0	0	0	0	0	0	0
橋本	0	0	0	0	0	0	0
大	0	0	0	0	0	0	0
立原	0	0	0	0	0	0	0
橋本	0	0	0	0	0	0	0
大	0	0	0	0	0	0	0
立原	0	0	0	0	0	0	0
橋本	0	0	0	0	0	0	0
大	0	0	0	0	0	0	0
立原	0	0	0	0	0	0	0
橋本	0	0	0	0	0	0	0
大	0	0	0	0	0	0	0
立原	0	0	0	0	0	0	0
橋本	0	0	0	0	0	0	0
大	0	0	0	0	0	0	0
立原	0	0	0	0	0	0	0
橋本	0	0	0	0	0	0	0
大	0	0	0	0	0	0	0
立原	0	0	0	0	0	0	0
橋本	0	0	0	0	0	0	0
大	0	0	0	0	0	0	0
立原	0	0	0	0	0	0	0
橋本	0	0	0	0	0	0	0
大	0	0	0	0	0	0	0
立原	0	0	0	0	0	0	0
橋本	0	0	0	0	0	0	0
大	0	0	0	0	0	0	0
立原	0	0	0	0	0	0	0
橋本	0	0	0	0	0	0	0
大	0	0	0	0	0	0	0
立原	0	0	0	0	0	0	0
橋本	0	0	0	0	0	0	0
大	0	0	0	0	0	0	0
立原	0	0	0	0	0	0	0
橋本	0	0	0	0	0	0	0
大	0	0	0	0	0	0	0
立原	0	0	0	0	0	0	0
橋本	0	0	0	0	0	0	0
大	0	0	0	0	0	0	0
立原	0	0	0	0	0	0	0
橋本	0	0	0	0	0	0	0
大	0	0	0	0	0	0	0
立原	0	0	0	0	0	0	0
橋本	0	0	0	0	0	0	0
大	0	0	0	0	0	0	0
立原	0	0	0	0	0	0	0
橋本	0	0	0	0	0	0	0
大	0	0	0	0	0	0	0
立原	0	0	0	0	0	0	0
橋本	0	0	0	0	0	0	0
大	0	0	0	0	0	0	0
立原	0	0	0	0	0	0	0
橋本	0	0	0	0	0	0	0
大	0	0	0	0	0	0	0
立原	0	0	0	0	0	0	0
橋本	0	0	0	0	0	0	0
大	0	0	0	0	0	0	0
立原	0	0	0	0	0	0	0
橋本	0	0	0	0	0	0	0
大	0	0	0	0	0	0	0
立原	0	0	0	0	0	0	0
橋本	0	0	0	0	0	0	0
大	0	0	0	0	0	0	0
立原	0	0	0	0	0	0	0
橋本	0	0	0	0	0	0	0
大	0	0	0	0	0	0	0
立原	0	0	0	0	0	0	0
橋本	0	0	0	0	0	0	0
大	0	0	0	0	0	0	0
立原	0	0	0	0	0	0	0
橋本	0	0	0	0	0	0	0
大	0	0	0	0	0	0	0
立原	0	0	0	0	0	0	0
橋本	0	0	0	0	0	0	0
大	0	0	0	0	0	0	0
立原	0	0	0	0	0	0	0
橋本	0	0	0	0	0	0	0
大	0	0	0	0	0	0	0
立原	0	0	0	0	0	0	0
橋本	0	0	0	0	0	0	0
大	0	0	0	0	0	0	0
立原	0	0	0	0	0	0	0
橋本	0	0	0	0	0	0	0
大	0	0	0	0	0	0	0
立原	0	0	0	0	0	0	0
橋本	0	0	0	0	0	0	0
大	0	0	0	0	0	0	0
立原	0	0	0	0	0	0	0
橋本	0	0	0	0	0	0	0
大	0	0	0	0	0	0	0
立原	0	0	0	0	0	0	0
橋本	0	0	0	0	0	0	0
大	0	0	0	0	0	0	0
立原	0	0	0	0	0	0	0
橋本	0	0	0	0	0	0	0
大	0	0	0	0	0	0	0
立原	0	0	0	0	0	0	0
橋本	0	0	0	0	0	0	0
大	0	0	0	0	0	0	0
立原	0	0	0	0	0	0	0
橋本	0	0	0	0	0	0	0
大	0	0	0	0	0	0	0
立原	0	0	0	0	0	0	0
橋本	0	0	0	0	0	0	0
大	0	0	0	0	0	0	0
立原	0	0	0	0	0	0	0
橋本	0	0	0	0	0	0	0
大	0	0	0	0	0	0	0
立原	0	0	0	0	0	0	0
橋本	0	0	0	0	0	0	0
大	0	0	0	0	0	0	0
立原	0	0	0	0	0	0	0
橋本	0	0	0	0	0	0	0
大	0	0	0	0	0	0	0
立原	0	0	0	0	0	0	0
橋本	0	0	0	0	0	0	0
大	0	0	0	0	0	0	0
立原	0	0	0	0	0	0	0
橋本	0	0	0	0	0	0	0
大	0	0	0	0	0	0	0
立原	0	0	0	0	0	0	0
橋本	0	0	0	0	0	0	0
大	0	0	0	0	0	0	0
立原	0	0	0	0	0	0	0
橋本	0	0	0	0	0	0	0
大	0	0	0	0	0	0	0
立原	0	0	0	0	0	0	0
橋本	0	0	0	0	0	0	0

關東府縣對抗

中等蹴球

來月廿六、七兩日

本社後援・關東蹴球協會主催

第三回

本社後援關東蹴球協會主催第三回關東府縣對抗中等學校蹴球選手權大會は恒例に依り來る十二月廿六七の二日間明治神宮外苑競技場において開く事になつた、地元東京府は來る廿三日を第一日として五日間に亙り豫選會を開き最強チームの選出に力を注げば一躍牙城を築いた菲崎中學を擁する山梨縣また早くから本大會に備へ球史際と輝く神奈川、茨城、栃木、埼玉の各陣また必勝を期して戦備を整へつゝあり干葉、群馬もこれに劣らず準備は成つた各地方ともチームの強化が完全に行はれてゐるために今夏に比し情勢は一轉し果していづれのチームが各府縣代表の榮冠を獲得して本大會に登場するか

形勢は混沌として豫選を許さぬものがある

◇第一日(十二月二十六日) 第一回戦四試合:午前十時開始
 ◇第二日(十二月二十七日) △準決勝:午前十時、同十一時十五分開始 △決勝:午後二時半

向東京府豫選は十一月廿三日(祭)同三十日(土)十二月一日(日)同七日(土)同八日(日)の五日間會場は選定中、申込は今十五日(十五日の日付印あるものは受付ける)を限り東京市芝區新橋三ノ一六駒場ビル内關東蹴球協會にて主將會議は十八日午後六時から本社會議室において開く

終戦を迎へて氣負ひ立つたが後半潰れて敗れこゝに全敗の記録を残して來シーズンには第二部に廻る事になり商大が力戦したが好調の帝大の前に降つた

慶應 10-2-1-1 立教

(一時膠着先競、審判高山(主)官澤、官本(線)三君)

◇前半 五分慶應は好機を逸したが十七分増田一剛崎一増田のパスを増田シュートし球はGK山口にあつて返りこれをF.B.クリヤして立教の危機去つたと思はれたが慶應は播磨拾つてシュートしゴールインとなる立教は二十九分朝廣左寄りに持ち込んでセンターリングすれば宮崎から溜にパス、溜シュートして得點同點となつたが慶應は三十五分近シュートし立教GK叩いて潰すを拾つた播磨シュートして得點、慶應辛くも2-1のリードとなる

◇後半 二分慶應は松元の前送球を躍出さつて右前に掛り播磨シュートして一點を加へ慶應漸く巧みに球を廻して立陣を亂し八分、十八分と次

【慶應】
 官近田藤崎川元藤藤宮 10 2 10 0
 (二右増播崎)官石松伊加一

村廣 保藤田崎田島本口 2 1 25 0
 中朝 久齋武官灰飯岡山
 【立教】

夫得點、立教全く闘志を失ひ番編亂れチャンスを作る程に試合を運べず潰滅した

帝大 5-3-1-1 2 商大
 (三時帝大先競井田(主)上野 柴田(線)三君)

◇前半 五分帝大は潮田のセンター

リングを高橋左に廻し横山シュートして一點を先取、廿一分商大のチャンスを潰した帝大は高橋右寄りのドリブルで商大バツクスを抜き更に左に廻つて吊り出されたGKの處を衝いて一點を加へ、商大は廿五分金井のリターンパスを林田ひっかけたシュートし一點をかへす

◇後半 六分帝大は南陣二十米邊にFKを得たが逸す、商大は二十分左C区後帝陣の崩れた際に大掛の放つた短送球は帝大L.F.觸例して過越し

【試合成績(十五日迄)】
 立大 0 0 0 0 0 0 5 0 5 0
 商大 0 0 0 0 0 2 4 1 3 0
 慶大 1 1 0 2 2 2 4 2 1 1
 帝大 0 1 1 2 2 2 4 2 1 1
 文大 1 1 1 1 1 2 3 1 0 2
 早大 2 2 2 2 2 3 3 0 0
 早文帝慶商立 合勝負分定點 6 4 5 5 2 0

自陣を破る、帝大は二十五分C.K.後横山のヘツデングで一點を加へ辛くもリード、卅八分帝大は中央線近く南陣にFKを得、潮田さつて高く正面に寄せれば高橋ひっかけ得點し四十分潮田一横山のパスを横山シュートし商大GKセーブしたがゴールインとなり5-2と開き商大は四十四分左C区を得たが無爲に終る

【商大】
 掛井井田井崎西島村木島 4 4 23 0
 (大荒金林村岩小水枝崎田)

山 橋原田 田内田原島 13 6 18 0
 横 高川潮 藤大藤大藤川

【審判】
 勝敗は既に定つてゐたと言へこれ最

終の一戦ではあり前半帝大の経過を辿れば勝敗は東も角試合興味に期待をかけるが後半3-1後

てゴールを開放し潰走の一途を辿つた、戦備の差があつたにしても10-1の相違があると思はれねばならない。慶令敗れるにしても商大の悔いなき力戦に匹敵するものであり度いものであつた

◇帝商の一戦も帝大の勝利が豫想されたもので相當の結果が残された、然し商大は勁敵帝大を相手にして玉碎の意氣を燃やして臨んだために自づと全技全能を傾け得た、試合はこの結果スピーディーに運ばれ寄せの巧みな帝大もこれが爲FW線の決定機を失はしめられてゐた、2-0となつたが商大も得點機會は帝大のそれに劣らずFW線に決定力があつたならば2-1のスコアも變はれずに済んだのではなかつたと思はれた、商大の執拗さはスコアの上にもあらはれ2-1となり拾ひものではあつたが2-2の同點で帝大陣を潰滅させたあたり不撓不屈の精神に生きると言へよう、以後三點を加へられたがこれは帝大の巧技が帝大の面目を保たしめた丈けの事で商大としては如何ともする事の出来ぬものであつた、然しこれによつて商大の無能とは評價されるものではない(山田傳)

【拓大蹴球勝つ 關東大學蹴球リーグ第二部拓大對諸大戦は十五日午後三時から石神井清水組グラウンドで村形(主)所村、長谷川(線)三氏審判拓大先競で舉行結局五対四で拓大勝つ

慶、帝勝つ

立教遂に全敗

大學蹴球リーグ戦

S10-11-16
 關東大學蹴球聯盟設立、帝商の二校場で舉行、曇天微風ではあるが試合は十五日午後一時から神宮前コンディションは良い、立教は最

今季蹴球リーグ戦

早大の優勝確定

文大を破り四戦四勝

朝東大リーグ蹴球部早大対文大戦は十六日午後二時から日吉自習球場で松丸(主将)指揮、乙骨(副主将)審判の下に早大先攻で開始、両軍相争は激しく雨後の球場は良好ではなかったが、文大後半力戦したが前半に大勢を決して空しく結局五對三で早大の勝つ所となつた。これで早大は四戦四勝し對蹠蹠戦を破つてゐるが本シーズンの優勝を獲得する事となつた。

早大 5(14) 2(1) 3 文大

◇文大は二回引分けてはゐるが早大と共に無傷、この結果如何は前シーズンの如く優勝決定の再試合も行はれる事にならうといふ。ツグゲームで双方慎重な構への下に試合は開始された、然るに文大守備陣は意外にも脆く早大はキック・オフと共に相途を迂るが如く文大陣に迫つた、文大は辛くもがれはしたが右に最初のC.K.を興へ而もこのキックにより早大に先取得點を許した、守備線が鋭敏な動きを見せてゐたから決して潰し切れないものではなかつた、この負擔は文大の出端を挫き動きは自然鈍重に陥つた、前半なかばにして漸く闘志を呼んで各線を整へ2-1と追ひすがつたがハイフタイム直前守備線の崩れを衝かれて二點を許し大勢を決定してしまつた。

立直つて滑らかなスタートを切り鐵桶を誇つた早大陣を引つかき廻し十一回のC.K.を収め早大として強攻を續けた、試合は文大七分、早大三分の文大壓倒的の試合、これは前半早大H.B線が忠實なフォロアップに依つて攻撃層を厚くしてゐたのと同様で堂々たるものであつた、然し文大FW線は松永に續き久下好調であつたが意外小川の出来悪くそれに突つ込みの鋭さを欠いてゐたため二點の回復に止んだ、文大の悪い滑り出しもこの試合を失はしめてゐるがFW線の決定力を欠いてゐるのは見逃せない、殊に後半十一回のC.K.を得ながら僅かに第十一回のC.K.を早大が潰し損ねこれを原簿が拾つて一點を記録したに止まる、早大が前半直接的でなく共三回のC.K.で二點を得てゐるのに思ひ較べれば余りに淋しいものがある、得點の絶對的チャンスとしてのC.K.の取扱は今後文大に残された課題である。

◇早大は最近後半に入つて不仕態な試合を續けてゐるがこれはバツクスの體力不足といふよりも變化を求め複雑多岐のパスを用ひて徒に劣してゐる結果、體力的の消

耗がもたらすものである、後半防戦にこれつとめた早大守備線は判断と位置に關し天下無敵と誇るにはあたらぬ、文大が松永に呼應するゴールゲッターを擁してゐたならこの試合は後半において覆されてゐた筈である、それにしてもFW線は決定的の機會を落したと

【文 大】

島下永	川村藤田塚部内	14	3	13	0
長久松	小林原藤三阿中	4	3	20	0
FW	FW	CK	FK	GK	PK
兄本壽	野原岡木江波	4	3	20	0
加川野西加藤立末鈴藤不					

はいへ面目を新たにし攻撃力の優れてゐる所を示してゐた(山田生) 經過 ◇前中 開始直後早大は右C.K.をせり加茂弟の好蹴は文大に潰す余餘はあつたが川本拾つて得

點、二十一分早大は又も左C.K.後一度潰されたが立原拾つて前送、野澤機會を逸し右前に出た球をRW加茂引つけて得點2-10を開く、文大は三十五分小林-小川のパスは左前に運されLW長島ヘッドングで右前に小さく流しこれを久下までつて好蹴一點をかへす早大は四十三分右隅のスロインから加茂弟センターリングし川本落球目がけて送り込んで一點を加へ更にFW線左側の三角パスが大きく右前に運されるを加茂弟中央に寄せてシュートし1-1となる

◇後半 文大は開始直後四回のC.K.を連取したが無為早大は六、七分のフリーシュートの機會を凡敵でのがす文大は十六分R.H藤田の高目の前送球は早大GKのためノックされたが久下、松永連通して迫り球はゴールに流れ込み早大は十八分加茂兄弟センターリングから運れた球をねらつて川本フリーシュートして得點、三十分頃から文大は早陣に球を進めて攻撃を續け四十分右C.K.後CH原崎クリーンシュートして一點を加へ5-1となり四十二分の新機を逸して止む



得點の直前 ◇後半十六分文大R.H藤田の高目の前送球を早大G.K.不破ノックした瞬間、不破の下に體を屈してゐるのが文大久下、右方にゴールカザアせるは早大L.F鈴木

◇試合成績(十六日迄)

早大	帝大	慶大	文大	商大	立大
0	0	1	0	0	0
2	2	1	1	1	1
2	2	2	2	2	2
4	5	4	4	4	5
4	3	2	1	1	3
4	0	1	1	1	2
0	0	1	1	2	0
0	1	1	1	2	0
8	7	5	4	2	0

十六日の運動

◇蹴球 【三部】上智大

關西學生蹴球(第一部)
 【大阪電話】關西學生蹴球リーグ第一部十七日甲子園南運動場で舉行

京大	8	4	11	2	神高西
關學1	10	0	1	1	關大

十七日の運動

◇蹴球 日商6-1東商▲商船4-1
 1東高▲青學7-8東商▲府立高
 8-0明榮▲浦高8-0工務▲旗
 專11-0東榮▲千葉實業福大

府縣對抗中學蹴球 本社
球東京府組合せ 後援
 地方府縣對抗中等學校蹴球大會東京府選は二十三日から戸山學校で舉行されるが組合せは左の如く決定

▲第一回戦(二十三日)府八中對明學中(十時)早實對青師(十一時半)開成中對日大二中(一時)豐師對成城(二時半)▲三十日青學中對慶豐(一時)獨協對府立一商(二時半)▲十一月一日附屬中對成城中(十時)不戦一勝曉

攻守共に早大優る

勝負の鍵は意氣

二十四日の早慶蹴球豫想

S10-11-22

早慶蹴球戦は關東大學リ
 一ゲ戦の今シーズンにおける結びの一戦としてこの廿四日神宮競技場に於て行はれる、前シーズンに四勝一引分の同成績で優勝決定の再試合を行つて尙勝敗決せず、早慶共に優勝といふ關東學生蹴球聯盟結成以來かつて見ない記録を残したのであつた、然るに今シーズンの慶應は岩波、塚越の両副將を送り出し藤岡の引退、主將右近の病氣といふ重ね重ねの不運はシーズンの幕を開けると共にチーム力の低落を暴露し文大と引分け、反撥力旺盛の東大に敗れるなど前シーズンの面影を止めず二勝一敗一引分といふ近來にない不振の戦績を以てこの最終戦を迎へる事になつた

これに引換へ早大は帝文の追撃にあつて案外苦

明學蹴球除名

高専聯盟から

關東高專蹴球聯盟第三部の明治學院蹴球部は去る十月二十七日の對浦高戦に無断棄權したので聯盟では直ちにその理由を質問したところ何等回答なく再三の呼出しに對しても一向に應ぜざるため聯盟は之を誠意なきものと認め十八日午後五時半から協會事務所に緊急代表委員會を開催規約に従つて満場一致除名と決定しこの言關東協會に申告した、之に對し關東協會側では十九日の午後五時半から協會事務所で緊急理事會を開きその處置を討議の結果承認と決定

拓大、農大勝つ

關東學生蹴球(二部)

關東學生蹴球聯盟第二部農大對明大、拓大對法政の二試合は二十日午後一時から神宮競技場で舉行、農大は明大を六對一で破つて四勝一引分の成績を以て第二部で優勝し、一部の最下位立教と入替つて一部に返り咲く事となつた

拓大	10	6	4	2	2	法政
農大	6	3	3	0	1	1

S10-11-21

必勝、微力の慶應の必敗を斷ずる事が出來ずこの一戦は精神力の如何が勝敗分岐の鍵となるものと見たい

参 考までに兩軍陣容を一瞥すれば慶應のFW線は三宮、右近の病後の選手を起用し期待を右側の播磨、駒崎に持たねばならぬやうに均衡を失してゐるのに對し早大は近來本格的のプレイによつてFW線の中核をなす野澤を中心として加茂兄のコントロールに多少難はあるが優れたコンビによつてパス・ワークも秀で機會をよく作るゴール・ゲッターも揃つてゐる、HB線は立原を中心とする早大は石川を中心とする慶應のそれよりも動く範圍も廣く且確實性に富み攻撃力も守備力も優つてゐる、之をFB線に就て見るに堀江、鈴木の影の形に添ふ如く密にして圓滑な早大の動きに比し慶應は伊藤、加藤の見劣りがL GKは一長一短優劣を判じ難いとしても變動のあつた慶應と前シーズンの布陣をそのままの早大とは相當の開きがある、四試合二十九得點、七失點と十九得點、九失點は大體においてこの兩チーム力の相違を窺ふに足るものである、然し前シーズンも早大は四試合について二十八得點、四失點、慶應は二十四得點、六失點で今シーズンとは比較にならぬにしても早大に劣つてゐたのであるが早大の全勝を阻んでゐる

チ ム力は各方面から考察して慶應の優れた點を見出せないが徹頭徹尾精神力によつて試合を運び得たものに終幕の一戦は收められよう(山田生)

關東中等蹴球 組合せ

本社後援關東蹴球協會主催關東地方對抗中等學校蹴球大會東京府豫選第一日(廿三日)は戸山學校で行ふが組合せは次の通りである

△府八中對明學中(十時)△早實對青師(十一時半)△開成中對日大二中(一時)△豊師對成城(二時半)

S 10. 11. 23

關東中等蹴球

東京豫選(第一日)

本社後援、關東蹴球協會主催第三回關東地方對抗中等學校蹴球選手權大會東京豫選第一日は二十三日午前十時より戸山學校において第一回戦四試合を舉行

府立八中 4 (3-1-0) 1 明學中 (1-1-1)

【明學中先攻、井出(主)村形、塚本(線)三君審判】

青山師 栗橋 早 實

開成中 6 (3-1-0) 0 日大二中 (3-1-0)

【開成先攻、金澤(主)坂田、猪又(線)三君審判】

豊島師 4 (3-1-0) 1 成城高専 (1-1-1)

【豊師先攻、清水(主)宮本、粉川(線)三君審判】

S 10. 11. 24

2-1 文大辛勝

白熱の對商大蹴球

關東大學蹴球聯盟文大對商大の試合は二十三日午後二時から石神井球場で岩崎(主)野邊田、志岐(線)三君審判の下に文大先攻で舉行二對一で文大が辛勝した

文大 2 (1-1-0) 1 商大

◇前半：廿一分商大はRH水島のフールドをRI林田とつてパスすればLI荒井右に廻つて受けクリン・シュートして一點を先取、四十一分文大はLH木村ゴール前にチャイテ球を送りRW小川ヘッドで受けゴール前に落しLI長島これをアツシユして得點1-1となる

◇後半：兩軍好機あつたが入らず文大は三十五分CH原崎の右前送球を小川タツクルを外してドリヴル後射

センターリングすればLI長島へツディングできめ勝敗を決定した

【文大】

堀島下 川村崎田塚部内

長久 小木原藤三阿中

FW HB FB GK CK FK GK PK

水井井田井藤西島野木島

清荒金林村後小水早餘田

【商大】

審判：双方共今シーズンの最終戦でベストチームを臨みたい所であるが文大松永、商大は大掛、枝村とそれぞれ傷病者を出してチーム力低下を余儀なくされた、所が商大はこの

結果として奮起の後を見せ一方文大は支柱を失つて支離滅裂、原崎の叱咤呼號で辛くも試合を進めた観がある

◇FW線の動き、パスワークは商大において一脈相通する所の働いたものが決定的な機會が多くなつてゐた、然るに得點が僅か一を算するといふのはその得點力の不足、文大GK中垣内の好戦力闘があつたためである、これに反し文大はバツクスの善闘を反古にするFW線の心許ない球捌きで一人の松永を失つてゐる事が頗る影響してゐた(山田生)

◇試合成績(二十三日迄)

立大	0	0	0	0	0	0	0	0	0
慶大	0	0	0	0	0	0	0	0	0
文大	0	0	1	1	2	2	2	2	2
早帝	0	0	1	1	2	2	2	2	2
早帝	2	2	2	2	2	2	2	2	2
早帝	4	5	5	5	5	5	5	5	5
早帝	4	3	1	1	1	1	1	1	1
早帝	4	0	0	0	0	0	0	0	0
早帝	8	7	6	5	2	2	0	0	0

S 10. 11. 24

廿三日の運動

◇蹴球 府立高4-2外語、これが高専第二部は府高、外語、成蹊同成績のため改めて第一位決定リーグ戦を行ふ△高専4-2高工専△東高6-2東高△慈大8-3中大△【大阪電話】神戸高専11-2大阪外語

S 10. 11. 24

慶應に快勝し

早大二年連覇

關東大學蹴球（第一部）

關東大學蹴球聯盟今季の最終戦である早慶試合は廿四日午後二時半から神宮競技場で竹内(主)大内、荻原(線)三君審判の下に早大先攻で舉行、雨もよみの空で球場は濕り氣を含んでゐるが微風の先づ不足は言はれぬコンディションである、慶應は時計台側で微風を利用したるが實力の相違は如何ともする事が出来ず前半大勢を決し結局8-1で早大の快勝する所となつた、早大は今季五戦五勝して三年連覇の榮を遂げ前シーズン早慶同率で保留された本社寄贈杯に名譽を刻む事となり来る十五日關西リーグ優勝校關學と東西争覇戦に出場の資格をも併せて獲得した

早大 8 (4-1-1) 2 慶應

◇：早慶今季の戦績を繰れば早大の勝味を十分に豫想するのであるがリーグ戦に於て顔を合せる事十二回であり乍ら兎角この對抗戦は意氣が支配する事多く勝敗の歸趨を豫想せしめなかつた、然るにこの日の早大はこの對抗戦に於てはじめて冷靜沈着な態度を以て臨んだ、勝敗はキックオフと共に戦はずして決定したともいへるものであつた、こゝで早大の勝利は精神力において技術において相當の

結果を見せたといふ事になる、リーグ戦における両者は引分五回、早大四、慶應三の勝試合となりこゝに早大は一勝を加へたのであるがスコアが8-2といふのが如く大きく開いた事は昭和八年早大5-2早とリーグ戦開始の大正十三年早3-0慶とが数へられるのみで極めて稀しい事で實力は兎も角今日の出来栄えからすればこの開きも亦余儀ないものであるが余りに惨めな戦績が記録されて批判の外にある試合である

◇：勿論試合を決定づけたものはバックスの實力の相違にあつた、新人FW加藤が上氣してセンターリングをカットし損ねた球は皮肉にも自陣に流れ込み後半に於ても其の逸球は得點の機會となるなどこれは技術を完封した氣分の重壓がもたらしたものであるが慶應は守備的にも非力であつた、早大のそれには及ばぬにしても相當FWはFDはしてゐたが一度FW線にボールが出てフオロアップが十分に行はれず攻撃層の厚味を加へ得ぬやうに體力の上からも相違はあつた、これが直接的にFW線の攻撃に影響したと言はぬがこの必然の結果として攻撃は單一でバ

スワークは飽く迄執拗に出る早大バックスのため潰される事が多かつた、攻撃的には増田がオンサイドにあり乍らFW線をリードする事なく右近、播磨と布くセンタースリーはその威力を示し得ず駒崎、二宮また不調とあつては致し方ない、全線萎縮、終始受身の中に伊藤挺身の防禦、一宮の力闘が僅かに慶應の意氣を代表するものであつた

◇：これに反し早大は攻撃力がいよ／＼増幅されてゐた、今季豊富な陣容が災して試合毎にチーム編成を行つてゐたがこの試合に於てはじめてその編成が成功してゐた、尤も川本がインサイドとしてその技、その動きがイタについたのが相當影響してゐるが平松の技術も非凡、西呂の裏の激しい動き、加茂兄弟の好走、巧技等々FW線の完成してゐた點から見れば慶應バックスの非力のみを云爲する事は出来ない、對文大戦に關野案外凡プレイを見せたがこの日は立原、笹野と共に中樞線の一角をよく守つてゐた、立原の好位、鈴木、堀江の強引は勝つたが故に光るものではなく早大誇示の鐵壁陣を完成して最終戦に臨んだといふ事になる、不破が進退を誤る事は

あつたが早大が二點を奪はれた事、必ずしも其の守備力の拙劣を語るにはあたらない、FW線に鋭い突つ込みと制球力の整つたものが慶應にあれば試合は開いても掉尾のピツクゲームとして光彩を放つたらうと惜しまれる

◇：嚴密に言ふならば試合内容は乏しくもあつたがそれは慶應が試合を最後まで捨てぬ事によつて補はれてゐた(山田生)

【慶應】	宮近田 藤崎 元川 藤腰 官 辻	27	19	0
	二石 増播 駒松 石 伊加一	CK	FK	GK
	FW	PK		
	HB			
	FB			
	GK			
	松本 兒色 弟野 原野 木江 破	11	9	14
	平川 加西 加關 立 笹 倫 藤 堀	0		
【早大】				



早大後半の第一點

後半三分左KCを得た早大平松の好蹴をを加茂(兄)イデツグンして得點

關東中等校蹴球 第三回關東の組合せ
 球第二日組合 東府縣對 抗中等學
 蹴球選手權大會東京府選第二

◇青學中對慶應(午後一時)
 ◇獨協中對府一商(午後二時半)

S10.11.30

* ←左ページの下部に試合経過

關東中等蹴

本社後援、關東蹴球協會主催第三回關東府縣對抗中等學校蹴球選手權大會東京豫選第二日は三十日午後一時より戸山學校球場に於て第一回戦二試合を舉行、青學中、府一商快勝し二回戦に進んだ

青學中 6-2-10 慶 普

青學中先蹴、小野(主) 藤井、鈴木(線) 三君審判

慶 慶中遠藤方口日本野端

慶 伊加田渡後緒山夏藤水川

FW HB FB GK CK FK GK

慶 伊加田渡後緒山夏藤水川

商船優勝 (高等蹴球 第一部)

關東高等蹴球リーグ第一部の覇を決すべき商船対成城高の試合は三

關東中等蹴球

東京豫選第三日

成城中 0-0-0 附屬中

附屬先蹴、金澤(主) 小山、辻

青山師 6-4-2 0 府立八中

青師先蹴、小野(主) 小長谷、藤田(線) 三君審判

根原中藤立口水井木井倉

青茅根演道橋野清平鈴木宮

崎原山山村柳田本田沼塚

瓜永高丸野小山根益田江

豐島師 5-2-3 0-1 開成中

豐島先蹴、清水(主) 伊藤、金澤

井川黒田津貝山川根田

横清小村金須越前關長

原榎岡地木古願藤間石田

開成内高岩佐名廣近本白島

開成内高岩佐名廣近本白島

開成内高岩佐名廣近本白島

十日午後二時から和泉明大グラウンドで舉行商船は今シーズン四勝一引分の成績で第一部に優勝す

商船	4-1-12	3-1-3	成城
----	--------	-------	----

一日の運動

慶應醫學部	3-1-2	千葉醫大
高 3	1-0-2	商大慶
浦高OB	1-0-0	浦 高
東京火災	3-1-0	東京電氣
關西學生リーグ	2-0-0	二部入替戦
神 商大	12-1-1	大阪外語

府立高外語引分

高専蹴球部 蹴球

リーグ二部、府立高對外語順位決定三回戦は五日午後二時四十分から明大球場で舉行、一對一の引分となった

府立高 1-10-10 1 外語

試合経過

○前半：スタンド側ミッドフィールDの偵察的の應酬は五分早大が慶應のスローインから加茂兄のカツアで川本のセンターリングは右に深く出たが加茂弟フリーシュートして一點を先取五分加茂弟のセンターリングを加茂兄ノウマークで好蹴したが慶應一宮見事なセーブでのがる、十二分慶應は駒崎のセンターリングを右近きつて右に流し採合せなつたが増田のキック外れてゴールアウト、続いてRH辻の左前好送球を二宮へツデングしたがこれもアウト、早大は十八分自陣のスローインから出た球を加茂兄中央線付近からドリブルして左側を抜きベナルティエリアにかつて右に切りかへれば中央に寄つ

今季試合成績表

順位	早帝文慶商立	試合勝負分	定點
1	早大	10-1-1	10
2	帝大	1-10-10	1
3	文大	1-10-10	1
4	慶大	1-10-10	1
5	商大	1-10-10	1
6	立大	1-10-10	1

ルを割り一點を蹴じた、慶應は卅三分播磨の左前送球を二宮へツデインでゴールを衝き右近のチャレンジで一點をかへし8-1となる、四十分早大は中央でセンタースリでキープレ正面を抜き加茂兄ドリブルシュートして一點を加ふ

○後半：二分早大CH立原の左に寄せた長蹴をRH辻達したが伊藤飛び込んでよく潰す、三分早大は左CKを得、平松の好蹴を加茂兄へツデインでゴールを駆け5-1を開く慶應FW線に球を寄せるが動きが早めでチャヤンスならず、早大は十二分中央線を出て加茂兄深く右前送球すれば加茂弟よくきつてこれを左に運し、平松は更に右に運し更めてRH笹野の前送となつたのを加茂弟シュートして慶應は殆んどノウタツチの多角的のパスでゴールを蹴られた早大は更に十五分RH笹野の左前長送球を慶應はRF加藤達し平松拾つてシュートして一點を加へ7-1となる、この後慶應は早陣に球を集めるが決定的の機會を捉へず、二十五分、播磨のパスを増田ノウマークで真正面にこれを受けたが高くアウト、廿七分早大はCH立原の左前送球を平松中央に返し川本シュートしたが慶應は一宮セーブしてのがる、三十二分慶應は中央線にFKを得て正面を割り駒崎ひつかけてシュートして一點を加へれば早大は卅五分川本シュートした時西邑飛び込んで一宮輝かれゴールインとなり8-2となる、四十分早大は左CKを得たが慶應バックスツプはミッドフィールDに攻めあつてノーサイドなる

S 10. 11. 25

S 10. 12. 1

S 10. 12. 2

S 10. 12. 6

S 10. 11. 25

關東中學蹴球

本社後援、關東蹴球協會主催第三回府縣對抗關東中等學校蹴球選手權大會東京豫選第四日は七日午後二時半より成城中對曉屋中の二回戦を舉行成城は前半曉屋の強襲をGK石塚の活躍によりゴールを守り、後半は互角に試合を進めたが兩軍共にゴールゲッターなく延長戦に入り、尙勝敗決せず抽籤の結果成城再度の抽籤勝となり府一の商の棄權により不戦勝となつた青學中と共に準決勝に進んだ

成城中 0 (抽籤勝) 0000 0000 0 曉屋中
 成城先攻、石井(主) 奥井、長内(線) 三君審判

成城

子 納木尾本上木井岡塚 4 3 18
 武 加守若松村青石石石

FW HB FB GK CK FK GK
 堀村澤木元橋樞田村瀬森 5 4 9

小松大餘秋高來池野成太
 青學中(棄權) 府立一商

本日の組合せ

△準決勝 青學中對成城中(九時)
 青山師對豐島師(十時半)
 △決勝 (二時)以上於戸山學校

七日の運動

◇蹴球
 第一生命 7—3 東京火災
 商大豫科 3—1 浦和高

S 10.12.8

東京代表は

豊島師

關東中等蹴球

本社後援、關東蹴球協會主催第三回府縣對抗關東中等學校蹴球選手權大會東京豫選最終日は八日午前九時より引續き戸山學校において舉行第一回關東大會の覇者豊師再度東京代表となつた

準決勝

青學中 4 3 1 0 0 成城中

豊島師 4 3 1 1 1 2 青山師

決勝

豊師 4 3 1 0 0 0 青學

【豊島先攻、濱田(主) 石井、福島(線) 三君審判】

◇前半 豊島CF清川再三見事なドリブルで青學のバックを抜くも續く者なく十六分豊島左スロインからLWIRILLIに渡り横井シュートして一點を先取
 ◇後半 六分豊島PKを得CF清水キックして得點更に二十一分清水、ゴール前混戦中の球をアツシユして3-0を開き、その後二十九分一點を加へて4-0で快勝す

豊島師

井川 黒田 藤澤 山川 根田 4 3 8 1

林 横溝 小村 伊金 櫻前 關長

FW HB FB GK CK FK GK PK
 田谷田川 成本 坂野 山崎 野

谷川 谷 2 4 16 0

徳米 隆 長 谷 谷 天 春 川 小

青學

S 10.12.9

スポーツ



王座を目ざして

相見ゆるる兩雄

早の老巧、新鋭の關學

東西對抗蹴球豫想

三度び關東に覇を稱へた早大と四年振りに關西球界に返り咲いた關西學院大學とは来る十五日午後二時から神宮競技場において學生蹴球界の王座を争ふ事になった、定期戦において相見え

この数字の上

に示された得点力

漸く顔合せする事になった、今シーズン早大は五戦五勝三十七得点、九失点の記録をとめれば關學また五戦五勝、三十得点三失点の記録を残してゐる

守備力は早關伯仲の間にあるが如く見えるが、先般行はれた全日本地方對抗選手権大會に關西代表として出馬した關學の出来栄からすれば早關の間にも自づと開きがあるを否めない、七分三分の相違もあらうと思はれるものである、然し關學は野澤、林の登場に依つて攻撃力を増幅し自づとチーム力を



早大主將立原

關學主將山藤

大快戦が年末の贈物として供へられるのではなからうか

關西學院大學の豫想される陣容は
 團 澤藤中 井田俊 井部 川
 梅林野山田 笠三田 松宮 西

FW HB FB GK

攻撃はH B線のワイードが多くは野澤に集中され野澤はきまつて梅園に捌くこの一定球道は攻撃の武器であるに相違ないが一度敗れたならば砲身を失つて彈藥を抱くに等しいものがある、然し傷後の田中漸く好調に立歸り林、山藤を残してのW型は守備的であつても後陣の優れたキックによつて

守勢から攻勢

に急轉せしめ得る

ものがあるから猛攻を浴せる早大も一度球を落せば窮地に立つであらう、田中、梅園の正確なセントリーング、野澤の鋭い突つ込みは既に定評のある所でありセンターストリーは山型の動きであるにしてもゴールの決定力を持ち合せてゐる、守備的には密集混乱に陥つて案外強く懸念されるのは電光石火の早大FW線のうるさい動きに對してつき切れるかである、これに對し早大は野澤痲床に於いて未開を起用し久し振りに吉田を送つて左の如き陣容を以て臨む事になつてゐる

松本兄岡弟 田原野 木江野
 平川 加未加 吉立 笹 鈴堀 佐
 FW HB FB GK

攻撃力はH B線のフォロウ・アップに依つて厚くFW線の個々の完

守備線に焦る

事かな

は正に完璧、關學のロングキックに格別の備へは勿論必要であるが進んで守備範圍を擴大する要はない

老巧ぞろひの早大はチームバランスがとれて居るが新鋭ぞろひの關學は是非でもこゝを破つて行くであらう、試合の興味はこの點から繰り出されて行く、關學はなまじ戰術的に早大を引き廻さうなどとするならば自ら幕八を捲るものである、個々の技術に信頼して大膽に試合を進めて出たらこの一戦まさにビッグ・ゲームとして娯楽を博するに足らう(山田生)

5.10.12.13

早大關學を粉砕

東西對抗初の大記録

蹴球三年の連覇

第七回東西學生對抗蹴球争覇の早大對關學大戦は十五日午後二時から神宮競技場で竹内(主)石井、金澤(録)三君審判の下に早大先戦で舉行、霜解けの球場は曇天無風なれども足を奪つてコンディションは不良、關學大はスタートよく一點を先取したが早大は十八分一點を奪つて同點としてから關學陣崩れ三十一分にして5-1大勢を決し結局十二對二で早大は東西對抗最初の大記録を掲げ

12-2

(早大)	松本兄 田原野 木江野	12	6	20
(關學)	梅林 澤藤中 井田邊 井部川	4	5	20
	野山田 笠三田 松宮西			

三年連覇學生蹴球界の王座を占める所となり終了後本社寄贈の球型トロフィーは美士路編輯局長の手から授與されて今シーズン關東におけるビッグ・ゲームの幕を閉じた

早大 12-2 關西學 院大

試合経過

前年 關學のキックよきのび全陣整つて解スタートし早大は氣重いつ試合を續く、十一分早大は平松のパスを川本逸したが加茂兄受けてドリブル。シュート、右側の出足遅れて逸す、關學は十四分早大陣右のスロインを前出して三田左に廻し梅園フリー。シュートして一點を先取、早大は十五分左右的CKを得たが無爲、十八分關學陣左のスロインから出た球を西邑密集の中からヘッディングで前に捌き川本蹴つて出

シシ關學はGK西川辛くもクリヤしたのを西邑ジャムプしてヘッディングできめ8-1となる、早大は廿七分平松シュート後加茂兄アツシユとして得點、關學は三十分梅園、野澤のパスを田中逸しこれを山藤拾つてシュートしたが惜しくも外る、僅か八分の間に四點を奪はれた關學としてはFW線上出來の好機であつた早大は三十一分ゴールキックから速攻に出で平松、加茂弟のパスで抜き加茂アツシユして5-1となり勝敗を決定づけ關學は陣容乱れて收拾すべからざるものとなつた、三十分五分、後關學は單的の攻撃を見せ三十分五分、四十分五分好機を思はせたが後續なく潰されて止む

後年 五分早大はFWパスで進み加茂弟ドリブルに出れば關學は松井アツクルを試みたが空しく加茂弟はGK西川進出の隙を衝いて得點、關學は八分梅園野澤の並進強襲も凡蹴となり止む十二分早大GK佐野のファンブルに際して野澤拾つてシ

ユートしたが早大後野のため潰されて終る、早大は十四分加茂兄弟の好パス左前に出で川本シュートしゴールを割つたがオフサイドで終り十八分早大の鋭い左の寄せは關學守備陣を破つて西邑のアツシユにより得點7-1と開く、廿五分早大は右CKを加茂弟好蹴し左前に伸び出てたのを川本前進へツディングで得點更にこの直後川本の長蹴に際し西邑チャイシしてきめ9-1となる關學は二十七分野澤長蹴で早大ゴールを脅かしたが早大GK佐野の快技で潰さる、早大は三十分川本右寄りに高くセンターリングすれば加茂弟引つかけGK西川出たが及ばずゴールインとなりこの直後西邑の得點で11-1と開く、關學散漫的なが中央の強攻を續け三十四分野澤の長蹴はそのゴールインとなり一

點を返したが早大は四十三分加茂弟のセンターリングを西邑滑つて出でシュートして一點を増し十二對二となり關學に好機なく惨敗となる

審判

早大が三年連覇優勝といふ初の輝かしい記録で彩り、然も曾て見ざる大きなスコアで東西對抗史は飾られてしまつた、早關が曾て行つた定期戦は關學の四勝一敗四引分で關學が傳統の強味を誇つてゐたのであるがこの一戦においてこれも雲散霧消したやうなものである、戦前早大に七分の勝味も關學の逆襲攻法の効果で割引されてゐたのであるがこれは試合開始後關學の一點先取、十八分早大が同點とするに及んで立消えてしまつた

耐れ、ば施す策もなく潰れとなつてゐた、之はH.B.線の非力が一層拍車をかけてゐたと見られる、前半三十二分早大が右CKを得たがこの時西邑を放りだして危機を孕んだ如き、第二點、第八點、第十點、第十二點等みなこの中に數へらるべきものである

關學はキックの優れてゐる所

關學は十分の偵察を遂げて愈その實力の相違を示した、前半十八分から三十一分までの間に五點を奪つたあたり非凡を語るものである、相手を見抜く余裕も實力の相違あればこそであるがチャンスをよく作りよく決定する力と全線のソツのない鋭い動きには賞讃の辭を惜しむものではない、早大FW線の巧みな寄せと球の流しは關學にも前半三十分梅園、野澤、田中の中央、兩翼をきかして後に追走の山藤が拾つて逸したとして

も攻法は見られたが大部は個人技に頼り過ぎたもので早大の比ではない、假令鐵桶の陣を破られて二點を許しはしたがこれは致し方なく早大としてはかつて見ない沈着な態度で臨んだ試合で技術、精神力、戰術的に遙かに關學の上を行くものであり、この快勝は當然であつた

關學が大勢既に決し散漫的の逆襲とは言へ試合を最後まで捨てなかつた所に敬意を表し此一戦の結果に依り關西蹴球界を批判する事は出来ないが蹴球のため一層の奮起を促して置かう(山田生)

神戸高商制覇 東西高専

蹴球對抗戦神戸高商對東京商船の試合は十五日午前十時から神宮競技場で審判塚部(主)福島・西(線)三海商船の先蹴で開始、神戸高商が四對二で快勝した

神戸高商 4 (13) (0) 2 東京商船

S 10・12・16

關西の蹴球招待試合に早大不出場か

關西蹴球協會主催の早慶兩大學招待蹴球戦は明春一月一日、四日の二日間甲子園南運動場で舉行される筈だったが早大蹴球部では就職試験、學業の都合で立原主將以下鈴木、堀江、野澤、加茂兄の有力選手が出場不可能となり更に正月元日より東京帝大に於て行はれる全國高校大會に早高として出場する關係から加茂弟、吉田、末岡、不破も出場おぼつかなく、十六日正午部會を開いて右招待を辭退する事に決定し直ちにその意向を關東協會並びに關西協會へ申告した兩協會側としては近日中に理事會を開いてこれが對策を講ずる事となつてゐるが強いて早大の出場を勧告する事となれば第二選手の補充に於けるため著しく實力低下する事となるであらうから、帝大、文理大の出場なき限り期待された程の熱戦も見られまい

S 10・12・17



蹴球

精神と技を融合

端的に突進め

『當今隨一』の早大

明夏ベルリン・オリムピック初登
場を控へて活氣を呼んだ今シーズ
ンの蹴球界は去る十五日早大と關
西學院大との間に行はれた東西對
抗戦を以て前半の最大行事を完了
した、この前半を檢討回顧して昨
シーズンの如く早慶が再び相見え
て優勝敗決しなかつた而も蹴球
のみ偏んで全面的に

不振を 叫び内容乏しと
して概く向があるが、ベルリン・
オリムピックを控へてこれに備へ
ただけの收穫はあつたと思ふ

開東大蹴球聯盟についてこれを
見れば人を得、時にめぐり合せて
とは書へ、東大が復活の曙光を見
せ、文大が返り咲いて前シーズン

の覇者早慶を脅かし或は壓を壓せ
るが如き、一方關西學生蹴球聯盟
にあつては久し振りに關大が京
大、關西學院大に眞向から絶打ち
せるが如きはオリムピック初登場
の刺戟も大いに與つてゐる、斯か
る事實を掲げて滿悦するものでは
ないが水陸兩競技の如く

記録的 に對比すべき何
物もなく、さりとて評價すべき標
準もなく春の全日本選手権明治神
宮大會の初併せて行はれた全日
本地方對抗朝鮮代表京城蹴球團
が優勝し學生蹴球界に早大が進行
邁歩して三年五座を確保せるとい
ふ偏した事實と自己を中心とした
過去の記憶にすがつて球界の飛躍
向上なしと斷ずるもあたらなければ

は悲観する事もあつてはゐない
選手續を評價するものではないが
京城蹴球團は時の利に恵まれて春
秋二季に二選手續を獲得した、個
人の足技がチームの基礎として結
びつけられるならば正に完璧を誇
り得ようが、二選手續大會の跡を
顧る時、頭腦的の博物も見出せず
關東の諸強を席巻した學句に關西
を代表した關西學院大學を粉砕し
て三度全國學生蹴球界に君臨する
事になつた早大チームの概する
實力は 遙かに上を行く
ものである、シュート・レンジ・レンヂ
の大なる、コントロールの巧味は
京城に於て優れたるを認めるが、
事實はこれを適用する所までの完
成を見ない、文大、東大の向上に
よつて後期以上の苦戦を演じはし
たが、シーズンの深まるに連れて
個人技をチーム力として織り込ん
だ早大のチャンスを決定づける力
の鋭さは到底京城の及ぶ所ではな
い、徒らにボールをキープする事

早FWの凄味 塞三
立原後援部長の一蹴で、左翼
第一線に球が出ると、他の四人
がナゲレ込む凄まじい無人の野
を疾驅する悍馬だ



が實力ではなく相手のゴールを陥
れる事が即實力で攻撃線の巧緻、
守備線の堅實は並ぶものなく攻守
兩線斷然群を抜き早大は正に當今
隨一、日本一の

折紙を つけるべきで
ある、勿論今後改善研鑽を必要と
するは言ふ迄もないが今春來各自
優れた素材を有し乍らこれを發現
し得ない不甲斐なさを非難された
とは言へ、シーズンを迎へて一
氣にこれを解消した個人の努力、
チームとしての融和協調の然らし
めたものであるが敢に敢て當今隨
一と激賞し日本一と推讃する

慶應、立教は陣容の異動により不
幸このシーズンを啣つ身となつた
が精神力の團結、鞏固があつたな
らばよりよい戦績が残されたので

はなからうか、南大は非力とはい
へ己れを知つて自力の發現につと
めた効あり僅か一勝ではあるが新
興チームとして天晴れ試合振りを
示したではないか

精神力 の旺盛は技術以
上の試合を行はしめてゐる、早大
然り、東大、文大、南大またこれ
と軌を同じうする所のものである
南大は戰術的に幼稚と罵られたが
シーズン冒頭の對早大戦に鑑みて
先づその體力を知つて試合に按排
した賢明さは稱讃さるべきもので
ある、試合は徒らに相手方を偽購
するため多岐多様、複雑さを交へ
て相手のゴールを目指して迂回す
るの要はなく強襲應戦の即決がな
ければならない、敢て複雑さを示
す事によつて合理的とは言はず變
化を求め試合に纏づける事を以て
巧妙とは言はれ、相手のゴールに
對して如何に距離を短縮するか、
肝腎で、この點から見れば南大の
端的な戦術は賞を得たるものと言
ふべきである

このシーズン特に印象づけられた
技術的のものを擧げるならばコー
ナー・キックの處理は

慶應が 斷然傑出してゐ
たのであるが得點機會としてこれ
を執れのチームも効果的のもの
とした事を數へて置かう(山田生)

早高蹴球勝つ 早高對成
城高蹴球戦は十七日午後三時から
成城グラウンドにおいて舉行、結
局二對一で早高勝つ

早 高 2 0 1 1 成城高



スポーツ

覇権を目ざして

七代表晴の出陣

二十六、七両日神宮競技場で

第一回戦組合せ決定

抗對縣府東關 蹴球戰

本社後援關東蹴球協會主催第三回關東府縣選抜中等學校蹴球選手權大會は恒例により来る二十六、七の二日間明治神宮競技場において行はれるが群馬縣代表として藤岡中學が決定したのを殿りとし一府七縣晴れの代表は激しい地方選選を経て左の如く決定を見た(括弧内は前年度代表)

東京	豊島	師(府五中)
神奈川	湘南	中(神師)
千葉	千葉	師(同上)
埼玉	埼玉	師(同上)
茨城	水戸	中(同上)
栃木	真岡	中(栃師)
群馬	藤岡	中(同上)

山梨 非崎 中(同上)

◆前回各地代表を鮮やかに一蹴した山梨縣代表非崎中學は多數の卒業生を送り出したが刻苦

鍊磨

の効あつてチームの補強なり再び大舞台に向つて連覇を目指し陣を進める事になつた他地元代表豊島師範は地の利を占めて覇権の奪還に決まらぬ精進を續けてゐる、これに對し千葉、埼玉、茨城、群馬は前回の経験に徹して本大會を唯一の目標として練習

に浮き身をやつし闘志満々其の技倆また異常の進歩を見せてゐると傳へられるから非崎が果して榮冠を再び獲得し得るか、豊島師範が覇権の奪還に成功するか、この間の豫想は容易になし得ない

登場

◆神奈川、栃木は湘南中、眞岡中の新顔が代表として

南中は關東中等球界で既に定評のある一方の強豪、眞岡中は新興の意氣に燃ゆる新鋭で共に侮り難いものがある、兎まれ各地方代表の新陳代謝は本大會に一層の活氣を注入すべく回を重ねて愈々本大會は精華を凝縮するものと大なる期待がかけられる

◆二十一日午後五時から關東蹴球協會において全役員出席の下に組合せ抽籤が行はれたが第一回戦の組合せは左の如く決定した

△神奈川代表(湘南中學) 對千葉代表(千葉師範) 午前十時開始
△栃木代表(眞岡中學) 對東京代表(豊島師範) 午前十一時十五分開始
△山梨代表(非崎中學) 對茨城代表(水戸中學) 午後零時半開始
△埼玉代表(埼玉中學) 對群馬代表(藤岡中學) 午後一時四十五分開始

高商蹴球豫選 全國高商蹴球關東豫選第一日(廿五日)一回戦勝者左の如し
横濱商專、高千穂高商、商大專

全國高工蹴球 第七回全國高工蹴球選手權大會第一日は二十六日午前十時から工大グラウンドにおいて一回戦三試合を舉行、成績左の通り

横濱高工 7-2 東京工藝
仙台高工 9-1 名古屋高工
廣松高工 7-4 山梨高工

全國高商蹴球 第五回全國高商蹴球大會
球關東豫選 會關東豫選第二日準決勝戦は二十六日午後零時半から明葉球場で舉行

横商專 3-0 高千穂
横高商 3-1 高千穂
關西準決勝 高商蹴球

高松高商 3-1 和歌高商

高商蹴球 商大主催、大日本蹴球聯盟主管
關東豫選 の第五回全國高商蹴球大會關東豫選は来る二十五日から三日間舉行されるがその組合せは左の通り
△二十五日(於明葉) A、福島高

商對横濱商專(十一時) B、高千穂高商對青學高商部(零時半) C、商大専門部對大倉高商(二時)
△二十六日(於明葉) ◆準決勝Aの勝者對Bの勝者(零時半) Cの勝者對横濱高商(二時)
△二十七日(於神宮) ◆決勝戦(零時廿五分)

S 10. 12. 19

早高蹴球大勝 早高對青學蹴球戦は十九日午後二時から青學球場で舉行成績左の通り
早高 10-2 青學

S 10. 12. 20

全國高校蹴球 東西兩帝大主催第十三回全國高校蹴球大會は恒例により一月一日より六日迄東大グラウンドにおいて舉行

S 10. 12. 22

關東府縣對抗 中等蹴球選手権

けふ神宮で開催

本社後援關東蹴球協會主催第三回關東府縣對抗中等學校蹴球選手権大會各代表は必勝の意氣を漲らし乍ら廿五日全く勢揃ひを終り愈々廿六日を第一日として神宮競技場に大會の幕を開ける事となつた、午前九時半晴雨に拘らず前回の優勝校非崎中學を先頭として八代表の莊嚴な入場式を行ひ午前十時から神奈川代表湘南中學、千葉代表千葉師範の

試合を以て豫定の如く第一回戦を行はれるが第一日の組合せは次の通りである
 ◇神奈川代表湘南中學對千葉代表千葉師範(午前十時)
 ◇栃木代表眞岡中學對東京代表豊島師範(午前十一時十五分)
 ◇山梨代表非崎中學對茨城代表水戸中學(午後零時半)
 ◇埼玉代表埼玉師範對群馬代表藤岡中學(午後一時四十五分)

S 10.12.26

けふから相搏つ 若人の意氣

關東中等學校蹴球

本社後援關東蹴球協會主催第三回關東府縣對抗關東中等學校蹴球選手権大會第一日は二十六日午前九時半から神宮競技場で行はれた、曇天だが西北の微風でフィールドコンディションもよく選手の意氣頗る昂る
 定刻九時半前回の優勝校非崎中學は若人の意氣を象徴した眞紅然ゆる大優勝旗を捧げて先頭に各代表チームこれに續いて莊嚴な入場式を行ひ非崎中清水主將から優勝旗の返還終り午前十時から千葉代表千葉師範と神奈川代表湘南中學との第一試合は千葉の先

蹴に依り大會の火蓋は切られた
 (千葉) 10-0 (湘南)
 (神奈川) 1-0-0
 山口(主) 粉川、八田(線) 三若 審判

【千 師】	上山崎内川橋田木田村瓶	2	5	17
FW	村深宮木越高安鈴鎌野二	CK	FK	GK
HB	田井原章井根熊橋口瀬田	4	4	15
FB	栗金中佐石白小三山廣園			
GK				

【湘 南】
 ◇前半 湘南はCH小熊の奮闘でFW線に球を送つてチャンス多かつたがFW線の制球悪く得點に至らず千葉もチャンスあつたが凡蹴に終る

◇後半 接戦を續けて延長に入るかと思はれたが千葉は二十八分左CK後湘南ゴール前の混乱に乗じて深山アツシユして決勝の一點を挙げ湘南猛襲したが空しく終る
 豊島師 4-3-0 (眞岡中)
 (東京) 13-0-0 (栃木)
 豊師先蹴、金澤(主) 上野、角田(線) 三若審判

【豊 師】	井原黒田川貝山澤根田	8	7	5
FW	林 松	CK	FK	GK
HB	横小小村前須腰金副長	1	3	19
FB	本崎井部本堀田邊塚山			
GK	岩篠櫻刈松宮柳渡大上			

【眞 岡 中】
 ◇前半 豊島は六分RW村田のドリブルシュートで一點を先取してから二十分迄に二點を加ふ
 ◇後半 眞岡はキツキング優れてゐるがチームワークに難がある、未だ成とはいへ四點で豊島の鋭鋒を封じたのは天晴れである

S 10.12.27

肉弾寒風を衝き

四強豪勝残る

第三回關東中等蹴球

本社後援關東蹴球協會主催第三回關東府縣對抗中等學校蹴球選手権大會第一日は廿六日午前十時から神宮競技場で第一回戦四試合を舉行、一府七縣を代表する八校選手は母校と郷土の名において全技を傾け秘術の限りを盡してシーズン掉尾を飾るに相應しい熱戦譜を繰り展げて觀衆を魅了し去つた、初代表の榮譽を擔つて意氣軒昂の神奈川代表湘南中、栃木代表眞岡中は孰れも力戦奮闘遂に効なく恨みを吞んで退き、野望に燃えた水戸中、藤岡中も敗れ去つて今第二日の準決勝に残つたのは千葉師範豊島師範、非崎中學、埼玉師範の關東中等球界に錚々の名ある強チーム、四強の争鬪は果して非崎中學に連覇の名を成さしめるか、豊島師範再度の榮冠を獲得するか、埼玉師範、千葉師範初の勝名乗を擧げるか豫測を許さぬ好試合である、夕刊後の経過左の如し

【非崎中學】 5-1-0 水戸中學 (山梨) 3-1-0 (茨城)
【水戸中學】 水戸先蹴、清水 (主) 岡野、飯島 (線) 三君審判
 非崎は左CK後中山飛び込んで一點を先取してからチャンスをつかみ決定づけ水戸瀧やた點を加へ勝敗を決定づけ水戸瀧やたる闘志で前線に球を送るがゴール。ゲッターを欠いて無得點
【後半】 水戸のパツクスは非崎のパスを破れず自陣に苦戦をつづけ時々逆襲を試みるも無

爲、水戸が勝味なくも試合を最後まで捨てず堂々と對戦した態度は稱讚に値するものがあつた

【水戸中】 島林田谷内島谷沼谷水本

FW	安中栗脇木梅水小細清山	2	7
HB	山本(義) 山本(徹) 林(公) 林(正) 林(川) 林(中)	2	7
FB	清水 中 鈴木 小 上 小 清 吉 小 切 田	3	4
GK	CK FK GK	1	1

【非崎中】 9-3-1-0 藤岡中學 (埼玉) 6-1-0 (群馬)
【藤岡中學】 埼玉先蹴、小長谷 (主) 松永、木村 (線) 三君審判
 埼玉は三分伊藤の得點で壓迫を續け藤岡逆襲するもHB線のフオロウアップ乏しく決定的の機会を失する事なく止む
【後半】 藤岡兩三度の機會あつたが空しく埼玉は藤岡パツクスの無

第二日組合せ

◇準決勝
 △千葉師範 (千葉代表) 對 豐島師範 (東京代表) 午前十時
 △非崎中學 (山梨代表) 對 埼玉師範 (埼玉代表) 午前十時十五分
 ◇決勝 午後二時半

統制と後退布陣の處を衝きまくつて大量得點し大勝した

【藤岡中學】 藤岡木藤村邊 田島米原 岸 野 3 6 23

安田苗齋川渡 井飯堀須
 FW 田島木川藤口浦子藤保島
 HB 久 12 2 7
 FB GK CK FK GK

S 10 . 12 . 27

氷雨を衝いて 好キツク

埼師豊師勝残る

本社後援関東蹴球協会主催第三
回関東府縣對抗中等學校蹴球選
手権大會第二日は氷雨を冒して
廿七日午前十時から引續き神宮
競技場で準決勝戦を開始
コンディションは極めて悪いが選
手の意気は元気を奮起して肉體相
搏つ大戦が展開された。準決勝

第一試合は第一回選手権保持チ
△地元代表豊島師範が猛攻を浴せ
て千葉代表を却ければ第二試合は
前回の優勝山梨代表非崎中學を擁
王代表埼玉師範の伯仲の對陣稀有
の大接戦を演じたが非崎中學の方
剛も及ばず後に埼玉師範の前に降

り前回の覇者は準決勝に於て潰え
去り決勝は豊島、埼玉の兩師範に
よつて行はれる事となつた

準決勝

豊島師範 6 (1-0-0) 千葉師範
(東京) 5 (0-0-0) (千葉)
村(線)三君審判
豊島先攻、苞本(主)、松永、木

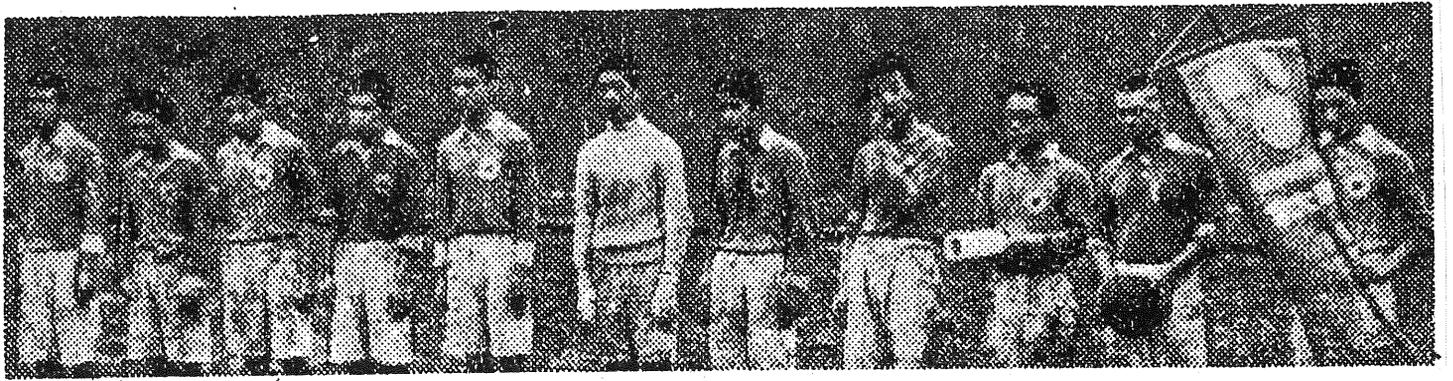
◇前半 十二分豊島は清川の左前送
球を横井アツシユして一點を挙げ強
攻を續けるが千葉GK二瓶の好防に
空し
◇後半 豊島は九分左CK後小松原
シュートしてゴールを阻れたのをは
じめとして五點を算へたのに反し千
葉はFW後退の守備教授も効果を
果ける事なく兩三度退出の機會もF
W級の判斷遅く劣敗を喫す

林	井川原田川員山澤根田	16
松	横清小村前須腰金關長	4
FW	上野内川橋田木田村瓶	1
HB		
FB		
GK		
0	CK	9
9	FK	12
12	GK	

村深谷木越高安鈴鏝野二
【埼玉】
埼玉師範 2 (2-0-1) 1 非崎中學
(埼玉) 2 (0-1-1) 1 (山梨)
埼玉先攻、金澤(主)、角田、
奥井(線)三君審判
◇前半 埼玉先攻から強攻を続け機
會あつたがゴールゲッターなく無爲
廿二分進路は清水(線)の中央送球
を小林シュートして逆に一點を先取
◇後半 埼玉は五分FW伊藤の左前

好送球は決定的機會となつたが町田
のスタート一步を誤つて空しく終る
十一分CH松浦の前送球は中川、
鈴木と渡つてのパスを松浦長
蹴左隅を割つて同點となる、非崎は
十五分、十七分の機會を逸し、埼玉は
二十七分神島のドリブルシュートは
右柱を弾いたが中川アツシユして決
勝の一點を加へ、非崎挽回つとめたが
成らず惜敗す

義山木徹村公正川切刀中	5
水 林 林水 田	2
清中 鈴木 小清吉 小切田	10
田島木川 樋口 浦子 藤保 島	14
町沖 鈴木 伊山 松世 齋 大	9
	CK
	FK
	GK



優勝した豊島師範

4—2

埼師後半に疲れ 豊島師範優勝す 關東中等蹴球終る

本社後援關東蹴球協會主催第三回關東府縣對抗中等學校蹴球選手權大會第二日決勝戦は廿七日午後二時半から神宮競技場で再度制覇を目前す豊島師範と初制覇を願つて勇み立つ埼玉師範の間に打はれ關東中等球界の王座を決するには申分ない思つまる熱戦が繰り返されたが、後半に入つて埼玉は準決勝血戦による疲労のため振はず結局四對二で豊島師範勝ち再度の優勝を記録した、試合終つて内野關東蹴球協會長の手から本社寄贈の眞紅の大旗と優勝牌は豊島師範林主將の手に授與され二日間に亘り掉尾の蹴球熱戦圖繪を描き出した本大會は午後三時四十分終了した

決勝戦

豊島師範 4 (東京) 3-1-1 2 埼玉師範 (埼玉) 豊島先蹴、清水(主)、粉川、八田(總) 三君審判

前半 埼玉はCH松浦の總關で冒頭から機會あつたが無爲に終り、豊島は廿二分の中央送球を清川シュートして一點を先取、二十八分埼玉は町田の右前送球を中央奇りの伊藤とつてシュートし得點1-1となる

後半 埼玉疲労して動かず豊島この隙に乗じて一方的試合を續け十一分中央送球を清川シュートして得點、豊島再びリードし十七分勝山の前進球を林へツディングして返すを須貝長蹴ゴールを破り8-1に開く、埼玉は二十二分逆襲を試み沖島、鈴木、町田のパスは町田シュートしこれを中川追走アツシユできりて追つたが豊島はこの直後清川ドリブルで抜き右前に流した球を小松原シュートして得點四對二で勝つ

埼玉師範

田島木川藤口浦子藤保島
町沖中伊山松笹齋久大
FW HB FB GK
井川原田川貝山澤根田
林 横清小村前須優金藤長
【豊島師範】
1 3 12
CK FK GK
6 3 6

横商專優勝

全國高商蹴
球關東代表

第五回全國高商蹴球關東代表選決勝横商專對横高商戦は二十七日午後零時二十五分から神宮競技場で重見(主)朝持、池尾(總)三君審判で舉行、延長戦四回の後横高商棄權し横商專優勝して關東代表となる

横商專 3
000012
000030
3 横高商

關西は名古屋高商

【大阪電話】關西後選決勝(二十七日)
名古屋 6
4 2 0 2 2
5 10 12 28
高商 高松

仙台濱松残る

東京工 業大學
高工蹴球準決勝 主催第
七回全國高工蹴球大會第二日準決勝戦は廿七日午前十一時から大岡山工大球場で舉行結局仙台工濱松工が夫々勝つ

仙台 3 12 21
高工 濱松 3 高工
濱松 2 11 00
高工 廣島 0 高工

神戸商大優勝

三商大蹴球リーグ決勝戦とも言ふべき東京對神戸の試合は廿九日午後二時五十分から石神井清水組球場において井出(球)富口、本川(總)三君審判神戸先蹴で舉行、兩軍實力伯仲したが神戸は前川の好蹴に一點を先取してから後FW好連絡を見せ、反對に東京は萎縮してタツクルもシュートも力なく前半一點の差で神戸リード、後半神戸はFW前川、大谷の好コムピネーションに二點を挙げ東京は罰蹴で一點を挙げたのみ、結局六對四で神戸商大の優勝となる

神戸 6 24 13 4 東京

【東京】
掛井瀬井井田西島野木野
大荒曾金村森小水早餘狩
FW HB FB GK CK FK PK
谷川 橋田村西山野田
大前 高神今中北川平行
13 7 5 0

名高商優勝

第五回 全國高商蹴球に横濱棄權
商蹴球大會最終日横濱商專(關東代表)對名古屋高商(東海代表)の決勝戦は横濱商專棄權したため名古屋高商の優勝となる

S 10 12 31

昭和 11 年

高校蹴球の 組合せ決る

元旦より六日間本郷帝大球場にお

いて舉行される全國高校蹴球大會
第一回戦組合せは左の如く決定
▲一日 一高—東京(八時半) 弘
前—成城(九時四十五分) 松本
—山形(十一時) 静岡—二高十
時十五分) 浦和—八高(一時三
十分) 佐賀—新潟(二時四十五
分)

▲二日 武蔵—廣島(八時卅分)
四高—七高(九時四十五分) 早
高—府立(十一時) 松江—六高
(十二時十五分) 水戸—成蹊(一
時三十分) 北大—松山(二時
四十五分)

高校蹴球大會

東京、京
都兩帝大主催第十三回全國高等學
校蹴球大會第二日は二日午前八時
半から帝大球場で一回戦残り及び
二回戦を舉行二回戦成績左の如し

◇第二回戦

早 高 6—1 東府高
六 高 10—0 松江
水 戸 5—0 成蹊
北 大 1—0 松山

一日の運動

◇蹴球(大阪)
早 大 3—0 關大
慶 應 3—1 關大

S 11.1.3

三日の運動

◇蹴球

▲高校蹴球第三日

二 高 5(14—00) 0 山形
八 高 7(43—00) 0 新潟

S 11.1.4

高校蹴球大會

(第四日)
優勝候補早高敗る

東西兩帝大主催第十三回全國高校
蹴球大會第四日は四日午前十時か
ら東大球場で準々決勝四試合を舉
行、優勝候補と目された早高對六
高の一戦は互角の激しい試合を續
けた末六高勝ち東高、二高、北大
科と共に準決勝に進む事となつた

東 高 3(2—01) 1 廣島

技術に優れた東高と闘志燃える廣
島との試合は後半に入つて東高の
技術が廣島をして潰走せしめた

六 高 3(1—11) 2 早高

早高のインサイド不調のために F
W線の攻撃力を殺ぎ前半一對一と
なり、後半六高は速攻法を採り早
高守備線の弱味を衝いて成功した

早大敗る

【大阪電話】
招待蹴球第二日 早慶招待蹴
球試合の第二日は四日午後一時か
ら甲子園南運動場において慶應對
關大及び早大對全關西の二試合を
舉行した、結果左の如し、

慶 應 2(02—10) 1 關大
全關西 3(21—00) 0 早大

二 高 3(12—01) 1 八高

二高はCH大機の活躍で優勢な試
合を續けた、FW線に決定力があ
ればこの試合は更にスコアを開い
たであらう。

北大 2(02—01) 1 水戸

水戸の巧技も北大豫料の逆襲にあ
つて前半點差を作り水戸後半に入
つて挽回につとめたが全線後退守
備線強化をはかつた北大豫料を衝
き破れず水戸遂に惜敗した

S 11.1.5

【慶應】
宮崎近藤川本藤原骨田
17 11 3

二橋像石駒宮松加伊乙津
FW HB FB GK
19 4 2

弟垣橋山谷川兄井邊井川
HB FB GK
18 3 4

長石大西大戸長塚渡土上
GK CK FK
9 6 5

【全關西】
谷川津 田田川橋西藤川
吉

大前永 前岡赤小川後上
FW HB FB GK

松茂本邑越野本野野村野
FW HB FB GK

平加塚西大關川世上中佐
【早大】

選抜蹴球關東 關東蹴球
協會では
MEMBER 決る 四日午後
六時から新橋劇場ビル内協會事務
所で十九日南甲子園で行はれる第
五回東西選抜對抗蹴球戦に出場す
べき關東軍MEMBERを左の如く決
定、八日より十七日迄毎日午後三
時から本郷帝大グラウンドで練習
を行ふ事とした

【監督】 工藤(早大OB)

【マネージャー】 渡邊(早大)

【選手】 平松(早大) 川本(早大)

加茂(健)(早大) 西島(早大)

加茂(正)(早大) 松永(文理大)

關野(早大) 立原(早大) 笹野

(早大) 吉田(早大) 竹内(帝大)

OB) 鈴木(早大) 堀江(早大)

佐野(早大) 不破(早大)

S 11.1.5

好試合展開

六高一高二高勝残る

高 校 蹴 球 準 決 勝

東西兩帝大主催第十三回
 全國高校蹴球大會第五日
 は五日午前十一時から東
 大球場で準決勝二試合を
 舉行、好日和でフィール
 ド・ユンディイションよく
 闘志満々たる好試合が行はれた未
 六高と二高が勝ち残つて今六日行
 はれる決勝戦で雌雄を決する事と
 なつた

六 高 2 1010
 1111 0010 1東 高

(六高先蹴、大内(主)持地、宮澤、飯田、種田(線)五君審判)

◇前半 東高優勢の試合を続け
 に入つて十三分CF阿部中
 央を衝いて出で右へ回しこれをRW
 瀬藤へツテングして一點を先取すれ
 ば六高は十六分中央から出た球をR
 W吉田受けて左に大きく送りこれを
 LW浦田ドリブル・シュートして得
 点

◇延長後半二分六高はCH高須のバ
 スをLW浦田シュートして決勝の一
 点とし東高挽回成らず惜敗す

【東 高】

藤西部澤藤待田井藤山々

伊河阿米瀬北有堀加横佐

FW	CK	7
HB	FK	4
FB	GK	17
GK		

田重田藤三井須藤藤田正

CK	10
FK	3
GK	24

浦近谷安寺中高加春金吉

【六 高】

二 高 4 13 00
 11 00 0北 大 豫

(北大豫先蹴、持地(主)長岡、古川安田、青木(線)五君審判)

◇前半 一分二高は左CK後の混亂から漏れた球をRW鹿目ゴール前に送りFW綿雪崩れ込んで押し込み一
 点を先取、更に六分右CK後RI大
 谷シュートして2-0と離し八分北
 大豫科陣左側のスローインからの球
 は大きく右に廻されRW鹿目クリ
 ン・シュートして3-0となる

◇後半 北大豫科の連絡整つて立て
 直り二分から兩度強襲したが無為、
 更に二十六分RW湯田の左前好送球
 あり絶好の機会となつたがLI日下
 潰されて止む、二高は六分CF大泉
 の左前送球でGKの逆をとりLW齋
 藤シュートして得点4-0で快勝す

【二 高】

藤藤泉谷目原槻島浦尻賀

齋佐大大鹿北大小三野平

FW	CK	6
HB	FK	3
FB	GK	5
GK		

居下和中田見津藤 榮野

CK	4
FK	4
GK	11

鳥日角山湯細梅齋 中牧

【北 大 豫】

S 11-1-6

六高傳統の誇高く

四回堂々優勝す

5-1-1 二高脆くも敗戦

高蹴球大会決勝

東西兩帝大主催第十三回全國高校蹴球大會最終日の六高對二高決勝戦は六日午後二時から東大球場で竹腰(主)長岡、持地、大内、藤岡(線)五君審判の下に六高の先陣で舉行、西北風強いが好晴フイルド・コンデイションよく争戦には好日和であつた、二高の好戦が豫想され、兩れの決勝戦に相應しい熱戦と期待されたのであつたが傳統を誇る六高の試合の運びは巧妙を極め遂に五對一で優勝し四回優勝を記録した

六高 5-2-10 二高 3-1-1

○前半二分六高はL I 近重ドリブルでFB線を抜いてシュートし得点、二高はCH大槻の好位、好判断で六高陣に球を進めるが決定的な機会を作り得ず無得点、これに反し六高は三十四分中央線近くで球を得、安藤、吉田のパスから左に深く廻されたL I 近重シュートして一點を加へ2-0と離す

○後半一分六高はR I 安藤の右前送球をノー・マークの吉田センターリングすればL I 近重ヘッドでき

め6-0となる、この後またも近重の強蹴あり風に乗つて二高ゴール右前に出たがG K平賀の餅やかなセービングで二高は辛くも危地を脱す、廿二分二高はL F三浦の好蹴で逆襲に出でL W藤藤につて機會となつたが追走なく終る、六高は二十三分R W吉田無理

な捌きと思はれたがよく寄せシュートすれば二高はG K平賀一旦クリヤしこれをCH高須長蹴して得点一點を加へ更に二十七分R W吉田のセンターリングを近重ヘッドでインゴして得点5-0と開く二高は三十分左CKを得藤藤の好蹴を大裏、大谷並進し體にあて、押し込み一點を奪得す三十五分頃から向ひ風の二高もFW線に球を寄せて六高陣に肉薄したがFB線の守備堅く抜けず六高の快勝となる



優勝の六高チーム

【二高】		藤藤泉谷 目原 梶島 浦尻 賀	
齋佐 大 鹿 北 大 小 三 野 平		6	7 19
FW	田重田藤	6	1 14 0
HB	三井須藤 藤田		
FB			
GK			
CK			
FK			
PK			
【六高】		浦近谷 安吉 中 高 加 春 金 吉	

審判 準決勝までの出来栄、えからすれば互角、勝敗を逆賭し得ぬと見られてゐたのであるが案に相違して二高の余りにも脆い敗戦となつた、大槻の巧みなフイルドも前半三十六分のR W鹿目のノーマークを無視してC F大泉の専断的プレイとなつて凡蹴に止むが如き判断を誤り無用の球捌きとなるなどの一氣呵成の無謀が災して決定的の機會とする事が出来ず前半を徒に過してしまつた、またFB線はキツキングの劣悪のため守勢を攻勢に一轉せしめる事は愚か大槻のバックアップに救はれてゐたのではこの勝敗順當と見るよりない、尤も六高は體力において一段の優れたものはあり疲労度においても相違する所はあつたが味方の球をキープするにあつて一層の嚴重さを見せるなど巧緻の點において既に懸隔の大なるを思はしめた、その上に行はれる確實なセンターリング、それに近重の如きゴールゲッターを擁してゐるのでは攻撃力の差も當然であり、金田、春藤の堅實なFB線では動きの鈍く策の少ない二高FW線では衝き破れないのも不思議はない、二高はキツキングの劣悪を矯めねば制覇の途は遠いものと思はねばなるまい(山田生)

蹴球は關西

3—2 關東後半の健闘空し

【大阪電話】 第五回東西選抜對抗蹴球戦は十九日午後二時五分から甲子園南運動場で杉村(主)松井、玉木(線)三君審判關東先蹴に開始、關西軍健闘して三對二で勝つ

關西	2	0	2	關東
1	1	2	2	

【西】 谷川澤橋橋田橋川西藤川 吉 5 7 16
 【東】 大前野大市關小赤川後上 吉 5 7 16
 【關西】 松本兄 松本弟 野原野木内野 8 8 19
 【關東】 平川加西加關立笹給竹佐 8 8 19

は更に後に返つて西邑君に渡れば、西邑君は關西ゴール約二十ヤード前あたりから強蹴、見事ゴールインした、ゴールする迄の案早いパスワークは見事なもので關西のパスワークは全く茫然たるものであつた事は殆んど關東側にあり激しい突つ込みを時々見せてはゐるが得点をリードされてゐたため聊か狼狽の氣味でボールは浮いて意の如く進まず、ゴールに關西パスワークの思ひ切つたタツクルに違つて隨甲斐ないものとなつてゐた

◇：關西は後半に入つてからチームバランスを失ひ個人的なプレイに墮してゐるがHB線の動きはハキ／＼したもので中でもRH小橋君は攻防によく冴えを見せ關東FW平松君を完全に近きまで封じてゐたのは稱へられる

東西OB蹴球

關東選抜試合

東西對抗OB蹴球試合用場の關東側選抜試合は一日午後三時から帝大グラウンドで見目代審判白組の先蹴で開始、結局六對四で白組快勝す

白組	6	4	0	4	組
2	1	4	4	2	

試合終了後代表選手左の如く發表

◇FW 高山英(東大) 塚部(慶應) 手島(東大) 粉川(東蹴) 小長谷(文大) 藤岡(東大) 竹腰(東大)

◇HB 松丸(慶應) 濱田(慶應) 井出(早大) ◇FB 田村(東大) 竹内(東大) ◇GK 八田(東蹴) ◇監督 小野 ◇マネージャー 石井

東西對抗O・B

蹴球關西陣容

【大阪電話】 來る二月十一日甲子園で開かれる東西對抗O・B蹴球戦に出場する關西側の選手左の如し

- △FW 高原(御影師) 津田(關大) 赤田(關學) 東浦(關學) 島(關學) 永野(京大) 市橋(慶應) △HB 田邊(大商大)
- 三崎(關學) 赤川(京大) 福安(京大) △FB 玉木(京大) 川西(關學) 後藤(關學) △GK 奥野(京大) 渡邊(關學) △監督 菅野次郎 △キャプテン 後藤行雄

十九日の運動

◇蹴球 東京瓦斯3—0 東京火災(名古屋電話) 農大2—1 名古屋サッカー

スポーツドム

早大蹴球卒業選手勤務先 早大蹴球部今春卒業選手の勤務先次の如く決定した

立原元夫(主將) 大日本人造肥料 ▲渡邊芳夫(マネジャー) 三井礦山 ▲堀江忠男(FB) 東京朝日 ▲野澤晃(FW) 浦鐵

S 11-1-23

S 11-1-20

S 11-1-20

S 11-1-20

S 11-2-2

雀躍！第一線へ

國際選手の後衛隊



昭和十年度の蹴球界の行事は全く終りを告げたが、ベルリン・オリムピック代表選手候補二十五名の銜衡を了し愈々来る二十五日から第一次合宿練習が開始される事となつて球界はシーズン・オフながら異常の緊張を示してゐる、雄圖を抱く鳳雛も第一線出陣の機会を迎へ次回オリムピック代表を夢に描いて若き血潮を高鳴らせつゝある、全國中等學校約四百球群のうち錚々の名を謳はれる球群から聳立つ球児の行方——これは一般愛球者の知らんとして止まぬ所であらう、今後多少の變更は免れまいが大體の動靜を傳へて鳳雛の動きが球界全般に如何なる補強工作をもたらすか一瞥する事にしよう

蹴球の巻(上)

◆...全國中等學校球界最高峰に立ち多の
を送り出してゐる神戸一中はC

F大谷四郎、CH金子龍門、LF山田淳太郎、RW井上研一、RH竹田正久の五選手が今年度の偉業に訣別し先鋒球豪の後を慕つて分

敢するが大谷君は一高、金子君は松山高校又は大阪大、山田君は大高、井上君は入高又は慶應、竹田君は大高又は京都醫大となつて鍛へ上げられた個々の優れたドリフティングを以て多年の願望の前に確實な一歩を印さうとしてゐる、大谷君の如きは七ヶ年の球界生活を経てゐるだけに技漸く

圖 熟

してゐるから高
校球界一方の雄
一高の強化は期待するに十分であらう

◆...中國球界を風靡した饅城に脱落の影は宿るが慶島一中は流れを汲んで依然として中等球界に豪華を誇つてゐる、今春の卒業は主將の野村三郎君と政光清憲君の二人野村君は蹴球一點張りで精進を續けて来た新鋭、CHとして攻守の鍵となり慶島一中の名譽を支持して来たが東海球界の王座を確保する名古屋商高を目指し、政光君はLFで近來革新の跡目醒しい東京

高等商船を

志 望

し一昨年神戸一中を破り昨年はその返り討ちを食つた喜戀の思ひ出を残して母校を去る事になつてゐる

◆...東海球界に雄飛してゐる志太中學の球史はさ程古いものではないが、こゝも俊豪を第一線に送つてゐる華やかさ、その球児達の行方は注目に値するがLF大井正志、LW藤田龍一、補欠谷田省三の三君は實業界に入り、LH多賀須達郎、RW山口義夫の兩君は静岡師二部を志し、見崎洋君は遠くハルビン學院へ去り、CF川島兵四郎君のみが高工進出を志望して濱松か山梨に入る者と見られてゐる

◆...彗星の如くあらはれて關東中等球界を

疎 關

した山梨の非難
中學は卓抜の技を誇るLW清水義次君が短距離小ながら走力をきかして明大入りを決意し、GK田中資伯君は早大、CH清水正巳君は見事なロング・シュートで橋本入りが叶つた、三人それら異なる球道を選んではゐるが叩き上げられてゐるだけに第一線に躍り出で英姿をあらはすのは今秋であらう

けふの運動

◆蹴球 關東實業團大會第二日、三回戦、勸銀對慶應病院(十一時二十分) 航研對フォード(十二時四十分) 東京火災對マツダランプ(二時) 日本鋼管對航技ク(三時二十分) 以上三田綱町(帝大を變更)

蹴球協會理事會 大日本蹴球協會理事會は来る二十三日午後六時半から協會事務所を開く事になつた、議題は新田純典理事の轉任に伴ふ件である

關東實業團蹴球 第五

回關東實業團蹴球大會第二日は二十一日午後零時半から三田綱町グラウンドで降雨の中に第二回戦残りの三試合を行つた、結果左の如し

フォード10—0 航研研究所
東京火災2—1 東 電
慶應病院 棄 權動 銀

廿二日の運動

◆實業團蹴球 準々決勝、日立製作所2—0 千代田生命、第一生命3—0 淺野セメント、東京火災4—1 航技俱、フォード1—0 慶應病院

實業團蹴球 第五回關東

實業團蹴球第一日は十五日午前十時から東高球場で舉行

S 11.3.16

一回戦

航研研究所3—1 三 共

二回戦

千代田生命2—0 興業銀行
日立製作所6—0 帝大病院
淺野セメント2—0 共同火災
第一生命4—1 東京瓦斯

S 11.3.23

春の競技會へ。蹴球の巻(下)



明日の活躍期し

八方に雄飛する球兒

◇：關西の神戸一中に匹敵して府立五中の諸選手も引く手あまたであるらしい、CF森安節雄、FB栗城徳男、FW眞板秀雄の三君は商大志望、HBの佐藤良君は既に江田島の

八高、大阪、四高、山形、東京高校等がゴールと目されてゐる、珍らしく豊富な卒業であり又分散でもある
◇：華やかな球史こそないが關東中等球界に有名となつてゐる横濱三中はRW牧村勝太郎君が唯一人の卒業で江田島海兵に合格、府立五中の佐藤君と共に

等球界に衝撃を與へた湘南中學は近來鳴りをしづめてゐるが傳統の巧技は依然として力強く眠うち、此中から巣立つのがRW石井三郎LIで主將の金井英孝、RW矢野定吉、CF中原廣、FB廣瀬廣吉RH三橋章、LH平林文雄、白根雄偉、LW栗田篤の九君で府立五中と共に量において競ふものがある、石井君は東京外語、金井君は米澤高工を志望してゐる

◇：青師、豊師、附中、五中の堅を脅かし來つた青山學院中の球史も相當の絢爛さでこゝも亦球界の縮籃地といふ事が出來よう、CF蛭田眞三郎君は慶應、HB又はFBと兩天秤をかけた小谷野和夫君は東京外語が志望した
◇：かつては關西球界鳳雛育成の大役をつとめてゐた明星商業はLFで主將の野村義一、CF福田昇一、CH石橋一男、LI仁興昇雄の四君が總を並べて巣立つが

實業 學校の建前からいづれも實業界入りで就職先も既に確定、今後は關西實業團の重鎮として囑望されてゐる

東北

球界開拓の使命を帯び矢野、中原兩君は横濱高工、廣瀬君は早大、三橋君は東京高工、平林君が海兵、白根君は靜高、栗田君が慶應を目指してゐる
◇：靜岡師範と共に並び稱されてゐる靜岡中學は各手種を接するといふ程俊豪を球界に送つてはゐないがオリムピック候補佐野君などの逸材を産んでをり、この後を追ふものはCF望月猪久間君で早大を希望し、CH佐野勤一君は横濱高商、RI小田公正君は

福島

高商を目標としてゐる

オリムピック蹴球代表激闘會

蹴球代表候補選手の第一期合宿練習は二十六日から東伏見早大球場で開始されるがこれに先立ち大日本蹴球協會では選抜の榮譽を擔つた選手のため廿五日午後六時から銀座小松で激闘の會を催し合宿練習に對する希望、合宿練習上の注意等意見を交換した

關東實業蹴球準決勝

第五回關東實業團蹴球大會第三日は廿九日午後一時から東大球場で準決勝二試合を舉行、フオード、日立製作所が勝ち残つて來る五日決勝戦を行ふ事となつた

フオード	3	1	0	0	東京
日立製	2	1	0	0	火災
作所	3	1	1	0	第一
濱田新田兩	2	1	1	0	生命



軽い練習に不満の體

きのふ蹴球代表合宿第一日

西武電車沿線東伏見の早大合宿に合宿練習第一日を迎へたオリムピック蹴球代表候補選手は廿六日午後二時半から東伏見球場で工藤君指導の下に練習を開始した、十六選手はこの日を待ち憧れてゐたので熱意が溢れ金(谷)金(永)兩選手の如きは定められた午前七時

起床の捉を破つて午前六時に床を抜け出して球場に飛び出しランニングの練習をするといふ有様、春光麗かなれども強風砂塵を捲く中に埃にまみれて一時間半の軽い練習が物足らぬと嘲つなどベルリンを旨指す選手の意氣は物凄いはかり【眞實はランニングの練習】

蹴球代表銓衡に

關西側が不満表明

【大阪電話】 過般發表されたオリムピック蹴球候補選手の頭觸れが甚だしく關東中心に偏し關西に比して余り遜色なき關西蹴球界を殆んど無視せる嫌ひあり物議を醸してゐたが右につき關西蹴球協會は過日來數回に亘つて理事會を開き協議した結果二十七日長文の「第十一回國際オリムピック大會出場選手候補者銓衡報告書」を關西蹴球協會加盟の各團體に發送するとともに實行委員を擧げて大日本蹴球協會の改革に邁進することとなつた

報告書要旨

大日本蹴球協會理事會はオリムピック選手の銓衡に當り關東から三名、關西から二名の銓衡委員を任命して銓衡に當らしめることとしたが右五名は數次の會合を重ねるも意見合致せず、遂に銓衡委員會を解散、コーチング・スタッフを新に作つて其スタッフが技術上の見地から選手を選抜することになつたと先づの銓衡委員中關東の三氏をそのままコーチング・スタッフに任命し即時二十五名の候補選手を決定發表した(後略)

S 11.3.29

學生OB蹴球

東京學生OB蹴球リーグ戦早大對文理大、東大對應慶、明大對農大、法政對青學の四試合は五日午前十時から東大球場で舉行、成績左の如し

早大	2	0	2	0	2	慶
農大	3	1	2	1	0	1
法政	6	2	4	1	1	2
青學	4	1	1	1	1	2

S 11.4.6

蹴球候補

初試合

けふ慶應と

去る廿五日から西武沿線東伏見の早大合宿所入りをしたオリムピック蹴球候補廿名は工藤、竹腰兩コーチヤー指導の下に春を他所に積根を積付けてゐる、第一次合宿練習の主題たる個人の基礎技術及び體力増進の難關も最早練を練したので先づ他流試合の第一歩として十日午後二時半から慶應を東伏見に迎へ一戦を試みる事となつた、この第一戦を以て有機的パスワークの妙を望むは尙早の感もあるが國際的進出の第一歩として個人技術の飛躍を企圖する彼等の苦心練磨の跡には大いに期待すべきものがあらう

S 11.4.10

OB蹴球

帝早残る

東京OB蹴球リーグ第三日は十日午前十時から東大球場で四試合を舉行、この結果早大はA組で全勝し帝大はB組に於て二勝一引分で首位を占めこの兩チームは来る十九日優勝戦を行ふ事になつてゐる

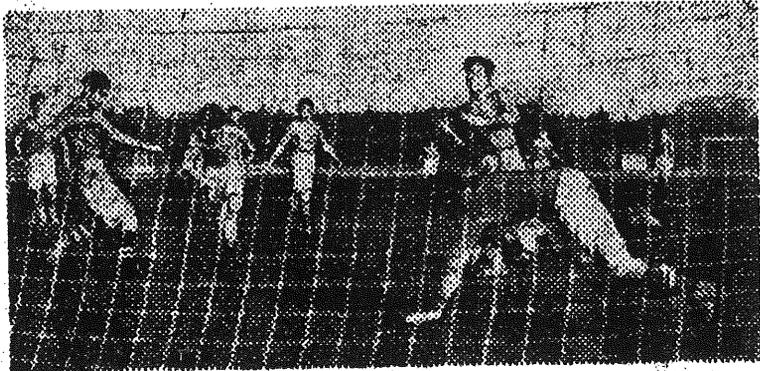
早大	5	1	0	農大
明大	大	大	權文	大
OB組				
法政	3	1	2	慶應
帝大	15	1	1	青學

S 11.4.13

蹴球協會決定事項 大日本蹴球協會理事會は十三日午後協會事務所において開催の二項を決定一、代表選手合宿練習費募集の件一、本年度全國代表會を来る五月十日開催の件

S 11.4.14

蹴球候補の躍進振り



オリムピック蹴球候補選手と慶應との試合は十日行はれる筈であつたが慶應の都合つかず中止されこれに代るに練習試合を行つた

◇：来る十五日迄で第一次の合宿練習を終る事になつてゐる候補選手は連日の猛練習によつて腰勢は抜け切らぬが元氣頗る旺盛でランニング、キッキングには見違へる様な進歩の跡が窺はれた、第一次合宿練習の目的とする巧味よりも強味といふ點は正に成功の域に達してゐる、集團生活の中にも最終鋭衝を控へてゐるので競ひ立つ個々の努力の跡がよく認められ代表としての信頼を十分にかけて得る頼母しさが溢れてゐると言へる、現在の體力、氣力に技術的訓練が行はれる様になれば強力なる代表チームの編成を見る事が出来よう【重眞はきのふの練習試合】

S 11. 4. 11

オリムピック蹴球候補

商大に快勝

滑らかな動き尙不足

オリムピック蹴球候補選手對商大の蹴球戦は十二日午後三時十分から東伏見球場で村形審判商大の先蹴で舉行オリムピック候補選手チームは前後半選手交代を行つて對戦し結局七對零で快勝し選拔軍としての實績を示した

オリムピック 7-0 商大
ツク候補 3-0 0 商大

◇：オリムピック候補選手チームは疲労の跡著るしく去る十日行はれた紅白練習試合に比すれば球の操作も一段と劣悪で自然鋭さが乏しかつた商大攻撃力の不足からその守備力は十分これを知り得ないがその攻撃力は多角的であつたといへよう、然し後半HB緑とセンタースリーの交代が行はれてからは攻撃體形が單一に流れこの結果として商大守備線の布陣は容易となり得點機會も潰される

【オリムピック】

永橋磨	野田野	鈴木不破
金高弟	關吉	野田野
兄本	近原	江野
茂水	加藤	立野
加西	種右	竹堀
松川	立	堀
FW	CK	7
枝掛	FK	2
瀨井	GK	4
井堂		
藤橋		
野木		
澤		
浅大菅		
荒村		
二後		
高早		
鈴吉		
商大		

事が多くなつた
◇：後半は金の誤れる動きがFW線の連絡を崩す事多く見受けられたのは遺憾で高橋も自然動き難かつたやうである、試合の機会がない爲に各ラインの滑らかな動きは見られないがこれは第一期合宿に望むには無理な事であると言ふ迄もない

S 11. 4. 13

帝大OB

蹴球優勝

東京OB蹴球リーグ決勝の帝大對早大戦は十九日午後一時から本郷帝大グラウンドで舉行

帝大 7-0 早大
3-0 0 早大

S 11. 4. 20

輔仁蹴球軍と

日支親善試合

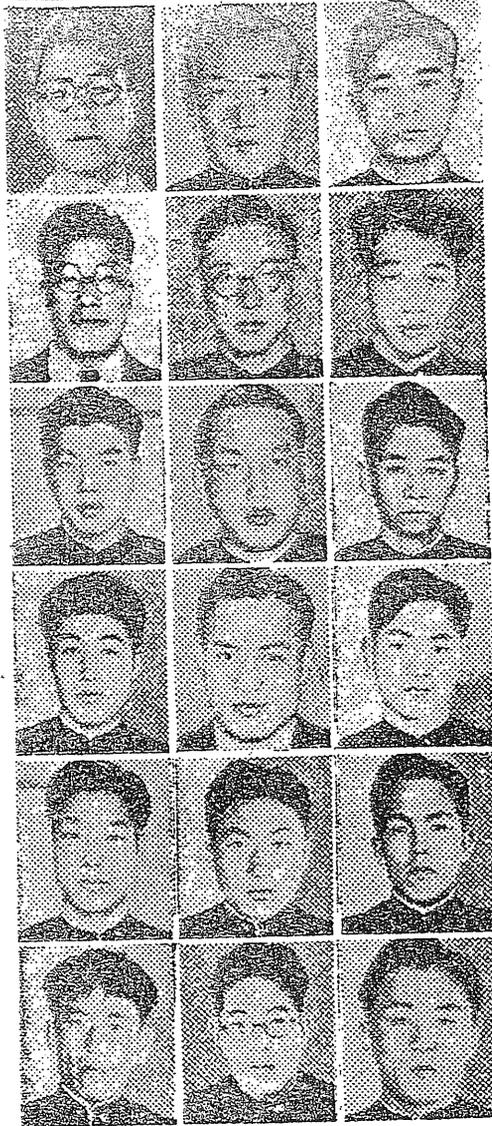
大日本蹴球協會理事會は二十一日午後六時から協會事務所において開會、明二十三日から第二次合宿練習を開始するにあたり銜委員會において決定せるオリムピック代表選手十六名を承認して二十二日午後三時公表する事を申合せ、更に目下來朝途上にある北支輔仁大學チームを迎へて日支親善歡迎試合を行ふ事を決定した、この歡迎試合は三試合位が豫定され兩三日中に決定を見ることになつてゐる

S 11. 4. 22

オリムピツクへ

十六選手決定す

初登場の蹴球代表



蹴球代表選手

	姓名	所属及出身校	年齢	身長米	体重斤
FW	加茂 正五	早大(濱松一中)	21	1.72	62.50
	川本 泰三	早大(市岡中)	23	1.72	63.00
	加茂 健	早大(濱松一中)	22	1.68	59.50
	高橋 豊二	東大(成城)	22	1.70	65.00
	西邑 昌一	早大(甲陽中)	25	1.63	57.30
HB	松永 行	文大(志太中)	23	1.70	64.00
	右近 徳太郎	慶大(神戸一中)	24	1.71	60.00
	種田 孝一	東大(水高)	23	1.75	67.00
	金 容 色	全京城(豊成等)	26	1.65	64.50
	笹野 種次	早大(志太中)	23	1.65	61.50
FB	立原 元夫	早出(付園中)	24	1.64	64.00
	鈴木 保男	早出(八中)	24	1.69	64.00
	竹内 錦三	東出(浦高)	29	1.70	62.00
GK	堀江 志三男	早大(濱松一中)	24	1.67	64.00
	佐野 理平	早大(静岡中)	25	1.72	63.00
	不破 壽	早大(五中)	21	1.75	64.00
補欠	關野 正隆	早大(八中)	22	1.63	56.40
	金 永 根	全京城(崇實中)	26	1.70	61.50

ベルリン・オリムピツクの初合練習が契約されて一躍制覇を目指し代表選手選出に闘い昨年來復讐の對策を練つてゐた大日本蹴球協會は去る十五日を以て代表候補第一次合宿練習を終つたのでこの練習結果に徴し最終銓衡を行ひ左の如く代表十六名、補欠二名を決定し公表した。これによれば竹内錦三君をはじめ立原、右近、川本、西邑、堀江、鈴木等の國際選手を擁出し萬全を期してゐるのは注目される。選手十六名は廿四日から五月十日迄目黒區三谷町勸銀球場において第二次合宿練習を行ふ事になつた。【廣眞は上から加茂(健)川本、加茂(正)、高橋、西邑、松永右近、種田、笹野、立原、金(容)鈴木、竹内、堀江、佐野、不破の正選手と關野、金(永)の兩補欠】

高橋翁の「孫」君

お祖父さん譲りの面影と魂と ゆけオリムピックへ



故高橋是清翁のお孫さんがサツカ
のオリムピック代表となつた
—富王是實子の三男帝大農学部二
年生豊二君(三)だ、成城学園時代
からサツカで鳴らし帝大ではフ
オアワード・センターを守りオー
ル・グッターとして活躍して来た、
昨一月半のオリムピック候補合宿

練習を終へてからお祖父さん譲り
の負けじ魂の血が湧き出て来たの
か、見違へる程の闘志を持つやう
になつたといはれ、いよく代表
に選ばれ二十三日發表されたもの
で、ベルリンでの「高橋式」活躍が
期待されてゐる、豊二君を帝大の
グラウンドで探すと

あ、孫ならあそこに居るよ
と教へられた、驚すべき「孫」は
陽気な健康さうな顔とガツチ
リした廣い肩幅の所有者だ、「し
っかり頑張ります」と頼もしい一
言、お祖父さんとスポーツについ
て聞けば

お祖父さんは私がサツカ一の選
手をしてゐることを知らなかつ
たでせう、だが「學生スポーツ
の職業化はいかん」といふやう
なことをいつてゐましたので私
がオリムピック代表になつたこ
とを知つたらどう言つたか、私
にも想像がつかせません
と胸くまで真面目である「孫」は

スポーツドム

蹴球代表練習開始 去る二十三
日神宮外苑日本青年館に第二次合宿
入りをしたオリムピック蹴球代表十
六選手は二十四日午後二時半から東
横沿線研文谷の勸業銀行グラウンド
で悉々本格的な練習を開始した

S11・4・25

蹴球代表軍 早大に快勝

オリムピック代表軍快勝す
廿六日午後三時半から勸業球場で
舉行、九對零で代表軍快勝す
オリムピック代表 9-0 早大

S11・4・27

輔仁蹴球軍敗る

北平輔仁大學對慶應の蹴球戦は二
十九日午後三時十五分から東大球
場で井出(球)柴田、莊田(線)
三君審判輔仁先蹴に開始、試合は
慶應2-0のリードから輔仁3
-2の追撃となり更に4-4の同
点となつたが慶應は最後の五分で
二点を加へ6-4で勝つ

慶應 6-3-2-4 輔仁

◇：オリムピック選手右近を加へた
慶應はCH石川傷ついでこれに代る
に松本を以てしたが、各線とも強靱
さを盛り縦横の連絡よく、これに對

し輔仁は對農大戦に活躍した李(宏)
を左に廻し趙を採用した攻撃線は別
に新味も見せず横一線の單的な攻撃
を行ふに過ぎずHB線は慶應兩翼の
展開にあつてその應待に苦戦するな
を前半はPKの豫期せぬ得点なをで
8-2と迫りはしたが七分三分の
試合であつた
◇：後半は風上ぎなつた輔仁が向ひ
風に大事をさる慶應陣にロングキッ
クをきかして攻めたて同点とし氣負
うて壓迫をつまけたが巧緻の慶應に
間隙をつきまくられて四十二分駒崎
の中前送球を右近が決定するに及ん
で勝敗を分ち慶應更に一點を加へて
勝つ

近田崎慶崎川本藤藤骨	7	3	13	0
右増篠捕駒官松加伊乙				
FW				
HB				
FB				
GK				
CK				
FK				
PK				
張李黃趙備張安李金傳谷	3	7	32	1
【輔仁】				

北平軍勝つ

入京第一戦に

北平輔仁大學對農大蹴球戦は廿七
日午後三時から明大和泉球場で井
出(主)細船、長谷川(線)三君
審判輔仁先蹴に開始、六對零で輔
仁快勝し入京第一戦を堂々と收め

S11・4・28

輔仁 6-15-0-0 農大

張王黃李鍾張安李張金楊	8	6	24
(三) (宏) (傑) (鳳) (學)			
張王黃李鍾張安李張金楊	5	6	21
FW			
HB			
FB			
GK			
CK			
FK			
GK			
間野野 坂俣山野井田本			
赤天大尹早猪群山石吉川			
【農大】			

代表軍快勝

蹴球 對關東學生選拔軍

オリムピック代表軍對關東學生選拔軍の蹴球戦は二日午後一時半から神宮競技場で竹腰(主)栗田、西村(線)三君審判の下に代表軍の先蹴で開始結局4-1で代表軍が快勝した

抜軍に各線が乱されるといふ事は尚研習の余地を多分に残してゐると言へる、如何なるコンディションの下にも快勝の確信を持つて臨む所まで到達せねばならぬ責任を持つ事を代表軍は忘れてはならない(山田生)

オリムピック代表 3-1-1 選抜 東

◇：前半 十八分RH立原の左前送球をLW加茂兄中前返球しCF松永押し込んで一点を先取し選抜軍は二十八分LW大掛のパスを大野高目のシュートすれば球は風に煽られて球道乱れてその儘ゴールインとなる前中一対一は過度の合宿練習にもよるしまた向ひ風の不利もあり過つたらうがその名に負け固くなり過ぎてゐたのは見逃せない病氣乏しいものがこのタイスコアを生んだといへるだらう

S 11-5-3

◇：後半 代表軍は佐野、堀江、立原退き不破、鈴木、笹野代つて出場松永、川本がボチシヨン交代し選抜軍は吉田、松元かはる、三分加茂弟の捌き出した球を西邑シュートして得点、二十七分、三十分共に加茂兄の送球は加茂弟に出で最初はパスを松永きめ、後は川本シュートして二点を加へ4-1と離し選抜軍は無得点に終る。後半十一分選抜軍が播磨苦心の送球を中島きつてパスを突き強蹴値か高くアウトとなつたがこれは決定的の機会であつた、散て點差を作る事を希望し水も漏らさぬ鐵壁の形成を要求するのではないが鳥合の衆にも等しい選

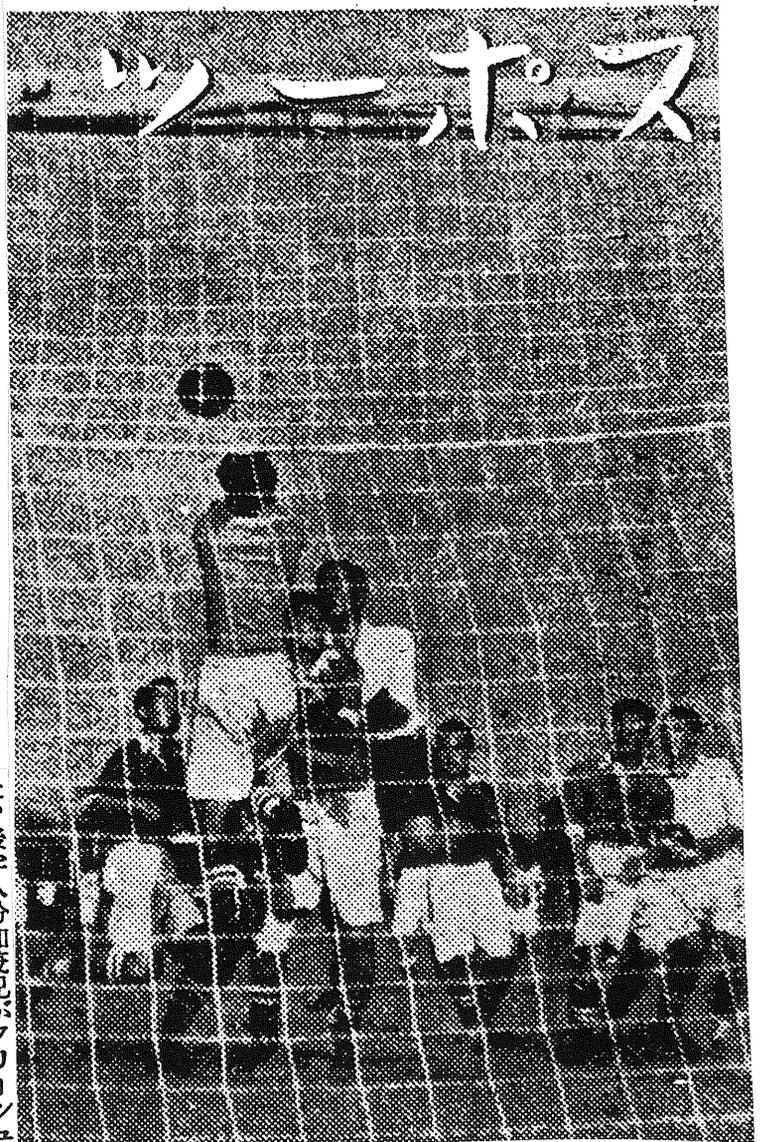
兄邑永本第	近野内	12
茂金	笹野(鈴木)	2
加西松川加	原(鈴野)	14
右立竹堀佐	江野(不破)	
FW		CK
商(慶)明(慶)慶(慶)早(慶)早(慶)文	HB	FK
掛野島藤崎野元田藤田	FB	GK
中垣	GK	5
大大中橋駒關松藤伊吉中		4
		32

輔仁軍敗る

對東大蹴球

北半輔仁大學の東京に於ける最終試合である東大との蹴球戦は二日午後三時半から神宮競技場で井出(主)辻、莊田(線)三君審判の下に輔仁の先蹴で開始、コンビネーションを欠く輔仁振はず4-1で敗れ一勝二敗の戦績を残して二日夜退京、四國高松へ向つた

S 11-5-3



代表軍快勝

9-5 對慶應蹴球戦

オリムピック代表對慶應蹴球戦は七日午後四時から勸銀球場で井出君審判の下に風下の代表軍先蹴で開始、九對五で代表軍勝つ

代表軍 9-3-1 慶應 5-4-1

◇：猛練 習を終つて後に行はれた試合ではあつたが慶應の粘り強さの前に五點を奪はれたのは意外であつた敵失點と合せて九點を収めた得點力は攻撃線のショット

の確實性向上とシュートイング・レンヂの擴大を物語るものであり先日行はれた對關東學生選抜軍と

の試合後の一躍進と言へようが後半猛練習の疲労が現はれ斜陽を浴びる不利があつたにしても守備力の薄弱を不問に附するわけには行かない、技術的に見るならば判断の遲滯、微温的なマーキングが禍根をなしてゐた、後半二十分二十一分と續けざまに二ゴールを落したのこの結果である、守備線強化の問題はなし得ざるに非ず、なさるにありと見たい

◇：第二 點はLW加茂の好位第三點は川本から出て加茂弟下リザル後大きく左に廻し加茂兄が後送氣味で西邑に捌いての得點など堂に入つた胸のすく得點であつ

S 11-5-8

た、後半八分加茂兄がフリーシュートしてゴールアウトとなつたのが決定的チャンスをつたつたもので攻撃力は大体において整つたと見てよい、更に代表軍に望むならば相手の如何を問はず木ツ葉微塵に粉碎する氣魄を示す事である「カソットの寫眞は前半十九分慶應右CK直後」(山田生)

加西川高加種右立竹堀佐	FW	5
茂(兄)松(永)	FW	4
茂(松)本橋(弟)金(原)野(木)	FW	15
近原(立)笹野(内)	HB	0
加西川高加種右立竹堀佐	HB	0
近原(立)笹野(内)	FB	0
近原(立)笹野(内)	GK	0
	CK	6
	FK	0
	GK	10
	GK	0

蹴球代表勝つ

對明 大戦

オリムピック代表軍對明大蹴球戦は九日午後三時から和泉明大グラウンドで本堂(主)友澤(官軍線)三君審判代表軍先蹴で舉行結局六對〇で勝つ

代表軍 6 3 1 0 0 明 大

【明 大】

田島藤澤 木川岡出 中

山中伊松村鈴石吉井黄田21320

FW HB FB GK GK FK PK

茂呂本永茂 近原内江野 4 6 1 1

加西川(兄) 橋加(高弟) 田右(種) 野竹(不)

(高弟) (種) (不)

【代表軍】

S 11.5.10

蹴球代表勝つ

オリムピック蹴球代表對東大の試合は十日午後三時四十分から勸銀球場で井出(主)渡邊、村形(線)三君審判の下に代表軍先蹴で開始東大は満々たる闘志を持つて全線に活氣漲り代表軍は前日對明大戦の後ではあり疲勞の色を見せ前半一對一といふ接戦を演じたが後半二點を加へてその貫祿を見せた

代表軍 3 2 1 0 1 東 大

S 11.5.11

蹴球の審判として 竹腰君伯林大會へ



從來オリムピック競技で日本から球技に未だ一人も審判を出してゐなかつたところ今夏のベルリン大會の本部から蹴球競技審判推薦の申込があつたので協會ではこの程竹腰重丸君(東大出)を推薦する事となりその手頭を終了した、球技の審判は判断如何によつては勝敗の歸趨が逆轉する場合も生じる程大きな権能を有してゐる、とかくオリムピック等における審判がルーズであるといふ聲を聞かされる現在日本を代表する審判が活躍する事は日本競技會の誇りであらう【寫眞は竹腰君】

S 11.5.14

十六日の運動

◇蹴球 (豫科リーグ) 商大豫 2-1 早高、農大豫 1-0 法政豫

S 11.5.17

十七日の運動

◇蹴球 關東豫科リーグ戦立教 5-1 慈大、慶應 8-3 明大

S 11.5.18

我が選手

くろくろず・あつぷ ④

蹴球 フォアワード (A)



五尺六寸體重は十六貫六百匁

○：名LIとして謳はれた右近君がHB線に抜かれて後退したので攻撃線の花形は六人となつてゐる川本泰三君は市岡中學出身ではあるが愛知縣の産、身長が五尺六寸體重は十六貫六百匁の立派な体格、LI、CF、RIなら委せて置けるゴールデスターである、この頃は見違へる様な粘り強さが出て来たのは見逃せない事實である、無くて七辨といふがしまつたと言つてはフィールドに睡を「ペツ」とするなどは首を振り乍らラツシユするよりは目立つたものだがこの頃街に見受ける「痰を街路に吐く」の立看板が効目あつたかこれもトンと見ない様になつた、球生活八年、これで三度目の國際代表である

S 11.5.17

○：高橋豊二君は成城から東大に進み球生活は十年になるがCFで押し通して来た、然しこの頃ではRIのポヂションも兼任されてゐる「マゴ」の綽名は本名よりも有名である、故高橋は清翁の孫にあたる所からこの綽名が出たと見て差支へはない

○：西昌一君は兵庫縣の出身で甲陽中から關學高商部に入つた、小學校の六年生から球生活に入つたからかれこれ十五年の球歴を持つてゐる、五尺三寸六分の小柄であるのも有名でありRIニシウの綽名は相手の守備線を總毛たてる程で巧技と精神は希望をかけるに足るものがある、プレイはパツとしないが滋味があふれてゐる【寫眞は向つて右から川本、西昌、高橋の三君】

代表軍辛勝

早大の鋭鋒に苦戦す

蹴球

オリムピック代表對早大の蹴球戦は十八日午後四時から東伏見球場で辻君審判の下に代表軍の先陣で開始、前半風下の代表軍は向ひ風に制球力を殺がれ一方早大は闘志満々激しい動きを見せて代表軍の連絡を断ち前半無得点で試合は進んだが代表軍は後半二點を奪つて辛くも勝つ

代表軍 2-0-0 早大

◇：第二次合宿練習を解いて約一週間の休養をとつた代表軍は右近、種田の兩選手病を得て顔を見せぬばかりか元氣乏しく各選手ともベストコンディションとはいへぬ、早大は第二陣ながら完全なマーキングを見せ出足の早さで代表軍の鋭鋒をよく潰した、前半兩軍の無得点は當然であつたらう

◇：後半は十二分FW加茂の送球で作られたチャンスが西邑が決定して一點を挙げ十七分PKを川本鮮やかにきめ2-0として辛くも代表軍

蹴球主將 第十一回オリムピック大會出場
に竹内君 の我が蹴球代表團は十九日夜白木屋食堂で選手會を開催、一行の主將を竹内君(東大出) 副將を立原君と決定した

S 11.5.20

つたのを遺憾に思ふ(山田生)

(早大)

林川越舟田野岡井野田形	谷	中長大綱小末黒上柴村	FW	2	2	15	0
兄島本(永)	松永	野原内(鈴木)	HB	6	2	14	1
加西川高加	橋茂金	江野	FB	6	2	14	1
(代表)	榎立竹	野	GK	6	2	14	1
			CK	6	2	14	1
			FK	6	2	14	1
			GK	6	2	14	1
			PK	6	2	14	1

蹴球代表振はず

東大軍と悪戦苦闘

オリムピック代表對東大蹴球戦は二十日午後四時十分から東大球場で飯田(主)後藤、林(線)三若審判東大の先陣で開始、開始直後東大は一點をあげて試合をリードし代表軍は悲戦苦闘の末辛くも二點をあげて勝つ

代表軍 2-0-1 東大

◇：去る十日の顔合せは東大の奮戦で1-1、2-0の結果を残し頗る興味を持たれた試合であつたが果然東大は早くも三十秒にして代表守備線の隙をつきまくつて一點を先取し試合興味を盛り上げた代表軍は休養後の練習不足さば言へ十八日の對早大戦にも精彩乏しく此日も亦凡戦に終始してしまつた

◇：後半十七分左CK後一點を辛くも回復して同點とし二十四分東大GK進出の機会を誤る事によつて一點を加へはしたが試合全體會

代表軍快勝

(對明大 蹴球戦)

オリムピック代表對明大蹴球戦は二十一日午後三時四十五分から和泉球場で本堂君審判の下に明大先陣で開始、明大は代表軍の強攻にあつて萎縮し試合は一方的となり

S 11.5.22

代表軍は大量得点して快勝した

(明大)

滑松中高山鈴木	井吉田	0	0	25
弟永腰	西邑	8	0	0
本茂	野	8	0	4
加松竹川加藤	立竹	8	0	4
(代)	野	8	0	4
	野	8	0	4
	野	8	0	4
	野	8	0	4
	野	8	0	4
	野	8	0	4

た事はこれを認めはするが東大パツクスの激しい動きのため潰され勝ちであつた事に對しては考へねばなるまい

◇：松永の球捌きは上乘のものではなく集結された球は好果を生むに導く事少かつたのに對し川本と交代せしむべきでもあり竹内、堀江のFB線を従来は後半竹内鈴木

(東大)

村西部田	山	地内岡島橋	2	3	20
松河阿徳	森	大藤葉高	2	3	20
兄	水本	野原内江野	5	2	6
茂竹	茂	金	5	2	6
加西松川加	榎	立竹	5	2	6
(代)			5	2	6
			5	2	6
			5	2	6
			5	2	6
			5	2	6

として研究比較してゐるがこれを鈴木、堀江で研究を試みる事も決して無益ではない、選手も發奮の要はあるしチーム編成の資料蒐集に關しても策をめぐらす興がありはしないか(山田生)

二十三日の試合

蹴球 慶應慶科 0-0 法政 立教慶科 2-0 商大慶科

S 11.5.24

二十四日の運動

蹴球 關西學生蹴球トーナメント 決勝、關大 6-1 8 神戸商大(廿四日花園)

S 11.5.25

我が選手

くろず・あつぷ



蹴球

ゴールキーパー
 ゼラ練習をつまけて静岡中から早大入り五尺七寸、十六貫五百匁の體格は熊井先鋒には劣るが、よく早大のゴールを守つて今日及び今日では全日本のゴールを背負はされたわけ、不破君の出現は一層の奮奮を促したと見られるは決して目が目ではあるまい
 不破君は府立五中を終る頃になつてその天分が認められた新鋭、蹴球の他に趣味なしといふカタゾウの類母しさである
 この御兩人の競り合ひはさきもなほさす全日本ゴールの安泰を意味するものではあらう【案】眞は右が佐野君、左が不破君

代表軍好調

東京蹴球團に大勝

オリムピック代表對東京蹴球團の蹴球戦は二十四日午後二時五十分から勸銀球場で濱田君審判の

下に代表の先鋒で開始、強風雨でコンディションは悪かつたが代表軍快調を見せ8-0で大勝した

代表軍敗る

對慶應戦に初黒星

オリムピック蹴球代表軍對慶應の蹴球戦は二十六日午後三時四十分から勸銀グラウンドで伊藤主審、慶應の先鋒で開始、代表軍は西邑の負傷でFW線の攻撃を低下加ふるにHB線FB線のコムピネーション悪く後半慶應に四

點奪取されて結局四對二で初めて敗戦す

FW	加川竹高	茂金	竹立	鈴木	佐不
HB	内原	木江	野成		
FB					
GK					
CK					
FK					
PK					

代表軍 12 6 8

FW	加川	本松	加
HB	種田	立原	竹
FB	鈴木	木	佐不
GK			
CK			
FK			
GK			

代表 8 5 3 0 0 0 東 蹴

大學豫科蹴球

豫科蹴球リーグ戦は廿四日午後一時から和泉球場で行はれたが結果左の如し

早	高	7	4
農大	2	11	1
明大	2	0	1
慈大	2	0	0

代表軍勝ち

對商大蹴球戦

オリムピック代表對商大蹴球戦は二十九日午後三時十五分から勸銀球場で重見(主)林田、小野(線)三若審判、代表先鋒で舉行、六對一で代表勝つ

代	表	6	3	3	0	1
商	大	3	1	0	1	0

FW	加川	本松	加
HB	種田	立原	竹
FB	鈴木	木	佐不
GK			
CK			
FK			
PK			

代表 8 5 2 0

三十日の運動

蹴球(豫科リーグ)慶應4-1農大、明大5-1法政

卅一日の運動

蹴球 豫科リーグ立教4-1、0早高△商大2-0慈大、

蹴球選手権

第二回全日本蹴球選手権大会開東

東遷第一日は六日午後一時半から和泉、東高兩グラウンドにおいて第一回戦七試合を舉行

東京蹴球團 4-2 法友
商 大2-0 慈 惠 大
早大 W M W 8-0 商 船
帝 大6-1 帝大 L B

慶應 B R B 5-1 東大 O B

文理大 抽 0-0 慶 大

拓 大 5-0 東京高校

關西豫選 『神戸電』 全

日本蹴球選手権大会關西豫選第一日は六日神戸市民運動場で舉行
京都帝大 4-2 關大クラブ
關西學院 13-0 和歌山高商

六日の運動

◇蹴球 慶應 7-0 立教 (資料リーグ決勝)

S 11.6.7

延長戦で

慶應勝つ

全日本蹴球

第二回全日本蹴球選手権開東豫選第二日は七日午前十一時から明大グラウンドで三回戦を舉行。慶應対帝大戦は慶應タイムアップ三十秒前右CRからR B石川のヘッディングで貴重な一点を物して延長戦に入り延長前半は慶應も風上を奪って慶應の優勢を押し五分右コーナーからC F増田のヘッディングで二点を加へその優勢し切つた。慶應 2-0 帝大

關西

高野田 慶應 丸丸川 關川川
二條 曾根 松本 伊石 石澤 21-10
FW HB FB GK CK FK GK CK FK GK
村田 池川
松本 池川 池川

東海

文理大 5-1 4-1 2-1 1-1 2-1 1-1 2-1 1-1 2-1 1-1 2-1 1-1
慶大 4-0 3-1 0-1 0-1 0-1 0-1 0-1 0-1 0-1 0-1 0-1 0-1
早大 2-1 1-1 0-1 1-1 1-1 1-1 1-1 1-1 1-1 1-1 1-1 1-1
W M W 2-1 1-1 0-1 1-1 1-1 1-1 1-1 1-1 1-1 1-1 1-1 1-1

東海豫選は

名古屋電 話 全日本
蹴球選手権
大会東海海選決勝戦は七日名古屋高商グラウンドで舉行
名古屋電 話 全日本
蹴球選手権

S 11.6.8

蹴球代表役員決定

大日本蹴球協會では第十一回オリーブピック大会派遣代表役員を八日左の如く發表した

監督 鈴木重義 (大日本蹴球協會主席、早大出)
▲コーチ 工藤孝一 (早大出) 竹腰重丸 (選手兼任、東大出)
▲マネージャー 小野卓朗 (中大出)

S 11-6-9

蹴球代表快勝す

きのふの對東大戦

オリーブピック蹴球代表對東大の試合は十二日午後三時三十分から動園球場で井出 (主) 大内、小野 (副) 三番審判東大の先陣に開始。代表者は驚く不調を脱し 9-2 で快勝した

代表 9-2 東大

東大 1-3 22
FW HB FB GK CK FK GK
加川竹石 加川竹石

S 11.6.13

けふ蹴球代表送別會 大日本蹴球協會主催オリーブピック代表壯行送別會は十三日午後六時から大阪ビルインボーグで開かれる

S 11.6.13

蹴球關東豫選

昭和十一年度全日本蹴球選手権關東豫選第三日は十三日午後一時から和泉明大球場で準決勝二試合を舉行、二試合とも接戦を續け結局慶大 B R B と W M W とが勝ち残り今十四日は名譽をかへてゐても早慶の間に決勝戦が行はれる

慶大 B R B 1-0 0-0 0 文大

文大

島内下部川 下田 塚元内
長竹久阿小 木腰 三阿中
FW HB FB GK CK FK GK
侯宮田崎崎 川元藤 藤川 宮
猪二増篠駒 宮松加伊石一

商大

W M W 2 1-1 1-0 1 商大
由掛枝井井田西崎 藤木澤
林大後 荒村 森小岩 後 鈴吉
越邊橋岡 松野 田村 野田 形
大渡高末西 關吉西 上柴村

S 11.6.14

十四日の試合

◇蹴球 同志社高商 0-0 日鷹 (桐生) 桐生高工 6-1 東京工機
(東京府中等低学年大会準々決勝)
豊福 4-0 本郷中、府九中 2-1
府二中、府五中 2-1 青師、府八中 2-0 府高専

S 11.6.15

早大遂に敗る

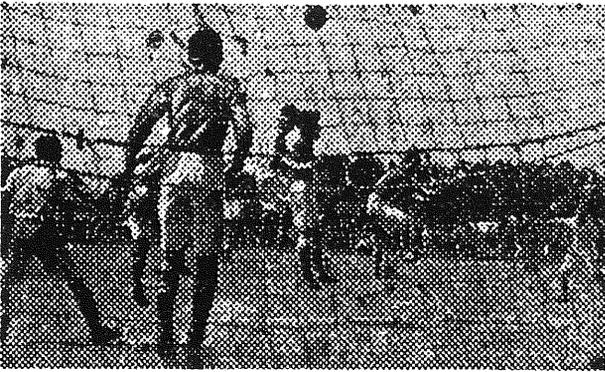
蹴球 関東代表は慶大

昭和十一年度蹴球全日本選手権大會関東選決勝慶大B・R・B対W・M（早大）の試合は十四日午後二時から和泉明大球場で伊藤君審判の下に慶大B・R・B先蹴に開始、W・Mは前半好戦試合をリードしてゐたが後半慶大が各線を整へるに及んで守備に追はれ自陣に悲戦苦闘して遂に取れ結局慶大B・R・Bが関東代表となつた

慶大 6(1-1-2) 2 W・M
B・R・B 5(1-0) 2 W・M

◇前半 十四分W・Mは吉田の長蹴を以て一点を先取し慶大B・R・Bは

W・Mゴール前に走る



S 11-6-19

慶應か普成か

全日本蹴球選手権第二回大会は初日の試合を踏まわつて、慶大B・R・Bと名古屋薬専と決つたがこれによつて豫想するならば第一回戦の勝者は主將裴（C・F）朴（R・I）朴、鄭（F・B）等の前回の経験を持つ副將を擁し體格と制球力に優れた普成専門と豫想する

全日本蹴球戦の榮冠

▲▲ 出場チームは毎度の事ながら全國一の激戦地——関東の希望を擔ふ慶大B・R・Bをはじめ、關西代表關西學院大、東北代表東北

卅分二宮の得点で同点となる、以後一進一退し四十分W・Mは右CKを高橋ヘツデングで得点し再びリードして前半を終る
◇後半 十六分慶大B・R・Bは二宮直

球を放ちW・Mの見るなセーウィングに却けられたが播磨追つかけて左隅を破り2-2の同点となる、この後W・Mは一度強襲機会を得たが空しく慶大B・R・Bは二十七分二宮一猪俣の連絡よく二宮シュートして一点を加へ3-2とリードしてリードしたW・Mは進出機会を失し慶大B・R・Bは中央線上のFK後一点を加へてからW・Mの過失も交へて更に二点を増し6-2で勝つ

【W・M】		林邊橋岡越野田村野田	
中渡高末大關吉西上栗		辻	
FW	HB	FB	GK
俣田宮崎崎川元藤藤川田	田	田	田
猪増二播駒宮松加伊石津			
10	5	20	
6	4	24	
CK	FK	GK	

【慶大】

らばそれはいふ迄もなく番狂はせである

普成は容易に一勝し第二回戦で關西學院大と顔合せするが關學大は前年の陣容に動きなくしかも今春新鋭を迎へていよゝ充実しこの春の關西トナメント及び關西豫選においては歴倒的勝利を収めてゐる

山腰、田島の両インナーは兎も角C・F野澤はますゝ圓熟し梅園、田中の両翼を強く深く衝かす奇智は試合を巧みに進めしめ得点力を増大してゐる、これは普成の脅威であらう

然しH・B線は軟弱な點を藏してゐるためにF・B線の守備範圍をひろめる憂ありこのために思はぬ失點が豫想されぬものでもない、と言つて關學大野澤の奇智縱横の熾破的攻撃は失點あつても容易な得點が豫想され普成を難攻不落の城岩

全日本蹴球組合せ 第二回全日本蹴球選手権大會は来る十九、廿、廿一の三日間戸山學校球場で舉行、組合せは十五日左の如く決定した
◇第一日（一回戦）（A）普成専門（朝鮮）對東北學院蹴球團（東北）午後三時
◇第二日（準決勝）Aの勝者對關學大（關西）午後二時、名古屋薬専（中部）對慶大B・R・B（関東）午後四時
◇第三日（決勝戦）午後二時半

▲▲ 伯仲のこの一戦勝敗の豫想は許さず本大會白眉の試合でもある

名古屋薬専の玉碎を期するであらう對慶大B・R・Bの試合も龍車に向ふ蠟燭の奔にも似たるものとなるのではないかと油断をする事もなければ慶大B・R・Bは刃に血ぬらさず決勝戦へ出るものと見られる

さて優勝は遠來の普成か、關學大か、慶大か、右近を欠いてゐるとは言ふものの先輩松丸を加へて陣容を強化しこの他各種の有利な條件を具へてゐる慶大B・R・Bの優勝を豫想したいが試合は必ずしもこの有利な條件を活用し得ないで終ることがまゝあるから三ツ巴の追撃争闘豫想に打ち止めるばかりではない（山田生）

學院俱樂部、東海代表名古屋薬専

そはに最初の覇権を獲得した京城

蹴球團の主流を擁する西朝鮮を

経歴を以てし朝鮮代表其成専門

東北學院俱が捨身に出て速い

蹴球を以てしこの力を外す

事は十中八九の先覚東洋の力下

からい、この豫想を西朝鮮

普成先づ一勝す

全日本蹴球戦—第一日

第二回全日本蹴球選手権大會第一日は十九日午後三時半から戸山學校球場で朝鮮代表普成専對東北學院の第一回戦を舉行、普成の一方的試合で10—0と開いたが東北學院俱辛くも一點を酬いて零敗を免かれた

普成専 10—4—1—0 1 (東北學院)
 (朝鮮) 10—6—1—1 (東北)
 (井出、辻、福島三君審判、普成先陣で開始)

◇前半 二分LW孔シュート後に生じたチャンスはRW宋とらへてゴールを奪つたのをはじめとし十四分朴、裴の連絡で進みCF裴は東北GK伊達の逆モーシオンを衝いて一點を加へこの後二十五分東北學院俱は中央線附近のスロインから進んで好機となつたが右サイドの進出これに伴はず空しく終り廿九分普成は鮮やかなFWパスで持ち込みRI朴シュートして得点3—0となる、卅三分東北學院LWB大條バツクパスをGK伊達後逸しこれを普成CF裴プツシュして得点4—0となつて前半を終る



普成軍の猛襲

點を収めてから十三分左側から送つた球をCF裴シュートして得点この後普成は東北學院GKの不調に乗じて二分の間に三點を加へ三十分LI林、RI朴の好パスは軽く東北學院のFB線を抜きシュートして得点、三十三分東北學院LH我妻からフイードした球をCF裴左前に捌きノウ・マークのLW齋藤ドリブル・シュートして一點を報いた

審判

◇：既に豫想された所のものではあるが

【普成】	【東北學院】
FW 孔林(孝)	FW 齋藤(忠)
HB 朴宋(錫)	HB 大條(剛)
FB 李金(奎)	FB 我妻(剛)
GK 李金(奎)	GK 伊達(剛)
2 1 5	2 6 17

【朝鮮代表】
 東北學院俱は余りに脆い試合の末に惨敗を喫してしまつた、相手にのまれたが闘志を欠き施すに術を知らぬ

かの如きプレイに終始した、最後の一點を収めたればこそ貴重な家畜も出来たさいふ様なもの、余りに均衡を失したチームであつた、この得点までに左右呼應する實力があつたならは少くも二ゴールを奪つてゐたであらう、左側の進出に對し右側これに應ずる事を知らずあつては失點の多きを得點に依つて償ふ事は不可能である

◇：これを守備的に見ればマークキングを忘れカツテングは信頼し得るものがあつたがこれを効果的に處理する事が少かつた、普成が後日に備へて調子を落してゐるのに引きずらつて試合を進めた事は見様によつては成功さしいへるがこの裏をかき得るに十分の力を欠いてゐるは今日の場合決して成功さしいへない

◇：普成は長短パスを混用し相手を見ての事でもあらうが試合を沈着に進めた、これを失へばその卓抜の實力も實力さして示現する事が出来ずに終る事と共に反則プレイに對しては互に自戒しあふ事を一言呈して置かう(山田生)

普成慶大残る

全日本蹴球—準決勝

◇後半 慶大は三十秒ドして塚部の好ヘッディング成つてから漸次得点を加へ二十八分増田の得点を最後とし六點を加へ大勝

第二回全日本蹴球選手権大會第二日は二十日午後二時から戸山學校球場で準決勝二試合を舉行、前日來の降雨は止んで試合開始頃から天候は全く回復したが蒸し暑くコンディションは上乘と言へない、實力互角接戦を豫想された關西代表關西學院大對朝鮮代表普成専門の試合は普成のリードで進み接戦を續けて二對二の儘延長戦に入り普成二點を加へて勝ち決勝に進む事となれば一方關東代表慶大B R B對東海代表名古屋藥專の試合は慶大B R Bが快勝して普成と朝を争ふ事となつた

普成専 4 0211 0002 2 (關西) (朝鮮)
 (二時高山、築島、菊池三君審判、關學大先蹴)

◇前半 關學優勢に試合を進めたが攻撃線のW型深く兩インナーの進出遅れ氣味とチャンスを決定し得ず、十七分普成はRW宋の長送球CF表左に廻しL I E林シュートして一點を先取、關學は二十三分L I 山藤、CF野澤進F B線を崩して山藤のシュート決つて同點となり、更に二

十五分田島—野澤—山藤の連絡よく山藤ゴールを擧げて逆に2—1とリード、この後普成は二十七分關學大陣にFKを得たが關學大の好防に無爲

◇後半 普成の進撃漸く激しく關學大自陣に苦戦しながらもG K中村の好守にのがる、十分頃から關學大進出の機會を得たが空しく普成は十九分R H李の自陣からの前送球よく伸びCF表中央を割つてドリブル・シュートし得点2—2の同點となる、關學大も好機あるが得點に至らず

◇延長戦 二分關學大RW田中の中前送球で機會となつたがCF野澤飛球を放つて止み四分普成

【普 成】

FW	孔林	裴朴	宋金	文李	玄朴	李奎	5	2	16
HB							7	7	20
FB							7	7	20
GK							7	7	20

園邊澤島中田田邊井部村
 梅山野田田三朝田松宮中
 【關學大】

は左CKを孔好蹴しR I 朴シュートして一點を加へ更に九分R I 朴の左前送球をL W 孔長蹴して得点4—2と開く、後半に入り試合は依然接戦を續けられたが關學大の挽回成らず終る

慶大 6 7 0 0 0 0
 (關東) (東海)
 (四時 伊藤、石井、渡邊三君審判、慶大先蹴)

◇前半 四分慶大は塚部—播磨—駒崎のパスで駒崎得点、七分C H 松丸の右前送球で好機を作り播磨これをきめ八分塚部、十四分増田、十六分西本とそれぞれ得点し5—0となる、二十一分駒崎、三十四分塚部のゴールを加へて7—0と開き前半を終る

【B R B】

FW	西塚	増田	宮松	加伊	石一	10	5	4
HB						1	4	29
FB						1	4	29
GK						1	4	29

川川藤淵頭宮邊松田川
 石帖後眞鬼用河若野小
 【名 藥】

普成専と大接戦 慶覇権を握る

全日本蹴球終る

第二回全日本蹴球選手権大會最終日の決勝戦は關東代表慶大B R Bと朝鮮代表普成専との間に二十一日午後三時から戸山學校球場で舉行、シーソーゲームを演じて後後半三十九分慶大は辛くも決勝の一點を記録して3-2で勝ち覇権を握つた、斯くて本社寄贈の全日本大銀杯は關東代表慶大B R Bの獲得する所となつて午後四時四十分三日間に亘る大會は幕を閉ぢた

慶大 B R B 3-2-1-1-1 普成専 (關東) (朝鮮)

【普成先攻、井出、關野、辻三君審判】

◆前半 慶大は二分普成陣にFKを得、C H松丸のキック風に乘つてよく伸びゴール前にあつたC F増田軽くヘッドイングして一點を先取五分、普成はC H文の前送球をR I朴とつてシュートしたが左ポストを弾いて止み九分自陣よりF Wパスで出たがL I林の進出遅れて潰されこの後慶大F B線を抜いて強襲を續けたがL W孔凡失多く得點に至らず、三十一分普成は右側から出でR W宋、C F裴と渡り裴

は巧みに慶大F B線を抜き小さく左前送したのをL W孔飛び込んできめ1-1同點となる、普成引續き慶大陣に球を寄せ幾分優勢であつたが空しく慶大も三十四分二宮、塚部、播磨の好パスに好機を作つたが普成G K李果敢のセーブで終る

◆後半 三十五秒普成陣ベナルテイに近くFKを得た慶大は松丸キック低目であつたがノウ・タツテ・ゴールインとなり2-1で再びリード、七分慶大は左側より出で普成陣に善闘を續けて無爲、十三分中央線にFKを得松丸好蹴しL W二宮これを右前に捌いたが普成L B洪飛込んで潰す十九分普成は右側より進みC F裴強蹴し慶大はG K津田これを一旦クリヤしたがいL I林拾つてゴールを狙ふ慶大はL B伊藤のゴールカヴァで重なる危機を脱したと思はれたがR I朴これをとつて遂にきめ再び同點となる二十五分普成は左右に連續C Kを得て攻め立てたが慶大G K津田巧みに潰してのがる、普成風を利用して長蹴を以て慶大ゴールを攻めるが、混戦の中にもパックスこれを潰してのがる

三十九分慶大は普成陣深くのスロインからゴール前に寄せ中央に寄つたR W駒崎これを拾つてシュートすれば決勝のゴールインとなる、この後中央に接戦したが普成に好機なく慶大B R Bの辛勝する所となる

【B R B】
官部田 藤崎元丸川 藤川田
二塚増 播磨 松松官 伊石津
FW 17 15
HB 4 18
FB GK
FK GK
13 4 18

【普成専】
孔林裴(幸) 宋金文(錫) 洪(奎) 李(奎) 朴(奎) 李(奎)
審判

◆：豫想された如く決勝戦に相應しい大試合であつた、後半三十九分駒崎の放つたシュットが本年度の全日本選手権を決定する貴重な一點となりはしたがこの日の兩軍の出来榮えは兄たり難く弟たり難く勝敗の分岐は運、不運によるものであつたといつてもよい普成が得點を急がず、勝敗に囚はれず前半1-1後の緻密な球捌きで巧みに球を打つて試合を進め連戦苦闘の足跡

に光輝を放つ事が出来たであらうと惜しまれもする
◆：普成専門は蓄へられた實力を示し得ずに敗れた感が深い、これ迄の二試合を通じて見うけたH B線の加擔力もこの日は立派なフィードとなつて十分に行はれたがL W孔君の進退と制球力の不足により決定的のチャンスは自潰される事が多かつたのは特に目立つてゐるが敗因の主なるものとしてはF W線に球が出されてからこれを扱ふに慎重を欠いてゐた

◆：後半十九分2-2の同點とした時の如く矢つぎ早の中にも慎重さがありフオロウ・アップが完全に行はれてゐたならば失點を償ふだけの得點は可能であつたらう決河の勢を以て奮進する意氣と其優れた足技を賞しはするがこの間に相手守備線の整備あるを無視して自己の技術を過信するは當を失してゐる、相手を見て試合する事の必要を普成のために忠告して置かう、普成は若い

◆：慶大B R Bはあらゆる有利な條件を必ずしも生かしはしなかつたがF B線の不調の中にG K津田の力戦は得點チャンスを作つてゐた松丸、健闘を續けた播磨と共に殊勳者として讃へらるべき人である(山田生)

◆：豫想された如く決勝戦に相應しい大試合であつた、後半三十九分駒崎の放つたシュットが本年度の全日本選手権を決定する貴重な一點となりはしたがこの日の兩軍の出来榮えは兄たり難く弟たり難く勝敗の分岐は運、不運によるものであつたといつてもよい普成が得點を急がず、勝敗に囚はれず前半1-1後の緻密な球捌きで巧みに球を打つて試合を進め連戦苦闘の足跡

二十一日の試合
◇蹴球【仙台】二高2-0中央
(東京府中等低學年決勝) 府立五中1-0豊島師

九大勝つ 對城大蹴球二回
【福岡電話】 第八回九州帝大對京城帝大定期蹴球試合第二回戦は二十四日九大で舉行、三對零で九大勝つ

九大3-12-0-0 城大
S 11.6.25

商大豫科 商大豫科對浦高蹴球勝つ
蹴球戦は廿七日午後三時半から浦高球場にて岩本君審判浦和先蹴で舉行、二對零で商大豫科が勝つ
商大豫科2-0-0-0 浦和高校
S 11.6.28

※次のページに続き

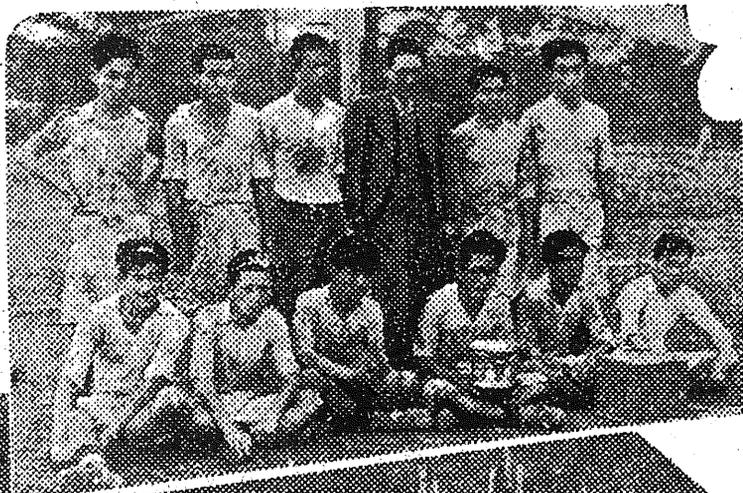


写真 慶大GK津田の果敢なセービングと慶大チーム

※サポーターの応援
新普成専の試合に
男子専 (S11.6.22.合)



關東大學蹴球 關東大學蹴球リーグ戦日割は一日左の如く決定發表された

- ◇九月廿七日早商(神宮三時)
- ◇十月四日慶商(戸山二時半)
- ◇十月十日帝慶(神宮三時) 十六日帝文理(神宮三時) 十八日慶農(帝大三時) 二十七日文理慶(神宮三時) ◇十一月一日商慶(帝大二時半) 七日早文理(神宮三時) 八日帝商(代田二時半) 十四日帝慶(神宮三時) 十五日早慶(戸山二時半) 廿一日文理慶(代田二時半) 廿二日早慶(神宮三時半) 廿八日文理商(代田二時) 廿九日早帝(神宮三時)

スポーツドム

全國中等蹴球大會「名古屋電話」名古屋高商主催第四回全國中等學校蹴球大會は二十三日から四日間同校庭で舉行されるが申込締切は十五日である

S11.7.12

北日本高専蹴球 【仙台

電話】東北帝大體育聯盟主催第七回北日本高専蹴球大會は十四日午前九時より同大學で舉行、第一次戦績左の通り

高桐	高弘	高仙	仙台	東京
工生	校前	工台	工台	工台
5	4	5	3	2
(2021)	(3 1)	(3 2)	(0 0)	0
1012	1 2	0 0	0 0	0
4	3	0	0	0
豫北	高富	醫東	仙山	京大
科大	校山	専京	専京	専京

初の對戦に 惜敗

我蹴球代表

【ベルリン十五日發問題】我代表蹴球團の對ワツケルの大體最初の一戦は十四日午後六時からワツケル先戦で舉行三對一で敗退した、その敗因は第一に外人チームに對する不馴れが前半三點を許す結果となつたもので日本また加茂(兄)のシュートで一點を還して善戦後半は漸く周圍や戦法に馴れた我代表軍の調子が防禦に示されて遂に敵の得點を許さずして終つたが一方その攻撃は日本式な細技が逆に敵の大まかではあるがスピードあるプレーにつり込まれ得點なくかへ、加へて松永の負傷右近又腦震盪を起して益々戦を不利にし遂に壓迫されてしまつたのであるがこの一戦は身體の大きい外人に對する今後の對戦により経験であつた

S11.7.16

北日本高専蹴球 【仙台

電話】第七回北日本高専蹴球大會準決勝は十六日東北大工科球場二、高7-1 福島高商 桐生高工 2-1 弘前高校

S11.7.17

ベルリン・オリンピック大会

蹴球も勝つ

スエーデンと對戰

【ベルリン四日發同盟】 蹴球競技第一日は四日午後五時よりヘルタプラッツベルリン球場において第一回戰を舉行、日本は強敵スエーデンと對戦し前半は0-2でリードされたが後半3點を返し3對2で勝つ

二十六日の記録

◇蹴球【名古屋電話】全國中等學校大會刈谷中學優勝 S 11.7.27

蹴球惜しくも敗る

【ベルリン二十八日發同盟】 我が蹴球團は昨二十七日ミネルバ軍と練習試合を舉行三對二で惜敗した
ミネルバ 3 (1-1-2) 2 日本

蹴球代表日程決る

【ベルリン二十八日發同盟】 我が蹴球代表軍の大會終了後の歸還日程は二十八日決定發表されたが右によると一行は十七日ミュンヘンに至り十九日にはチューリッヒ、二十日にパリに至つて一泊、二十一日にはフランス軍と對戦し、二十三日ロンドンを訪問オランダ、パリを経由して二十七日マルセイユに至り二十八日鹿島丸で歸還の途に就くこととなつた

後半に猛攻

日瑞蹴球經過

【オリムピック・スタジアム四日發特電】 我が蹴球代表チームと北歐にその強力を誇るスエーデンチームとの試合は四日午後五時半ヘルタプラッツ球場において行はれた、わが代表チームはトスに勝つて風上にサイドをとリスエーデンのキックオフに依り試合は開始

前半

スエーデンチームはその巨體を利用してロングパスに、またスエーデン人の集團的應援に氣負ひわがチームは試合開始直後稍々壓せられ氣味であつた、二十二分、三十五分と各一點をあげられ二點を先取されたわがチームも何回か肉薄してチャンスを迎へた、しかし前半は不運にも遂に無得點に終つた

後半

わがチームの得意とするショートパスが次第に威力をあらはしわが選手が行く所ボールもこれに従ふといふ好調を見せて全く敵を壓し去つた斯くて五分、十三分、三十五分と順次得點して遂にリードを奪ひ堂々と試合を奪つてしまつた

S 11.8.6 (多利)

日本敗退

對イタリー蹴球戰

【同盟】 わが代表チーム對伊國の蹴球第二回戰は七日午後四時半(八日午前零時半)からメルリン球場で舉行、わがチームは前半2-0と後半6-0とリードされ八對〇で敗退した

S 11.8.8

蹴球一回戰

日伊の顔合せ

【ベルリン六日發同盟】 蹴球は七日第二回戰に入ることゝなつたがその組合せは次の如く決定、スエーデンを破つた日本は七日イタリーと對戦することゝなつた

◇七日 獨逸對諾威、日本對伊太利

◇八日 ペルー對埃太利、波蘭對英國

蹴球、英ペルー勝つ

【ベルリン六日發同盟】 蹴球一回戰最後の二試合は六日午後五時(日本時間七日前一時)からメルリン球場で舉行成績左の如し

英國	2	0	0	0	中華民
ペルー	7	4	3	2	1
					3

芬蘭

S 11.8.8

全國中等蹴球

【横濱電】

全國中等學校蹴球甲神靜地方豫選第一日は四日午前九時から横濱高商グラウンドで舉行一回戦成績次の如し

横濱二中 01 || 00 濱松一中
 非崎中學 33 || 00 甲府商業
 志太中學 24 || 00 關東學院

S 11. 8. 5

全國中等蹴球

【横濱電】

蹴球選手権大會甲神靜地方豫選第二日は五日午前十時から横濱高商球場において舉行、成績左の通り

川崎中學 2 20 || 00 0 横濱三中
 非崎中學 5 41 || 11 2 横濱二中
 湘南中學 2 02 || 00 0 志太中學
 神奈川師範 0 0000 || 0000 0 神靜岡

S 11. 8. 6

全國中等蹴球

東京千葉地方豫選第一日 全國中等學校蹴球大會東京千葉地方豫選第一日は六日午前九時から帝大球場で第一回戦三試合を舉行、成績左の如し

早實 2 11 || 00 0 成城中
 青山師 9 45 || 00 0 東葛師中
 府立八 11 74 || 00 0 東高尋中

甲神靜地方豫選 は六日午後二時から横濱高商球場で舉行

非崎 2 02 || 00 0 湘南
 神奈川師範 2 20 || 00 0 川崎中學

S 11-8-7

全國中等蹴球

非崎中優勝す

【横濱電話】 全國中等蹴球大會甲神靜地方豫選決勝戦非崎中對神奈川師範の戦は七日午後三時四十分から横濱公園球場で神奈川師範の先蹴で開始、四對一で非崎中優勝し甲神靜代表となる

S 11-8-8

中等蹴球 帝大球場 華々決勝

青山師範10	4	6	0	0	0	早
府八中2	1	1	0	0	0	豊島師
府五中2	0	2	0	0	0	鳴屋中
本郷中2	1	1	0	0	0	開成中

S 11. 8. 9

全國中等蹴球豫選

◇東京千代田地方連勝
全國中等學校蹴球選手権大會東京十畿地方連勝決勝は九日午後帝大グラウンドに於て舉行

八中3	2	1	1	0	1	府
-----	---	---	---	---	---	---

川倉中藤根里木口藤波岡

小倉廣澤小倉野加松

仙臺原山川柳田原崎山平

川越水丸橋小山松瓜船松

五中1	0	1	0	0	0	本郷中
-----	---	---	---	---	---	-----

澤木村家土上田井村賢

海防中長瀬橋馬岡田植有

村野村谷島坂本野買禰

中野木加長本川中須浦

S 11. 8. 10

※ベルリン・オリンピック

蹴球第三位決定戦

譜威3	1	2	0	2	波蘭
-----	---	---	---	---	----

S 11. 8. 14

GK交替可能

國際蹴球聯總會で規則改正

【ベルリン十四日發同盟】第二十三回國際蹴球聯總會は十三日午後より開催、ペルー蹴球團慰撫等をはじめ左の如く決定した

一、ペルー蹴球團は南ドイッにおける二試合を行つた後ウキンに赴きオーストリー・チームと再試合をなす

一、右試合の勝者に聯盟總裁リメ氏よりトロフィーを贈る

一、一九三八年の世界蹴球選手権をパリで開催すべきことを可決す

一、競技中競技者の變更を許さず但しゴール・キーパーに限り負傷せる場合は之を變更し得ることを得

一、一九四〇年度世界選手権大會をベルリンで開催したき旨ドイツより希望あつたが之を保留す

S 11. 8. 15

※ベルリン・オリンピック

蹴球伊太利優勝

【同盟】蹴球決勝伊太利對埃太利戦は十五日午後四時から舉行、大接戦となり延長戦の結果2-1で伊太利が優勝した

伊太利	2	1010	0010	1	埃太利
-----	---	------	------	---	-----

S 11. 8. 16

※ベルリン・オリンピック

蹴球決勝經過

伊國對埃國

【同盟】蹴球決勝經過

◇前半 各プレイヤーの好技を恃むイタリーと完璧のチームワークを以て確實に布陣する埃國はキック・オフ直後から猛烈な接戦を續け妙技の極致をつくして一進一退するもゴール成らず無得點に終る

◇後半 伊國の猛襲効を奏しFWフロソのシュートはゴールを割つて一點を先取、一方埃國はFWの一人負傷して退場したが屈せず敵陣に肉薄しカインベルゲルのシュート見事ゴールして同點延長戦に入る

◇延長前半 (十五分)埃國の攻撃鋭く伊國のゴールを割つたと思はれたがゴールキーパーの好技に救はれて止む

◇同後半 三分イタリーのフロソ長驅ドリブルに出でゴールを割つて決勝の一點を挙げ結局二對一でイタリーの制覇なる

S 11. 8. 16

蹴球規則

一部變更

今シーズンから實施

大日本蹴球協會では廿三日協會事務所に於て審判統制委員會を開催、去る六月十三日英國スコツトランド、トルリン市に於て開催された國際蹴球協會會議の決定に基き來る九月一日に開かれる本年度シーズンより競技規則の一部を變更實施することに決定した、その主なるもの次の通り

一、従来のゴールキックに關する規定に次の制限を加へる、ゴールキックの場合、従来のゴールキーパーが他の競技者(例へばフルバック等)のゴールキックのボールを手に受けて之を處理せしむるも今後之を許さずゴールエリアより直接ベナルテイエリア外に蹴ることを要す、若しボールがベナルテイエリア外に蹴られなかつた場合はゴールキックをやり直すこととする

二、フリーキックの場合、相手の競技者はボールを蹴り終る迄九・一五米以上ボールより離れてゐることを要す、但し味方のゴールライン上に立つて居る場合は九・一五米以内でも容許なかつた、之を一歩變更して味方のゴールポスト間のゴールライン上に立つて居る場合に限りボールより九・一五米以内でも容許なしと改正する

S 11. 8. 25

中等蹴球組合せ

【大阪電話】第十九回全國中等學校蹴球選手権大會は二十八日から三十一日迄四日間甲子園南運動場で行はれるが組合せは左の如く決定した

- 堺中(阪和代表) 對 岐阜師(東海代表)
- 海星中(北九州代表) 對 熊本師(南九州代表)
- 埼玉師(關東代表) 對 東京府立八中(東京代表)
- 仙台中(東北代表) 對 青森中(甲種代表)
- 關學中(兵庫代表) 對 京都市(京滋奈代表)
- 富山師(北陸代表) 對 廣島一中(中國代表)

S 11. 8. 28

地方ニユース

蹴球代表歡迎試合

◇「滋松電話」わがオリムピック蹴球チームの主力をなした静岡縣産選手——堀江、加茂兄弟、佐野、松永、笹野の六君の歸朝を待ち歡迎座談會、戰況報告會を催した上に六選手中心のチームと支部加盟五團體の選抜チームを作つて實戦に於いても新知識を得よう堀江支部長、市川評議員が中心になつて準備に大奮となつてゐる

S 11. 8. 29

陣容手不足では 連勝は困難

蹴球 鈴木監督語る



【ベルリン本社支局八日發】

スイーデンに快勝して歐洲に少からずセンセイションを起した我が蹴球チームは七日午後モンゼン競技場で前年度の世界選手権保持者イタリーチームと戦ひ遂に入對等のスコアを以て敗れたが参加十六チーム中の強豪と戦つて第一回でも勝つてゐるのは少くとも後期以上の成果を収めたものといへる、戦後鈴木監督は語る

我々は祖國の榮譽を思ひこの對イタリー戦にはスイーデン戦に堀江、右近等の闘士を怪我せしめて手不足な陣容だつたにも拘らず、良く死力を盡して戦つたが遂に敗れてしまつた、我々は素直にイタリーの強さを認めなければならぬが唯この對イタリー戦において遺憾に思はれたことは相手可なり亂暴過ぎてゴールキーパーの佐野、フルバツクの鈴木等がノバされ、唯さ

へ手不足な陣容を益々悪くし、イタリーとのスコアを大きくしたことだつた、歐洲に初めて出て来て見て一番に感じたことは日本の蹴球は歐洲と比較して決して劣つてはゐないといふ事だが彼等と比較して體力には可なり差のある事は認めないわけには行かぬ、そこで今度の如き少人數の遠征では第一、第二回戦に勝つても優勝戦近くまで進む事は到底不可能であらう、次に世界のレフエリシツは例へば反則に對する處置は日本と比べて甚だ嚴格だがある點では違つてゐる處が多い、今後の日本の試合方法はこれによつて變へなくてはならぬが更に我々は彼等との體力の差を技術的に研鑽して取り返さなければならぬ最後に私は今回の遠征の経験を以て来る東京大會には優勝とまで行かぬにしても準決勝までは進み得るだらうとの自信を持つた事を申し述べ度い【眞眞は鈴木監督】

蹴球

【同盟】 八日行はれた蹴球遠征の結果左の如し

ベル 4-2 埃 國

日伊戦試合経過

【ベルリン七日發同盟】

◇前半 13分伊國はHBからカペリー、ベルトニと渡りシュート成る、30分伊國はビシニ、マルチニと渡りマルチニのシュート極つて2-0と開く

◇後半 10分イタリー左から攻めピアギのシュートで3-0となり15分日本川本、伊國ゴール前に迫るチャンスあつたが成らず28分伊國は右CKをバルドがシュートしゴール成つて4-0その後31分カペリー、34分ロカテリ、38分ピアギ、43分カペリー等連續ゴール成り日本は遂に無得點で敗る

實力半分の戦

工藤コーチ談

對スイーデン戦に精根を盡したため疲勞してゐる得意の細技も思ふ様にならずイタリーのキツクラツシニに攪亂されてしまひました、伊國は非常な亂暴なプレーを行ひ日本はこれを恐れた氣味があり三點とられるまで試合らしい試合であつたと言へますがこんな敗けては何ともいへません只スカの半分もあつてかつた事か残念です

FW	HB	FB	GK
一ギニニシリニドニアツリ リアトチツテシルソウエン カピベルマフロピラフウ	田原内木野	田原内木野	田原内木野
FW	HB	FB	GK
兄弟本近永 茂茂 加加川右松	田原内木野 種立竹鈴佐	田原内木野 種立竹鈴佐	田原内木野 種立竹鈴佐
11	6	10	0

ペルー蹴球團 大會脱退か

失格問題異常な波紋

【リマ(ペルー)十日發同盟】

オリムピック大會第八日目舉行された蹴球準々決勝ペルー對オーストリア戦の試合無効宣告に激を發して遂にペルーの再試合拒否から失格宣告を受けるに至つた問題は、ペルー市に於いて物議を醸し、ペルー大統領オスカール・エナアウゲイデス氏も直にペルーにあるペルー代表團に對し國際蹴球聯盟の處置不慮なるをもつてオリムピック大會より脱退すべしと勸告した、更にペルー市に於ては入干の市民は口々に大會當局の處置の不當を叫んで市内外に示威運動を行ひドイツ領事館に投石硝子窓を破壊する等の暴舉に出で遂に警官隊の出動によつて漸く解散せしめることを得た一方ペルーオリムピック委員會は又直に國際蹴球聯盟に宛再考を促すやう打電、この旨委員長から發表する等市民の蹴球熱愛と祖國愛は意外な波紋を捲起しつゝある

ペルー選手 引揚ぐ

失格問題で 全南米結束

【同盟】 ペルー大統領より引揚げを電命されたペルー代表選手團は十三日の國際蹴球聯盟會議の決定をまた十二日ペルー選手團を引揚げパリに向ふことになつた、これと同時にコロムビア選手團もペルー引揚げを決しチリ又本國から引揚げ電命に接し南米側結束して同一行動に出でんとする形勢を示して華やかなるべき大會に一抹の暗影を投じてゐる

向右につきオリムピック委員長パイエ・ラツール伯は、吾々としては國際蹴球聯盟の判定を尊重する以外には如何ともなし離れ旨聲明した

8/11・8・12

8/11・8・13

全國中等蹴球(第二日)

【大阪電話】 全國中等學校蹴球選手権大會第二日は二十九日午前十一時から第三次戦を進行

【海星中】

FW	9	2
HB	7	0
FB	0	1
GK	0	1
CF	0	1
PF	0	1

高松四(國)

【廣島中】

FW	4	1
HB	0	0
FB	0	0
GK	0	0
CF	0	0
PF	0	0

廣島中

【中野中】

FW	2	0
HB	2	0
FB	1	0
GK	1	0
CF	1	0
PF	1	0

中野中

【埼玉東】

FW	5	0
HB	0	1
FB	0	1
GK	0	1
CF	0	1
PF	0	1

埼玉東

△廣島一中對廣島師 廣島はHBとFW間の連絡よく殊にFWがペナルティ・ライン付近から放つタイムリーなシュットの的確さはさすがに言葉チームの貢献を發揮したものと見える。廣島は昨年比べて断然進境を見せ出尾にキツクに陣地の崩が崩はれたが廣島も互角の試合を演じながら敗退したのはコンビネーションが弱いためだった

S 11-8-30

蕪崎中決勝へ

全國中等蹴球

【大阪電話】 大毎主催全國中等學校蹴球選手権大會第三日の準優勝試合は三十日午後一時から甲子園南運動場で舉行中國代表の廣島一中と甲信群代表の蕪崎中學が勝残り兩校の間で三十一日優勝試合が行はれることになった

【廣島一中】

FW	4	0
HB	0	0
FB	0	0
GK	0	0
CF	0	0
PF	0	0

海星中

【蕪崎中】

FW	5	0
HB	0	2
FB	0	2
GK	0	2
CF	0	2
PF	0	2

蕪崎中

【海星中】

FW	17	5
HB	10	0
FB	10	0
GK	10	0
CF	10	0
PF	10	0

海星中

【蕪崎中】

FW	12	8
HB	3	1
FB	3	1
GK	3	1
CF	3	1
PF	3	1

蕪崎中

△接戦を豫想された蕪崎中學對埼玉師範の試合も試合開始直後埼玉GK大島が蹴球も思はれぬ殊をスポリと外してあつた後、一息を歇上し續いて十分までの間に連續して四點を奪はれて試合の山は早くもこゝを分水嶺として興味の半を失つてしまつた感があつた四點を奪はれてからの埼玉は精神的な非常の重壓を受けた

ためもあるが周章の余り折角蕪崎からボールを奪取しても唯無意味に前方へ蹴るのみで前日示したやうな好連絡は全く影を潜めてゐた後半に入つてよく二點を奪取して面目を施したが然し後半幾回もなく蕪崎ゴール前に迫り乍ら人なく絶好のチャンスを送してゐたのは戒心を要する、これに反し蕪中FWはHBの好フイットに出足長く埼玉ゴールに攻め立て埼玉パツクの防陣備はらざる内に早くタイムリーなシュットを放つて得点を重ねて行つたあたりは全く超中等級のプレーとして賞すべくまた全體としてもよくまとまつたチームであつた(三宅生)

【蕪崎中】

FW	18	6
HB	4	0
FB	4	0
GK	4	0
CF	4	0
PF	4	0

蕪崎中

【埼玉師範】

FW	8	7
HB	8	0
FB	8	0
GK	8	0
CF	8	0
PF	8	0

埼玉師範

三十日の試合

湯浅蓄電池 1—1 立教大學

S 11-8-31

廣島一中優勝す

全國中等蹴球大會

【大阪電話】大毎主催第十八回全國中等學校蹴球選手権大會最終日廣島一中對非崎中學の決勝戦は三十一日午後四時二十五分から甲子園南運動場で赤澤（主）後藤河本（副）三君審判の下に廣島の先攻に開始、接戦の末廣島一中優勝す

廣島一中 5-2-1 3 非崎 中

◇前半 廣島風下の不利に陣しながらもシヨート・パス見事に三分L W藤井、小畑と渡し小畑はドリブル非崎の後陣を割つて右へパスすれば藤井すかさずシヨット、ボールはバアに中つて勿ね返るを増谷拾つて見事右隅を割つてゴール廣島一點を先取、非崎奮起して廣島のゴールに迫るが廣島バツクの好防に阻まれるうち二十六分R I 小林の左斜の強パスをL W小倉ダイレクトに決めてゴール同点となる三十二分廣島は非崎のゴール前で非崎の守備混乱に陥る時石川、小畑に小さく蹴つて渡せば小畑右隅を狙つて堂々ゴール2-1と廣島又もリード

◇後半 非崎三分ハーフからの前送球を小倉、中山にバツク。パスすれば中山右ベナルテイ・ライン付近から長蹴、廣島G K長崎の右を衝いて堂々ゴール、又も同点となる、その直後廣島は増谷の中央送球は非崎のゴール左前に落ち小畑ノ・マークでアツシユして得点廣島又も一點をアヘツドした十四分廣島は非崎のゴール前で非崎のG K F Bの重なり合つて倒れて居る隙にR W増谷軽く蹴つて得点、二十一分非崎ゴール前で混戦の時廣島の小畑非崎の無防禦に位置して簡単に得点その直後非崎

機先を制した事が廣島にとつて試合運上非常な助けとなつたことは争はれぬ事實であり、又ハーフ、フルバツクの進退は狼狽味であつた非崎のボールを巧みにカットし味方をして安泰の位置に立たしめたばかりでなく、F Wを後顧の憂なからしめ縦横に活躍せしめた功績は讃へられてよい

品……

廣島の鐵運に恵まれて樂に決勝戦

【廣島一中】
右CKから中山のクリーン・ヘツディングでゴールし5-1と3となる

井	藤小石藤	岸大秋	石塚長
FW		HB	FB
	倉山木林村	澤川水	田切力
		田	GK
			CK
			FK
			GK
			6
			9
			8

小中鈴小上小吉清細小功

【非崎中學】

スコアは5-3ではあるが兩チームの持つ力は甲乙を斷ずる程差異なるものではなかつた、率直なところ寧ろ敗北した非崎の方に幾分の優勢さが窺はれたが非崎としては不運なスラムプにあつたものと見られる、だが廣島が長短のパスを取まぜて非崎の防禦網を巧みに纏つて得点を重ねて行つたあたり見上げたものであつた

に臨んだのに反して非崎は第二回戦で京師に、準決勝では崎師等優勝候補の強豪に連日打つつかつたため廣島より以上に心身共に疲勞してゐた事は確かでこれがため非崎が得意の速攻を見せたのは極く僅かでもそれも後援續かざる有様であつた

攻撃に際してのF W線の無連絡は得点の機を絶ち又守備におけるバツクメンの無統制が原因としてフリー・シユートを許す不覺を演じてゐる

結局勝敗の分岐點は全體の統制がよくとれてゐた廣島に凱歌が揚つたものと斷じてよからう、廣島は實に出場九年目の優勝である（三宅生）

實力は非中

蹴球日割決定

關東大學蹴球聯盟今シーズンは來る廿七日の蹴球祭を以て幕を開け十一月廿九日の早帝戦を最後として結末を告げるがそれとベルリン・オリムピックの闘士を迎へて陣容を一段と強化するので期待される、第一部の日割次の通り

- △廿七日（日）早大對商大（三時神宮）
- △十月三日（土）慶大對商大（三時半戸山）
- △十日（土）東大對農大（三時神宮）
- △十六日（金）東大對文大（三時神宮）
- △十八日（日）慶大對農大（三時東大）
- △二十七日（火）文大對慶大（三時神宮）
- △十一月一日（日）商大對農大（二時半東大）
- △七日（土）早大對文大（三時神宮）
- △八日（日）東大對商大（三時半戸山）
- △十四日（土）慶大對東大（三時神宮）
- △十五日（日）早大對農大（二時半戸山）
- △二十一日（土）文大對慶大（二時半和泉）
- △二十二日（日）早大對慶大（二時半神宮）
- △二十八日（土）文大對商大（二時半和泉）
- △二十九日（日）早大對東大（二時神宮）

關東高專蹴球リーグの日割

關東高專蹴球聯盟今シーズンのリーグ戦は大學聯盟に魁けて來る二十三日成城對日齒の試合を以てシーズン開きをするが日割は左の如く決定した

- △二十三日成城對日齒
- △二十七日日齒對日齒
- △成城對東京府高
- △十月三日成城對東高
- △一高對日齒
- △青學對外語
- △四日高等醫對明薬
- △十日成城對一高
- △十一日東高對東京府高
- △十七日明薬對高農
- △東工藝對高千穂
- △二十四日一高對東京府高
- △成隊對外語
- △二十五日青學對橫專
- △高等醫對高千穂
- △高農對東工藝
- △三十一日一高對東高
- △外語對東醫
- △東齒對成隊
- △十一月一日浦高對高千穂
- △高等醫對東工藝
- △七日一高對商船
- △外語對東齒
- △八日成隊對橫專
- △浦高對明薬
- △高等醫對高農
- △十二日青學對東齒
- △十四日日齒對東高
- △東醫對成隊
- △高農對高千穂
- △十五日東京府高對商船
- △浦高對高等醫
- △明薬對東工藝
- △十八日成隊對青學
- △東醫對橫專
- △二十一日日齒對府高
- △二十二日商船對成隊
- △青學對東醫
- △橫專對東齒
- △浦高對高農
- △二十八日東齒對東醫
- △二十九日商船對東高
- △橫專對外語

◇蹴球 【大阪電話】 大阪外語 4
11東京外語

S 11・9・12

S 11・9・1

S 11・9・13

S 11・9・15

中等蹴球

試合日割

東京府中等學校蹴球聯盟は、飛躍を續けてゐる府立八中をはじめ豊師、青師、五中、本郷中を第一部隊として今秋から加盟二十校を四部に組織して来る十九日からリーグ戦を行ふ事になつたが第一、二部の試合日割は左の如く決定した

- ◇九月 △十九日 豊師對本郷中
 (二時本中) 【二部】慶對一商
 (二時九中) 九中對二中 (三時半本中) 青師對本中 (二時半本中) 【二部】府高等對二中 (二時半九中) 九中對一商 (三時半九中) △二十三日 青師對五中 (一時青師) 本中對八中 (二時半青師) 【二部】一商對二中 (二時半九中) 府高等對慶對 (三時半九中)
 - ◇十月 △一日 五中對本中 (三時半本中) △四日 八中對慶師 (一時青師) 【二部】二中對慶對 (二時九中) 九中對府高等 (二時半九中)
- 尙第三、四部の編成は次の通り
 △第三部 獨協中、府立七中、青學中、早實、成城中 △第四部 府立三商、應商上、曉屋中、開成中、成城高等

S 11.9.16

スポーツ

満鐵蹴球遠征軍 去る十一日は我が丸で大連を出發した満鐵蹴球部の内地遠征軍は早慶下馬らした頼、野澤等のOB選手を中心としたもので十四日神戸へ入港したが十六十八の兩日は關學、湯淺と試合して、十九日東京に入り二十一、二十三の兩日慶大、立大と對戦する、なほ同チームのメムバーは左の通り
 △監督 光田 △マネージャー 三吉 △コーチ 内藤 △選手、主將 頼、長瀬、山口、伊藤、山本、仲田、武藤、福間、豊原、野澤、小林、和田(延)、和田(明)、鳥井、篠田

S 11.9.16

満鐵蹴球團敗る

【甲子園電話】満鐵蹴球チームの内地における第一戰對湯淺電氣池チームの試合は十六日午後三時から甲子園南運動場で舉行

湯淺 6-2-1-3-4 満鐵

S 11.9.17

華かな蹴球祭

廿七日神宮で

關東大學並に高専蹴球聯盟のシーズン開きとしての蹴球祭は来る廿七日午前九時から神宮競技場に於て關東蹴球協會加盟全チーム参加の下に清和健兒團のラツパ鼓隊を先頭とする華々しい行進が左の四試合と共に行はれる事になつてゐる

- (一) 實業團横範試合 (日立對フオード) 午前九時
- (二) 高専聯盟戦 (商船對日齒) 午前十時半
- (三) 大行進及び優勝盃返還、選手宣誓、午後零時半
- (四) 中等聯盟戦 (青師對豊師) 午後一時四十分
- (五) 大學聯盟戦 (早大對商大) 午後三時

S 11.9.18

満鐵蹴球敗る

【大阪電話】満鐵蹴球團の來征第二戰たる對關西學院との蹴球試合は十八日午後三時から甲子園南運動場において舉行7對0で關學快勝す

關西學院 7-2-0-0 満鐵

S 11.9.19

伯林土産のプレー

新味注入に期待

主力を失った早大

秋の蹴球戦偵察

昨秋華麗な蹴球祭でシーズンの幕を開く關東大學蹴球聯盟今シーズンの試合日程は既報の通り早大と商大が第一戦を承る事になつてゐる。早慶と商大はそれごとく自校球場を使用し、この他東大は輕井澤、文大は志太、農大は静岡に於て夏の合宿練習を行つてゐたが孰れも今月上旬前後して歸京し本格的の仕上げ練習に専念し、それぞれの偵察に大軍となつてゐる。

ベルリン。オリムピックに初舞台を踏んで北歐の強豪スエーデンを降し第二回戦ではオリムピック優勝チームとしての榮冠を獲得したイタリーのため可憐雄闘空しく散りしたがこのわが代表の血戦は球界に強い刺激を齎し近年稀なる殘暑と戦ひながら猛練習がつゞけられてゐるから各チームとも今夏の合宿練習は豫期以上の増収と傳へられてゐる、殊に今春以來奮起してゐる慶大、六年連覇の資金時代を再現せんとして更始一新、内容を豊かに盛つた東大の復興振りなどは特に今シーズンの大きな期待である。

敵として相見を痛を削るのであるが歸朝間もない事であり國際舞台における技術的、戰術的の體験をチームに敷衍する事は尋常ないにしろその個々のプレイによつて多少なりともその

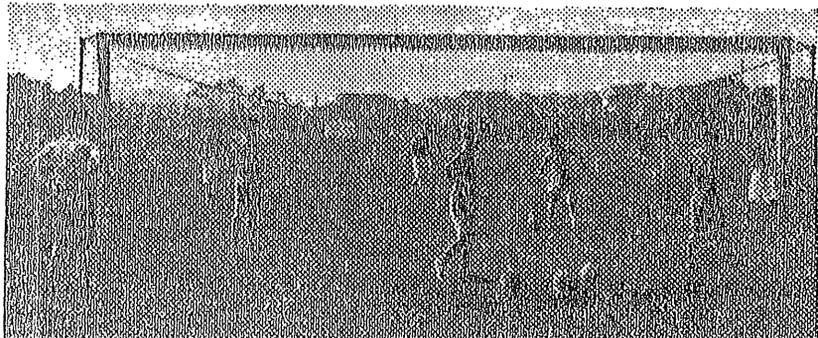
(收穫) の一端を窺知する事が出来るであらう、この希望はまた更に大きいものがある斯る技術的のオリムピック土産の披露ばかりではなく各股にわたつて新味を満喫させて呉れるであらうから球界にとつてはまさに躍進の契機となる轉換革新のシーズンである。

早大陣

(寒月) 四日わがオリムピック代表の歸京と共に早大は川本、西邑、加茂兄弟のF.W線H.Bの世野、G.Kの佐野、不破を迎へ東大はF.Wに高橋、H.Bに種田を加へ慶大は右近、文大は松永とそれと勇士の歸郷に各陣容は格段の充實振りを見せる、この代表の分散歸郷は母校のために愈々

(前記) の川本、加茂兄弟、西邑、世野、佐野、不破

の七選手に過ぎない、然し今シーズン劈頭の試合をこの強力選手の歸りを待たずに行はねばならぬ事は三年連覇を記録し更に四年連覇



早大軍の練習振り

を希ふ早大にとつてはこの事を豫想して新人チームの強化といふ次第の策は講じられてはゐたにしてF.W線は中林、細舟、末岡、高橋大越が豫想されてゐるが

(老将) 大越が腰痛と傳へられ

巨漢西松が抜擢されるものと見られる、ミッドフィールドに於ける技術、戦術は堂に入つたものであるがゴール前の處置は未熟の感を脱せず得点力の乏しい折に早大の

備みは解け切らずにゐる、オリムピック候補にあげられたC.H吉田とH.H脚野に配する黒井、此H.B線は強靱無比として誇るに足るものがあるけれども前線への供球よりも決定的得点機会を作るため前進が不斷に

(要求) されようし、といつて上野、柴田の新F.W線に對し後顧の憂なしとせず、このH.B線に對し課せられる負擔は極めて大きい、退いて守らんか、假令失ふとも進んで多量得点せんかこの岐路に立つものは第一戦を留守軍によつて迎へる今日の早大である、G.Kは對瑞典戰に神技を示して好評噴々たる佐野の歸るまで村形があたる事になつてゐる、暫らくピツク。ゲームから遠ざかつてゐた村形に多くを期待する事は出来ないがその判断には相當の信頼を置く。

(然し) ルールの改正に伴ふゴールキックの處理については練習の余地がある筈である、この春既に商大と二度相見えて2-4で落し2-1で一勝一敗となつてゐる、留守軍の面目にかけて決勝の意氣に燃えてゐるからこれが第一戦に如何に示されるか、とまれ早大の今シーズンの眞價はオリムピック選手を加へて行はれる十一月七日の對文大との試合から示現される、歸朝後一ヶ月の休養と練習は遠征の疲勞を回復し闘志をあらためて盛んであらうからF.W線加茂弟、川本、末岡、西邑、加茂兄、H.B線脚野、吉田、世野、F.B線上野、柴田、G.K佐野又は不破の布陣は無敵の早稲田に相應しいものである、だが

(攻撃) 力の著しい増幅に比してF.B線の劣態は又見逃せない、この點早大の戒心を要する所である(山田生)

陣容充實の帝慶

早の連覇遮るか

中大は争覇圏外へ

秋の嵐戦偵察

今シーズン早大の四年連覇を逃すであらうと思はれるものは其の陣容の充實振りとは今春來の戦績からして東大を推し慶大を擧げる事が出来る。前シーズン東大、慶大に對し互角の試合をした中大はその陣容に些して變動を見てはゐないが東大、慶大の充實振りを見る時取り殘された形で早慶帝に比べれば相當の隔りあるを認めぬわけには行かない。また辛くも第一部に階み止まつた慶大、立大に取つて隔り新勢力となつた慶大が猛撃を浴せても早慶帝を討ち取る事は到底望み得ない。今日の情勢からすれば争覇圏内にあるものは早慶帝であり文商慶は如何にして最下位からのがれるか。と見るは強ち誤りではなからう。

大慶

◇：慶大はR日辻を返り出したのみでその陣容は新人を迎へて立派に成つた、この不動陣の隨一に推される慶大のFW線は猪俣、二宮、増田、播磨、駒崎と顔を並べボールを巧みにキープし得點力は相當の期待をかける。

殊に近來二宮の進撃は著しく宿將播磨と共にゴールゲッターとして全軍の興奮を煽りてゐるが止に堂々の攻陣を形成してゐると言へよう。

右近は二宮にその位置を譲つて

骨など散れ多らぬものが控へてゐる。

優れた個人技完璧の布陣等々黄金陣と稱し得よう春闘にオリムピック代表チームに對し9-0で敗れたが假令疲勞困難の絶頂にあつたとは言へ代表チームを4-2で破り唯一の黒星を附して意氣軒昂たるものがあつた、幸先よいこのスタートによつて制覇の確信に燃えつゝ、猛練習をつづけてゐる。

彼等に生きたる慶大であるが氣組のこれに伴はぬものがあつてこれ迄も優勝を逃し評判倒れに陥つてゐる。

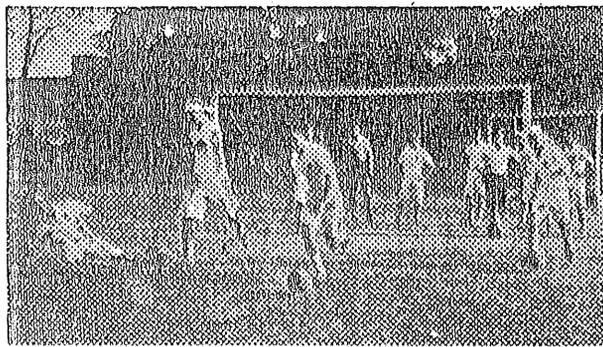
相手 の力量に屈するに非ずして自らの精神力の強弱に敗走する事を警戒せねばならぬ慶大、今シーズンはこの宿願の痛の再慶を如何にして防ぐか、開業の成ると成らざるは唯この一點にかゝつてゐる。

大東

◇：東大が復興を期して前陣の道を歩いたのは實に三シーズン、昨午漸くその緒について第二位を占めた、精選に精選されたその陣容は東大時代と謂はれたその陣にも

劣らぬ體置なものである。そのFW線は慶大の如く卓抜せる得點力を持ち合せてはゐないが相手の守備線を執拗に吊り出してチリチリ破つて行くあたり五十歩百歩の所にある。松村、河西、阿部、徳田、馬の布くFW線から

東大チームの練習振り



がサイドに廻るか新歸朝種田を抜いて主將大内が控へる事になるか堅實な補地のプレイを中心としてこのラインは出足も早くスピードあるFW線兩翼を活用するに立派な力を持ち合せて居り、守備また強靱を誇り得るものである。

FB 線は藤岡が往時の猛將田村を彷彿せしめる築島を迎へて氣魄によつて一層鞏固の守備線を成しGK高橋また著しい向上の跡を残して健壁トリオを形づくつてゐる。確實な攻め手、厚味ある守備陣は東大時代を再び謳歌するに申分ない、技術と相俟つて倒さねば止まぬ強い氣魄は早慶陣に向つて驚かしのび寄つてゐる。

大文

◇：文大は前シーズン手兵之しくともよくMクラスに酒張る事の出來たのは旺盛なる意氣がその實力以上に戦はしめた結果であつた。

團將原崎、林を送り出し原崎弟楊を迎へてはゐるが松永の歸朝を待たねば陣容を整へ得ない手不足は前シーズンと變りはないFW線に原崎弟を加へて木下、久下、松永、原崎、小川と並べ楊を加へて木村、藤田の布くFW線、三塚、阿部のFW線とGK中垣内といふ顔割れはさしたる變動とはいへない。

然し 完成せる原崎、林を送

※ 七州のページがうつつく

つてゐる事は何といつても争はれない痛手である。久下の進境は認められるが小川、木下が待球主義を捨ててその動きを廣くする事がなければH B線の攻撃力が

低下 してゐるから得點力は増すものと思はれない。この春の全日本選手権關東選抜において農大と0-0の結果を招いたのはF W線の動きの鈍い事にもありH B線の攻撃加擔の不足にもあつた。この攻撃線に比すれば守備線は相當の信頼が置ける

要するに松永の出来栄を如何が死活を制するものであつて守備的のチームであると言へる、獨破的のキックアンドラッシュは今日の文大チームの生命であり前シーズンの氣組を盛る事が出来れば豫想される上位三校を脅かし得るだらうし今日の豫想を覆し得よう

大 農

◇：南大は神野、枝村、水島を送り出したが早野、吉澤等に依つて補充され

打撃を盛る事が極めて少いF W線は林田

荒井、淺枝、大掛、村井が豫想されるが主將淺枝が退いて新人池尾を抜擢して新銳の氣を盛る事になるかも知れぬ、H B線の藤田、小西、後藤、F B線の早野、鈴木、G K吉澤は動かぬ所である、大隈に於て興味を欠き攻め手は變化乏しく單的に流れ易い傾向がある

六チーム中纏りのあるチームと言へるが小柄で軌れに對しても真向から四つに組む事は出来まい、日

割決定に成功して早大の不揃ひの際に乗ずる事が出来るやうになつたが果して早大の弱點を衝きまくる事が出来るかどうか

得點 力が乏しいから早大留守軍を降す事も容易ではあるま

大 農

◇：農大は豫想を裏切つて明大を倒し第二部に優勝し返り咲いたのであるがF W線から中台、見目、酒井を失ひH B線から江渡を送り出したが新人坂田を加へるのみで他は既に試験済みの古參選手を以て新チームの編成がなつた

F W線は天野、大野を中心として尹、寺前、坂田を以て布き、H B線は群山が山野、高橋を率ゐて起ち、F B線は石井、西川、G K川本である

チームに滑らかさは乏しいが野島の氣と協力は大家に對して常に堂々の試合を行つてゐるが、實力伯仲の相手に對しては極めて

粗雑に試合を運ぶ欠點がある、これが改められるならば歸り新參乍ら相當の期待をかけ得る、老練のG K川本は精神的にひきしめる事に特に注意を拂ふ要があらう(山田生)

虎視眈々の明立

Aクラス突撃戦

第一部も形勢混沌

秋の蹴球戦情

(下)

後の局に先立たれるべき目を重

昭和六年シーズンに一度置いてから更迭を策する事四シーズン立ち直ると見られては轉んで辛

苦昔杯を奪めつづけて来た明大が昨秋は必ずや復活するものと取沙汰されたのであるが歴大のため豫想を裏切る惨敗を喫しこ

わて来たこの明大は今シーズンも第二部の優勝候補として第一に屈指されてゐる
(明大) を續つて立大、拓大、藤大、法大、千葉醫大が虎視眈々として第一部優勝の機会を窺つてゐるのであるがかつては第一部Aクラスに鮮かな飛躍を見せた立大がシーズン半ばにして足重を亂し苦境に立ち勝つべき對面大戦も落して元の古巣に立ち戻つた
二十一日の對清大との一戦を落しはしたが明大と競ふものは何と言つてもこの立大であらう
(七年) の長きに亘つて往時の輝やかさを窺見つゞけてゐる

法大は再興を期せども今の所、視のあがる日の見通しはつかず新興拓大、藤大、千葉醫大の下積みに甘んじねばならぬのではなからうか

明大はFW線に中島、清水を据ゑ片岡を加へて左サイドの攻撃力は急増されてゐる、この左サイドの優れた力を右サイドと互に活用出来るかどうかは明大の得點力に及ぼすものである石川を中心とする且B線は井出吉岡のFW線の救援には極めて忠實であるが前線の攻撃加擔には未だしの感が深い、押しの機会を完全に生かす事と試合により線を織る事の固着的なプレイは最も必要とする所ではないか

シーズン後半に突ずる事なければ言ふ迄もなく明大が多年の念願を達する秋である、今日の明大に望む所のは圓滑、當意即妙のプレイよりも押調子の輕薄な氣分を掃する事が先決問題である、他

まればゆき氣分、これは明大の最も警しめねばならぬ事である
(立大) は部内應援を行つて間もない事ではあるが且B線サイドで采配を振る官能を中心として山口、肥田等が立大チーム再建に涙ぐましい精進を續けてゐる、其効果は假令對清大戦を失つたにしても認められる所のものである、井上、三宮、中村などの攻撃力は確り離きものあ

(この) 春オリムピックチームと對戦して惨敗したがその後練習試合ではあるが對面大戦に4-1の快勝記録をとどめ去る十九日の對早大戦には3-1のリードの試合を3-2に追ひつめられはしたものの留守軍とはいへ早大を倒しいよく充實の秋を迎へつ

明大にとつての禁物、この自負が

もFW線にリーダを欠いて巧みの寄せも自ら失ふ結果を招いてゐる
このFW線に突つ込みの激しさを要求すると共にバックスに對しては果敢のタックルを望んでやまぬ未完成チームで洗練味之しいが忠實なプレイは相當の期待をかけ得る、明立に追隨する
(法大) 藤大、千葉醫大、拓大の中で最も充實してゐると見られるのは拓大である、技術において明立に及ばぬものがあるにしても四チームはその隔り少く兄たり離く弟たり離い力の相違であり明立の欠陥に乗ずる策が成ればこれを陥る事は些程距離のものではなからう(山田生)

水陸と球技の 強チーム招聘

明年満鐵の大計畫

第十二回國際オリムピック大會東京開催と決定し極めて喜ばれた日本スポーツ界は更に昭和十二年三十周年を迎へる満鐵がその記念事業の一つとして陸上、水上、ラグビー、蹴球等の各種目に亘つて世界の強チームを招聘し大連において日滿チームを合した大々的國際競技會を開催せんとする計畫が表面化された右は十九日入京した満鐵蹴球チームが驚らした快ニュースであるが陸上チームとしてはフィンランド蹴球チームとしてはドイツチームとほぼ確定してゐると、體協事務理事大島中將は語ると、陸協専務理事大島中將は語ると、全く初耳だまだ何の通知にも接

してゐないが極めて結構なプランだ日滿親善のためにも意義あることだから正式な相談があつた際には各競技團體とも協議した上適當な助力を惜むものではない

満鐵蹴球軍の光田監督談

満鐵三十周年を迎へる明年ドイツ蹴球チームを招聘することは事實です、滿鐵理事會の承認も得て居ります今度の東上を機會に大日本蹴球協會とも相談し具體的に交渉を進める考へです

S // 9. 20

東京中等蹴球(第一日)

東京府中等蹴球リーグ第一日は十九日八試合を舉行一勝者次の如し

- △一部 豊師、府立八中
- △二部 慶晋、府立九中
- △三部 早實、獨協
- △四部 明學、開成中

S // 9. 20

満鐵蹴球勝つ

滿鐵對立大蹴球戦は二十一日午後二時半から東大球場で井出(主)辻、莊田(線)三君審判滿鐵先鋒に開始、四對一で滿鐵が快勝し、遠征最初の勝星を得た

滿鐵 4 2—1 立大

前半 十九分立大は中央を制つて出でCF中村の得點でリード、滿鐵はこのキックオフで小林、和田(延)の好連絡にこれも中央を對つて出で小林シュートして報い同點となり更に二十二分立大ゴール前混亂の際に和田シュートして得點2—1となる

後半 立大は滿鐵サイドにボールを進めるが滿鐵バツクスの懸命の守備でFW線の決定力鈍いために

S // 9. 20

東京中等蹴球 東京府中等蹴球リーグ戦第二日は二十日

二、三、四部の八試合を舉行

- ◇一部
 - 豊島師 6—0 府立五中
 - 青山師 6—0 本郷中
 - ◇二部
 - 府立高等 1—1 府立二中
 - 府立九中 2—1 府立一商
 - ◇三部
 - 青學中 9—0 獨協中
 - 成城中 5—0 府立七中
 - ◇四部
 - 明學中 4—1 開成中
 - 開成中 4—1 獨協中

開成中 兼 榎 慶 高 工

S // 9. 21



【寫眞は後半立大ゴール前の混亂で滿鐵惜しいチャンスを逸す】

得點に至らず、滿鐵は二十五分LW豊原焦つてチャンスをしたが二十七分右CK和田(明)の好蹴を野澤巧みにツツシュして更に一點を加へ三十二分豊原のドリブル・シュートは角度狭いと思はれたが見事ゴールインもなつて快勝した

【立大】 宮村仁上野田本本井

【滿鐵】 二中今井藤武肥岡山高
FW 藤武 肥岡山高
HB 今井 藤武
FB 今井 藤武
GK 今井 藤武
原澤林(延) 本藤田瀬川
田田 田田
浦野小和山伊中長山瀬

S // 9. 22

満鐵蹴球敗る

滿鐵對慶大蹴球戦は廿三日午後三時から戸山學校球場で井出(主)上野、關野(線)三君審判の下に慶大先鋒で舉行、滿鐵好戦したが遂に無得點に終り慶大が大勝した

慶大 10 4—0 滿鐵

リーグ戦を前にして慶大はベストチームで臨み二分LW楳俣のセントタリングを増田きめてから九分右CK後の得點で大勢既に決し更に四點を加へて前半を終る

後半に入つて滿鐵の各線ムラなく五角の對戦で試合を進め得點機會あつたが攻め手薄く潰されて止み慶大は十四分増田の得點から三點を加へて勝つ

(滿鐵)

原澤吉(延) 瀬藤田瀬川瀬
豊野三和長武仲伊山瀬
FW 田田 田田
HB 田田 田田
FB 田田 田田
GK 田田 田田
関野(慶) 大

S // 9. 24

東京府中等蹴球リーグ

各都成績は左の如し
【一部】青師3—0五中、八中
4—1本郷中【二部】府立高等6
—3府立一商【三部】獨協7
—0七中、青學中6—1早實
【四部】曉星中1—0明學中、
開成中5—0成城専

S // 9. 24

二十三日の運動

◇蹴球 文理大2—1明大、關東高専リーグ成城6—1日瀨

S // 9. 24

S // 9. 23

獨逸蹴球チーム明夏來朝か 大日本蹴球協會並に關東蹴球協會では廿二日午後六時からレインボー・グリンで滯京中の滿鐵蹴球團歓迎會を開催したが、席上滿鐵蹴球團より明年八月滿鐵三十周年記念事業國際蹴球會にドイツ蹴球チームを招聘することにたが是非共大日本蹴球協會の援助を俟たねばならないと諒解を求めたに對し、協會側でも彼が蹴球界發展の爲に邁んで援助方を申出で、大體記念蹴球會終了後ドイツチームを東京に招聘する意向である

S // 9. 23

ソープス



蹴球シーズン開幕

蹴球シーズンの開幕を告げる
 年中行事の第二回蹴球祭は廿
 七日午前九時から神宮競技場
 で盛大に行ふ筈であつたが夜
 来の豪雨降り止まぬため豫定

を變更して關東大
 學及び高専各部の
 前年度優勝校から
 優勝杯の返還あり
 大行進を中止し大
 學リーグのシーズ
 ン皮切りである早
 大對商大戦を始め
 商船對日齒、青師
 對豊師の高専、中
 等のリーグ戦の他
 に實業團選抜試合
 を午前十時半から
 行つた、南東の強
 風に伴つた豪雨で
 コンディション極め
 て悪かつたがシー
 ズン開きに相應し
 い熱戦を展開、オリムピック
 代表選手を迎へ得ない早大は
 商大に敗れ、四年連覇の前に
 暗影を宿した【寫眞は早大商
 大戦商大の早大ゴール突撃】



※ 左ページの記事にフック

精兵を欠く早大

商大に惜敗す

風雨を衝いて快戦

◇大軍第一部

商大 6 (3-1) 4 早大

三時十分濱田(主)伊藤、津田(線)三君審判早大先蹴に開始

◇前半 早大は一分中央線にFKを得て攻めた後三分左CKを得たが無為、商大は六分漸く中央から割つて出でLI荒井の強蹴は一旦バアを強いたが大きくパウンドしてゴールインとなり

一点を先取、早大は八分右CKを得たがまた空しく終り商大は十六分EW林田のセンターリング淺目に当たが早大ゴール前崩れRI大掛この際にシュートして2-0となる、早大は商大陣に球を進めるが得點に至らず二十一分RI西村の長蹴入つて早大一点をかへす、商大は三十三分CI小西の長蹴は風に乘つてよくのび早大GKの頭上を抜いてその儘ゴールインとなり3-1と開く

◇後半 一分早大はLI渡邊シュートして得點3-2と迫る、商大は九分RI後藤の前送球をCF淺枝とつてシュートして得

點4-2と開き更に十三分RW村井の中央線から淺く持ち出したセンターリングをCF淺枝きめて5-2となり商大優勢、早大は二十分CF末岡中央を割つてシュートしたが弱くこれを渡邊と並進したLW中林ブッシュして得點し點差を縮めた、二十四分商大はRW村井の好蹴は早大GKの右を破つてゴールインとなりまた開いて6-3となる、早大ははく危地に陥つたが辛くものがれ四十三分早大は左CKを得中林の好蹴を渡邊へツツングできめ6-4と迫つたが遂に前半の點差をその儘残して早大第一戦を失つた

【商大】

田井枝掛	井田西藤	野木澤	8	2	10
林荒後	大村森小	後早鈴吉	7	3	13
FW	HB	FB	CK	FK	GK
林邊岡橋	越野田村野田形		7	3	13
中遊末高	大關吉西上柴村				

【早大】

審判

の力量を十分味はひ得なかつたが得點の多い試合で興

味を湧かしめるものがあつた、商大の最強布陣の前に早大が手薄のために第二陣に等しい陣容を以て臨んだとは言へ試合経過をたどれば勝敗は余りに明確なものとなつて残された、少くも攻撃の巧拙がこの試合を決定づけたものと言へよう、商大はコンビネーション・プレイの精髄を極め早大は區々の動きに攻守の兩層を自ら微力のものとしてゐた結果は早大FW線が攻撃に入つても單的で商大の最後線は些して不安を伴はず前線をして常に好位を保たしめる事が出来た、個々の技術に優れてゐても連絡の有無が如何に影響するものであるかを訓へる試合であつた、後半に入ると共に早大が3-2と迫つて挽回成るかと思はれたのであつたが商大はタイムアップ直前の優勢な試合を傷つけられはしたが前半の點差を残して早大を却けたのはチームとしての完成、個人の忠實な動きのもたらした當然の結果である

誘ふ愚策となつて不利な試合に終始した、偶々FW線に球がフイーDされてその攻撃に移るにしてもHB線のフォロウ乏しくこれが禍してその攻撃を單的に終らしめてゐた、六點を失つても四點を収め得る相手である、この試合で早大は結局自ら敗走した、荒天の事であるからその攻撃がセンター・スリーの強襲もあらうした兩翼で進め中央から割り込む手もあるHB線に弾力を持たせる動きを

【商大】

立、慈大に勝つ

開東大蹴球リーグ第二部立大對慈大は廿七日午後三時から和泉グラウンドで西川(主)伊能、早坂(線)三君が審判の下に立大先蹴で開始、三對零で立大勝つ

立大 3 (3-0) 0 慈大

田本野玉藤村本田山川島

濱山佐亮佐中岩松中成西

FW HB FB GK

宮村田上野田崎本口井

澤 二中肥井藤武宮岡山高

2 4 6 20

FK CK GK

2 13 19

シヤム蹴球團招聘

大日本蹴球協會緊急理事會は二十七日午後六時から藏前工業會館において開催、シヤム・チーム招聘計畫協議のため關西及び東海より代表者を招き招聘計畫實現に努める事を申合せた

なほオリムピック代表チーム歡迎會は歸京の三日夜開催する

府八中 2 (2-0) 0 1 府五中

青島師 3 (2-1) 1 0 1 青山中

府二中 2 (0-2) 0 0 0 府一商

廿七日の運動

◇關東高蹴球リーグ戦

△一部 成城 3 (1-2) 1 0 1 府高

商船 8 (3-5) 2 0 2 日齒

△三部 高獸 2 (1-1) 0 0 0 明薬

◇關東中等蹴球リーグ戦

△一部 青學 6 (5-1) 0 1 1 成城中

立 3 (1-2) 1 1 2 府七中

拓大勝つ

大學蹴球第二部

關東大學蹴球リーグ第二部法大對拓大の蹴球戦は一日午後三時から和泉明大球場で井出(主)辻、小山(線)三君審判拓大の先蹴で開始、拓大一點を先取し後半に入り法大一點を報いて同点となつたが結局冒頭から優勢に試合を運んだ拓大が一點を加へて二對一で勝つ

拓大 2-1-1-0-1 法大

◇：拓大は優れた走力とキツキングで強襲したが法大はGK和田の巧技でゴールを與へず、十分頃に至つて漸く各線を整へ立直りミッド・フィールドで接戦を續けた、法大HB線はよく供球するがFW線の動き鈍く連絡を欠いて凡失多く拓大も攻撃角度なく一方に偏してチャンスなく共にゴール近くに球を寄せる競り合ひをつつた、拓大は十八分頃から三度ペナルティエリアに近くFKを得て正司、宮野の好キツクを見すく失ふ拙劣なFW線の出足を如何ともする事が出来なかつた

◇：後半四十分の事であるがL王大久保が中央線手前からドリブルに出てLW千種の直走は進撃の好位置にあるにも拘らず時宜を失してパスし自らは不用の位置に残るが如き所置の誤謬はRW前線の獨斷的プレーと共に改めねばならない

◇：要するに双方共守備陣の比較的效果的であるに反し攻撃線は

逸球、凡失、判斷錯誤が多かつた、ゴールゲッターの不足と共にこれが双方の得点力を減殺してゐた因である

◇：拓大の先取得点は幸運も手傳つたが試合経過からすれば與へられてもよい一點であつたらう法大CFの球捌きがよくより果敢であつたならば法大のパス系統はもつと役立つたであらうと惜しまれるする、いづれにしても双方共もう一步といふ未完成チームで現状をもつてしては甘んじてゐるわけには行かない(山田生)

澤澤澤田安永木山平谷田	寺前小村高安鈴岡大大和	種保佐林	FW	CK	5
千大伊小	西宮止河坪高	南	HB	FK	6
		村野司田田橋	FB	GK	28
			GK	GK	9
					10

S // 10 . 2

三日の運動

◇蹴球
【大學二部】
立大 8-5-3-0-0 千大 0-0-0-0-0

【高等一部】
一高 5-4-1-0-0 日齒 0-0-0-0-0

【東京中等一部】
府立 9-1-8-0-0 豊師 0-0-0-0-0

これで八中は全勝の成績となりリーグ第一部で優勝す

【同二部】
慶普 2-0-2-1-1-2 府立 0-0-0-0-0

S // 10 . 4

四日の運動

◇蹴球 湖東高等リーグ
【二部】青 學 7-0-0 外 語 0-0-0-0-0

【三部】浦 高 22-0-0 明 薬 0-0-0-0-0

東京中等リーグ
青 學 中 5-0-0 成 城 中 0-0-0-0-0

獨 協 中 1-0-0 早 實 中 0-0-0-0-0

開 成 中 1-0-0 曉 星 中 0-0-0-0-0

九 中 2-1-1 府 高 尋 常 0-0-0-0-0

成 城 尋 常 權 慶 商 工 0-0-0-0-0

S // 10 . 5

關東學童蹴球

本社後援東京蹴球主催の第十五回關東小學校蹴球大會を來る十七日(祭)と十八日(日)の二日間世田谷區上馬青山師範學校新設球場で開く、參加希望の向は來る十二日迄に申込んで下さい

◇第一部は第六學年、第二部は第五學年兒童を以て編成されたチーム、尙第五學年以下の兒童に依つて編成されたチームは第二部として取扱ひます

◇試合はすべてトーナメント式に依り第一部は二十分ハーフ、第二部は十五分ハーフで行ひます

◇申込は十二日迄に東京市大森區大森三丁目五九、東京蹴球團(電話大森二四二六)

◇監督會議は來る十五日(木)午後四時から本社會議室において開き大會組合せその他を打合せます

S // 10 . 8



戦ゲーリ球蹴學大

ケンイデツへ慶播大慶半前 機危のルーゴ大商
ふ狙をルーゴの大商で

商大慶大に敗る

商大FW沈着を欠く

大慶蹴球第一部慶大對商大蹴球戦は四日午後二時から東高球場で井出(主)山田、細田(線)三君審判の下に慶大先攻で開始、商大には好機あつたが得點に至らず結局4-0で慶大勝つ

慶大 4-0 商大
◇前半 慶大最初の強攻空しく商大また十分この逆襲機会を逸す慶大は十九分増田のパスを受け、LW二宮グリーン・シュートして一點を先取、二十三分中央

線を超えてCF増田右側寄りにドリブル、商大バックス左側の再度のタックルに効なく増田の狭小なゴール面を狙つたシュートは見事きまつて2-0となる、二十六分商大FW線の好パスは右から圍つて出たが潰されて止む

◇後半 十九分商大は小西の左前送球をLW林田とつて好機となつたが深く捌いて凡失し二十分慶大は播磨のパスをCF増田シュートして右を破り3-0と開

く、商大はFW線に好球を送られたが決定力なく空しく終り慶大は三十六分増田の左前送球をLW猪俣シュートし商大GK弾いてそのゴール前は密集となり思はぬ一點を許し商大は遂に無得點で敗る

【商大】

田井枝掛井田西藤橋木澤	6	5	24
林荒後大村森小後高鈴吉	CK	FK	GK
FW	HB	FB	GK
侯宮田磨崎川元藤藤川田	9	2	16

【慶大】

猪三増播磨宮松加伊石津

審判

◇早大をこのシーン首途の血祭りに

あげ年來の望、早大打倒を成し遂げた商大もこの日は零敗に返いた豫想された商慶の實力の相違はより點差を残すものと思はれたがこの事なくして止んだのは商大守備陣の出来栄が然らしめたものではなく慶大攻撃線の不首尾もたらしたものである

◇慶大は過般の對商戦に気分は輕し相手は與し易かつたでもあらうがFW線の見事な速攻の中に得點力の威がこもつてゐたのであるがこの日はたゞ二宮のシュートング・レンヂの廣大と確實性が印象づけられた位で速攻のかけに得點武器の鋭さなどは窺知し得なかつた、此期待を裏切つたものは要するにFW線に個々の横の動きに密度の乏しかつたせぬであらう、商大吉澤の正面を衝く事二十余回に及んでゐることはその攻撃の物凄さを物語る一面反省を必要とする事である

◇商大は慶大に比し劣弱であるとは言へFW線に沈着があつたならば零敗を喫すべき試合ではなかつた、後半林田がフリー・シュートの機会を判断錯誤で落したなどはその尤なる一例である、勝味の有無に拘らず小西を中心とするHB線の進退は考慮を必要としたものであり、FB線の布陣また反省の余地があつた、各ラインを比べれば既に優勢あり然も制勝の氣魄において慶大を凌ぐものがなかつたとあつてはこの零敗は誰を恨むにもあたるまい(山田生)

十一日の運動

◇蹴球 △關東高等リーグ
(一部)
東京高校 4-4 東京府高
(三部)
浦和高 16-0 高工薬
高千穂商 4-1 明 薬

十日の運動

◇蹴球
日醫大 7-3 國大
一 高 3-1 高成 校城
S 11. 10. 11

慈大蹴球に勝つ

慈大對京都醫大定期蹴球戦は十三日午前十時から慈大グラウンドで佐藤(主)岩本、堀本(線)三君審判、慈大先攻で開始十三對零で慈大大勝す
S 11. 10. 14

十四日の運動

◇蹴球
青山學院 5-0 東北學院
S 11. 10. 15

農大、東大を破る

大學蹴球リーグ第一部

關東大學蹴球リーグ東大對農大戦は十日午後三時五分から神宮蹴球場で松丸(主)猪俣、加藤(線)三君審判の下に農大先蹴で開始。試合は1-0東大の得点先取に進められたがシーソーゲームを続け理想を裏切つて東大敗る。農大はリーグ加盟以來東大に對し最初の勝星である。

農大 2-1-0 1 東大

前半 東大風上に位置し農大パスツクスの好キツクでミッドフイ



農大對東大蹴球戦

ゴールに蹴り合つて後農大は十三分R.T.寺前の左前好送球をノックアウトのL.W.天野取つて左に切れんとしたがカザアの

ゴールを凡庸に逸す東大は十八分右から割つて出でC.F.阿部シュートして得点、農大は二十五分左CKを三回連取したが無爲二十五分L.F.石井の右前長送球はR.W.坂田凡庸して農大得点機を逸す東大守備陣の出来悪くフイールド意に任せずボールは農大方に多く廻されて四十四分右コーナー寄りのスローインから左に送られたのをL.W.天野シュートして得点1-1となる後半十分農大はL.I.尹右に廻

野 野前田橋山野井川本

FW	大寺坂高岸山石西川	10	1	19
HB	地内岡島橋	6	4	20
FB	菊大藤築高			
GK				
CK				
FK				
GK				

つて中央線邊から強引の下ドリブルで破つて出で左前送球すればL.W.天野の進出よくゴールを破つて農大2-1のリードとなる。東大は二十四分R.T.寺前の長蹴パスを叩いて返りL.W.松村拾つて右上角を衝いたがG.K.川本の順モーシヨンに防がれて止む。この後農大は尹チャンスをのがし二十七分東大は松村のショットおつたが農大は川本強運

の捕球で救はれ東大は四十分まで強攻を續けたが得点に至らず。以後試合は早い展開を見せゴールを脅かしたが兩軍焦つて凡失多く得点なく農大の勝となる

第二部は明、立勝つ

立大 4-2-2-0 2 法大

明大 7-2-1-0 1 慈大

S 11. 10. 11

關東學童蹴球

組合せ決定

本社後援、東京蹴球團主催第十五回關東小學校蹴球大會は来る十七日午前十時から青山師範球場で行ふが十五日午後四時から本社會議室で監督者會議を開いて抽籤を行つた結果組合せは左の如く決定した。向大會は暴風雨に非ざる限り行ふ事になつてゐる

- ◇第一部(尋常六年) (A) 油面對 浦和第一(午前十時開始) (A)
- の勝者對兒玉(午後一時開始)
- ◇第二部(尋常五年) 浦和第一對 油面(午前十一時廿分開始)

S 11. 10. 16

浦和第一優勝す

關東小學校蹴球

東京蹴球團主催本社後援第十五回關東小學校蹴球大會は十七日午前十時から青山師範球場で舉行。第一、二部共に浦和第一の優勝する所となり本社寄贈の眞紅の大旗を獲得した

◇同決勝
浦和第一 4-2-2-0 0 兒玉

浦和第一

FW	田木田谷野間田(英好)	4	2	1	0
HB	下佐角宮平草官松金高	0	7	6	0
FB	清水橋腰官上庄木子井野				
GK	清藤高佐二村本根金若天				
CK					
FK					
GK					

浦和第一

FW	小沖半名大堀赤阿樋宮松	2	0	1	1
HB	島島田倉保口田部口田本	5	4	1	3
FB	鈴木山川高生三高山入				
GK					
CK					
FK					
GK					

S 11. 10. 19

ドイツ蹴球敗る「クラ

スゴウ十四日發同盟」スコットランド對ドイツ國際蹴球戦は十四日グラスゴウで舉行2-0でスコットランドが快勝した

S 11. 10. 16

後半守備線潰え

東大意外の敗

リーグ戦

東大堂々の貫祿

東大対文大蹴球戦は十六日午後三時、東大グラウンドで開かれた。

東大は前半に、中野、山田、池田、小川、徳田の五人がゴールを叩いた。後半は、山田、池田、小川、徳田の四人がゴールを叩いた。

試合経過

東大は前半に、中野、山田、池田、小川、徳田の五人がゴールを叩いた。後半は、山田、池田、小川、徳田の四人がゴールを叩いた。

東大は後半に、山田、池田、小川、徳田の四人がゴールを叩いた。後半は、山田、池田、小川、徳田の四人がゴールを叩いた。

東大は後半に、山田、池田、小川、徳田の四人がゴールを叩いた。後半は、山田、池田、小川、徳田の四人がゴールを叩いた。

東大は後半に、山田、池田、小川、徳田の四人がゴールを叩いた。後半は、山田、池田、小川、徳田の四人がゴールを叩いた。

後半は、山田、池田、小川、徳田の四人がゴールを叩いた。後半は、山田、池田、小川、徳田の四人がゴールを叩いた。

後半は、山田、池田、小川、徳田の四人がゴールを叩いた。後半は、山田、池田、小川、徳田の四人がゴールを叩いた。

試合経過

前半、東大のキックオフで、池田、小川、徳田の三人がゴールを叩いた。後半は、山田、池田、小川、徳田の四人がゴールを叩いた。

後半は、山田、池田、小川、徳田の四人がゴールを叩いた。後半は、山田、池田、小川、徳田の四人がゴールを叩いた。

リーグ戦



東大対文大蹴球戦後半四十分直前の様子

後半、東大は山田、池田、小川、徳田の四人がゴールを叩いた。後半は、山田、池田、小川、徳田の四人がゴールを叩いた。

後半は、山田、池田、小川、徳田の四人がゴールを叩いた。後半は、山田、池田、小川、徳田の四人がゴールを叩いた。

後半は、山田、池田、小川、徳田の四人がゴールを叩いた。後半は、山田、池田、小川、徳田の四人がゴールを叩いた。

後半は、山田、池田、小川、徳田の四人がゴールを叩いた。後半は、山田、池田、小川、徳田の四人がゴールを叩いた。

【東大】

FW	池田	山田	小川	徳田
HB	池田	山田	小川	徳田
FB	池田	山田	小川	徳田
GK	池田	山田	小川	徳田

【文大】

FW	池田	山田	小川	徳田
HB	池田	山田	小川	徳田
FB	池田	山田	小川	徳田
GK	池田	山田	小川	徳田

遺憾なく地力發揮

慶應、農大に快勝す

大學蹴球リーグ戦

慶大對農大蹴球戦は十八日午後三時から東大球場で稱賞(主)森岡部(藤)三君審判の下に慶大先攻で開始、小雨を見たが朝来の雨で濡り氣を帯び風もなく球場の状態は先づよい方であつた、慶大は試合をスピードイに運び前半早くも勝敗を決定づけ農大も得點機會あつたが決定力を欠きつひに得點なく8-0で慶大の大勝する所となつた

慶大 8-4-1-0-0 農大

審判

變化に富める慶大の攻め手を持ち合せる農大が多量得點し、連絡悪く厚味乏しい農大のFW線が慶大の守備陣を衝き破れず8-0の大差、零敗といふ結果もまたやむを得ない

慶大FW線は走力の優秀、蹴球の巧みさをもつて農大を思ふ様にして宜々たる勝利を得た

假令實力の相違とはいへ過激な對東大戦を物した慶大としては余りに修めな結果を招いたが、試合當初に於て慶大の進攻巧緻に釣られる事なく農大は農大の持ち味を以て應ずる事を怠れなかつたならば、この試合とて纏を纏り込む事は出来たであらう

要するに慶大が策を誤つた愚戦といふより他にない、未熟と言へば言へるであらう農大は余りに苦だしいこの浮き沈みに對し三省の要がある

球を七分三分にキープして農大は常に壓倒的に試合を進めはしたが、農大はフォロウアップが十分でありその得點を急がなかつたならば必ずしも零敗に終る試合ではなかつた

1-0慶大リードの後、ナルティイ・キツクの殆ど絶對的得點チヤンスを大野が無技巧にGK一官の正面に叩きつけたが、之が得點となつたら斯程までスコアも開かず済んだかも知れない

慶大C日松元の巧な適時のフリードに比して農大C日群山の那的のものとはとりわけ目立つるが農大のパスワークは孰れも那的のものであり全般的に見れば努力適量の動きを見せてゐた

その一例をあげるならばFW線を中心線から慶大陣にわたつて布き、球が慶大に渡ると見るや長關退陣がある、斯かる徒費も農大は考慮せねばならない

慶大C日松元の巧な適時のフリードに比して農大C日群山の那的のものとはとりわけ目立つるが農大のパスワークは孰れも那的のものであり全般的に見れば努力適量の動きを見せてゐた

その一例をあげるならばFW線を中心線から慶大陣にわたつて布き、球が慶大に渡ると見るや長關退陣がある、斯かる徒費も農大は考慮せねばならない

その一例をあげるならばFW線を中心線から慶大陣にわたつて布き、球が慶大に渡ると見るや長關退陣がある、斯かる徒費も農大は考慮せねばならない

慶大二官の懸眼果敢のプレイはその攻戦に與つて實に大きいものがあつた、直接的には増田の得點力もあげられようが二官に負ふ所多く一層その自重研鑽を望んで置かう(山田生)

野 野前田 橋山 野井 川本
天 大寺 坂 高 山 石 西 川
FW HB FB GK CK FK GK PK
本官田 藤原 元 藤原 川 官
西二増 橋本 笠松 加伊 石 二
8 3 9 0

前半 慶大はキツクオフ直後駒崎シュートしたが農大GKの正面に出て止み三分駒崎のセントダリングは二官に出たがこれも空しく終る、四分農大は寺前、大野のパスで出たが農大FWこれを潰し農大の右CK好敵もGKの好守で已む、慶大はこの直後LI二官の右前長送球を駒崎受けて増田とパスで進み増田長敵で農大ゴール左を割つて一點を先取、十七分農大はLW天野の右前送球が農大バックスの背後を衝いて出でRW坂田に渡つたが農大GKの正面に放つて無爲、廿五分農大は高橋の前送



慶大對農大後半十九分農大二官クリン・シュートして得點

球を天野中央に返したが、大野授會をばづして凡磁となり二十七分右CK後慶大橋本のハンドあり農大PKを得大野キツクしたがGKの正面に蹴放して得點機をつとす、三十四分農大はC増田が農大FWのダブルを避けてドリブルシュートして得

点は三十分分RW駒崎の左前送球をLW西本シュートし増田

クリン・シュートして得點

クリン・シュートして得點

く、農大慶陣に出るも連絡悪くバックスにつぶされて機會なく慶大は四十三分RW駒崎のゴール前送球を農大のFBクリヤル損ねこれをLI二官拾つてシュートし更に一點を加へて4-0で前半を終る

後半 農大は五分LW天野が捌いて尹、大野のパスで右前に廻したが坂田凡失し八分CF大野中央を割り右前送球LW坂田シュートしたが農大GK一官のクリヤに止み十分農大はLW西本のセントダリングを増田受けてシュートしたが左柱をはじいてアウト、十五分農大はCF増田の左前送球をLW西本農大ゴール前に返しRI播磨飛び込み農大LBと突きあたり球は弾かれた儘ゴールイン、十九分LI二官クリンシュートして得點6-0となる、二十二分農大は

RW坂田が寺前にパス、寺前の強敵は左柱を弾き農大GK一官及ばず農大この好機もRJ加藤のキツクに外されて終る二十八分農大は右CK後群山のフリードで再び好機に恵まれたが石川のため潰され左CKも空しく止む四十一分農大は中央線の農大FKを奪つて出でRW駒崎の左前送球を増田引つけて得點し更にこの直後LW西本ドリブルシュートし左柱を弾いた後を増田受けてシュートし連環ゴールを陥れて8-0となり農大強攻を試みるも無爲に終る

蹴球成績表(十八日まで)

文大	0	0	0	0	0	0	0	0	0
早大	0	0	0	0	0	0	0	0	0
商大	0	0	0	0	0	0	0	0	0
農大	0	2	2	2	1	1	1	0	0
帝大	0	2	2	2	1	1	1	0	0
慶大	8	2	2	2	1	1	1	0	0
帝京	0	2	2	2	1	1	1	0	0
慶應	8	2	2	2	1	1	1	0	0
合計	4	2	2	2	2	2	2	0	0

十八日の運動

◇蹴球(關東大學蹴球リーグ三部)
日醫大 55—03 中 央

S // . 10 . 19

豫選組合せ

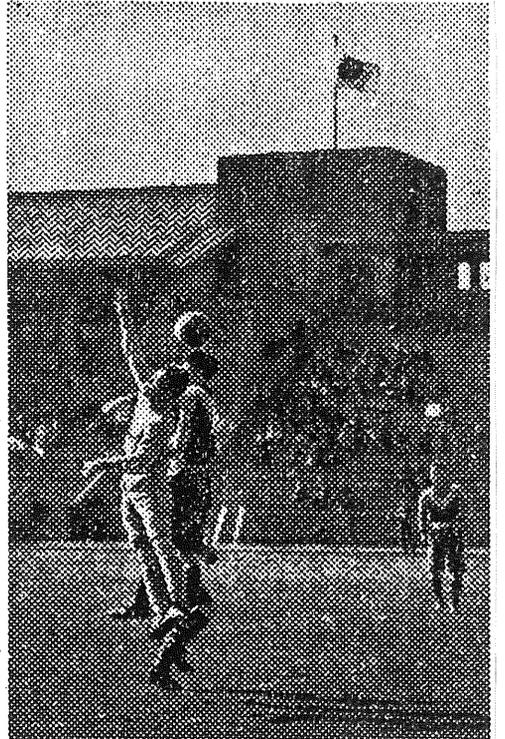
中等對抗蹴球

關東蹴球協會主催本社後援關東中等學校府縣對抗蹴球選手権大會東京府豫選は東京府中等學校蹴球聯盟リーグ戦の戦績に徴して第一部府立八中、豊島師範、青山師範、第二部、慶普、府立九中第三部、青學中、獨協中が選ばれたが第四部は隣屋中、開成中、明學中が同成績で首位の決定を見ず、明學中對開成中の試合を來る廿七日に舉行しこの勝者と隣屋中が三十日に試合してその勝者が第四部から選ばれてこの豫選に出場資格が與へられる事になつてゐる

東京豫選の組合せは左の如く決定したがその決勝戦出場チームは明治神宮奉祝大會出場チームとして扱はれ十一月四日明治神宮外苑競技場で決勝戦を行ふ事に決定した

- ◇第一回戦 (一日清師)(A) 豊師對青學中 (十時半)(B) 清師對獨協中 (十一時半)(C) 八中對九中 (一時)(D) 慶普對第四部首位 (二時半)
- ◇第二回戦 (三日清師)(B) 勝者對C勝者 (一時) A勝者對D勝者 (二時半)

◇決勝戦 四日神宮競技場で舉行
S // . 10 . 20



明大、立教に勝つ

大學二部蹴球リーグ

關東大學蹴球リーグ第二部明大對立大、慈大對于葉醫大の二試合は廿二日午後一時から神宮競技場で舉行、明大對立大の一戦は優勝を賭ける重要な試合で緊張し、立大一點を先取して好調に見えたが後半に入つて明大漸く技術を示して4—1で快勝、つゞく試合は前半終り頃から于葉醫大の各線亂れ慈大の快勝となつた(寫眞は明立戦前半明大FW戦の強攻)

明大先取、井出(主)辻、小山(線)三君審判

【立大】

仁村田上野田崎本口井

今中肥井腰武宮岡山高

FW 水澤(秀)岡田(勤)川木田出中

HB 島(島)

FB 清松中片山中石鈴杉井田

GK CK 6 3 29
FK GK 5 6 8

慈大 8—53—01—1 千葉

(三時慈大先取、工腰(主)辻、小山(線)三君審判)

【千醫大】

代倉 藤田田(祐)腰井夫(勤)橋

千近 源山杉長伊今信長高

FW 野田美玉藤(一)本田川山原

HB 佐 濱宇兒佐中岩松成中西

FB GK CK 8 3 27 0
FK GK PK 10 3 9 1

明拓立慈法千

大 大 大 大 大 大 大 大 大 大

明拓立慈法千

試合勝負分定

2 2 2 4 3 2 3 3 0 0 0 0

2 2 2 3 1 2 2 2 3 0 0 0

0 0 0 1 2 2 0 0 0 0 0 0

4 4 6 2 0 0

S // . 10 . 23

廿五日の運動

◇蹴球 (關東大學リーグ第三部)

中大 12—71—00—0 上智大

(關東高等リーグ第三部)

高獸醫 1—1 高千穂
高農 4—2 高工藝

(近畿選抜中等リーグ)

滋賀師 2—1 郡山中
京都師 12—0 郡山中

東京朝日 1—1 航空研究所

S // . 10 . 26

二十八日の運動

◇蹴球(關東高等二部)

成 蹊 4—0 東 齒

S // . 10 . 29

二十九日の運動

◇高等蹴球リーグ二部

青 學 9—4—1—10—1 積 專

S // . 10 . 30

慶大勝機を逸し

文大と引分け

大學蹴球リーグ戦

慶大對文大蹴球戦は廿七日午後三時から神宮競技場で高山(主)・藤岡、種田(線)三君審判風下の青山側に陣した文大先蹴で開始、兩れてフキールドもよいが西北の強風で制球を亂し試合興味は半減された、慶大は六分四分で勝味の試合を續けたがペナルティ・キックのチャンスも遂に落して引分けとなつた【下の裏頁は文大蹴球戦】

慶大 00000 文大 00000

審判 ◆慶大はオリムピック代表右近を起用してHB線を強化し文大は先頃の對東大戦に鑑み木村、藤田を入れかへて互に陣容に新味を添へて對したが文大に於てはこの點成功してゐたが慶大の場合には必ずしも成功したとは言へない

前半風下の文大はFW線の進出に際してもHB線がフオロウせず飽く迄消極的に失點の防止を期した、勝利を目指さぬ所に議論の余地は存するが對東大戦を落してゐる文大の現状からすればこれもまた止むを得ない戦略であつた

◆試合は慶大に勝味を盛つて進められ六分四分ではあつたがFW線は對慶大戦の時の如く鮮かな球捌きなく、放たれたシュツも球威乏しく文大GK中垣内の動きに相和するものであつた

尤も文大の全線が對東大戦に比べて鋭さがこもり思貫なマイキと好判断があつたのは見逃せないが強風を考慮に入れぬ球捌きは首肯されない

◆慶大がペナルティ・キックを落したのは勝試合と引分けの分岐をなしたものであつた、二官の巧技を尊重して二官を起用したのは

富を得てゐるやうであるが無得點でいらだつてゐる場合であるから老巧の駒崎、播磨あたりを覆用すべきであつたらう

新人には荷の重いものであつたといふべきで二官の過失として招いた事はコンデイションに即した球捌きをせぬところから襲された失敗である

は認められない この絶對的得點機を逸したのは慶大にとつて返す返すも遺憾であらうがこれは致し方ない

◆文大が散發的ながら強襲を試みて無得點に終つたのは試合を消極的に進めた結果であるが慶大が六大學中得點力に於て一頭地を抜くものと傳へられ作らこの結果を招いた事はコンデイションに即した球捌きをせぬところから襲された失敗である

スの捨身の戦法の好餌となるに過ぎなかつた

◆文大は引分ける事に成功し慶大はコンデイションに即する事、不足に失敗があつた、依然慶大も未完成チームの譏を免れはしないこの一戦で六大學に全勝を記録するものを欠きよく今シーズン動きは見透しがつかなくなつて新に興味がかゝると言ふべきだらうか(山田生)

【文大】
島下永崎川村田 塚部内
長久松原小木藤 三岡中
FW HB FB GK
CK FK GK PK
俣宮田慶元近川藤川田
4 6 7 1

二部は法大勝つ

蹴東大學蹴球リーグ第二部法大對慈大の試合は二十七日午後一時から神宮競技場で舉行、2—0で法大勝つ

蹴球成績表(廿七日迄)

早大	00000	X	10110	0
文大	10000	X	20111	1
函大	00000	X	21110	2
慶大	02000	X	21110	2
東大	X0000	2	21110	2
慶大	X2221	3	20201	5

慶東農商文早
試合勝負分
定點



立大、明大勝つ

大學蹴球リーグ

關東大學蹴球リーグ第二部立大對
拓大、明大對于醫大の二試合は卅
一日午後一時から山球場で舉行
立大が快勝、明大は惡戦の末勝つ
立大 6 2 0 拓大
4 1 0 0
明大 4 1 3 2 千醫大
1 1 1 0 2

S 11. 11. 1

蘇格蘭土蹴球に勝つ

「ベルフ
1スト一日
發同盟」
スコットランド對アイルランド國
際蹴球戦は一日當地で舉行三對一
でスコットランドが快勝

S 11. 11. 2

蹴球俱樂部

我が蹴球界
の飛躍を日
指す關東蹴
球協會は二日午後六時半から協會
事務所で理事會を開催、學生チ
ームの充實と相俟つて俱樂部チ
ームの實、以上を注ぐ事を決議、
これが實現を期して先づ從來試合
に恵まれなかつた俱樂部チームに
その機會を與へるべく俱樂部リ
グ戦を開催、同時に從來大會開催
にのみ留つて居た實業團蹴球界に
も可及的速かにリーグ戦を設定す
る事となつた尙關東協會常例理事
會は毎月第一火曜日に関く事に變
更した

S 11. 11. 3

關東中等蹴球

東京豫選第一日

關東蹴球協會主催本社後援關東中
等學校府縣對抗蹴球選手權大會東
京府豫選第一日は一日午前十時か
ら青師球場で舉行、一般に豫想さ
れた如く豊島、青山兩師範と府立
八中、慶普が快勝し三日東高球場
で青師對八中、豊師對慶普の準決
勝を行ひ四日決勝戦を行ふ

豊島師	5	2	0	0	0	青學中
青山師	12	6	0	0	0	獨協中
府八中	5	2	3	0	0	府九中
慶普	4	1	3	0	0	明學中

S 11. 11. 2

豊島、青山引分け

關東中等蹴球決勝戦

關東蹴球協會主催本社後援關東中
等學校府縣對抗蹴球選手權大會東
京府豫選第三日の決勝戦は四日午
後三時から神宮競技場で小野(主)
福田小長谷(線)三君審判の下に
青山先蹴で開始、強風の悪コンデ
ションの下に接戦を續け2—2
の引分けとなり後日再試合を行つ
て東京代表を決定する事となつた

S 11. 11. 5

常勝八中敗る

中等蹴球豫選

關東蹴球協會主催本社後援關東中
等學校府縣對抗蹴球選手權東京府
豫選第二日は三日午後一時から東
高球場で準決勝二試合を舉行、第
一次豫選リーグにおいて全勝記録
を残し優勝し今シーズン常勝の名
を恣にした府立八中も3—1か
ら猛撃を浴せて同點に漕ぎつけた
が最後の二分でゴールを許し遂に
借敗し第二試合は慶普FW好連絡
で進むが決め手なく守備線は豊島
のFW線連絡悪いが其進出を阻み
得ず脆くもつまくられて敗退し
た

斯くて東京府代表を決定する決
勝戦は四日青山、豊島の兩師範
チームの間に行はれる事となつ
た

青山師 4 (2—2) 3 府立八中

(一時小長谷審判)

【八中】	納藤原山川沼田原澤山塚	1	3	15
FW	加越永丸横田山松寺船江			
HB				
FB				
GK				
【青山】	根倉中藤立口木井波藤岡	3	2	10
FW	茅宮濱遠橋野鈴藤岩加松			
HB				
FB				
GK				
【慶普】	保藤中邊崎浦方粕端泉野	0	5	11
FW	久加田渡山神緒甘川酒大			
HB				
FB				
GK				
【豊島】	藤井田原宮川貝山黒根	9	1	4
FW	伊横村小西前須腰小關			
HB				
FB				
GK				

S 11- 11- 4

三日の運動

◇蹴球 (關東大學 三部) 工大 4
1 上智大 (關東高專 第二部) 成
蹊 4—4 横專 (同第三部) 高千穂
2—2 東高藝、高農 2—1 高默
(關西學生リーグ) 神高工 5—4
大高醫、同大高商 5—1 大外語、
阪大 5—2 大商大 ▲東京朝日 3—
2 日本徴兵

S 11. 11. 4

試合經過

◇前半 五分迄に慶大は石川一
猪俣—二宮一駒崎、右近一駒崎
の好送球で出たが風に煽られて
空しく文大は十分RW小川右側
を割つて出たが救援なく止む、
この後文大はL I 久下の突破、
L H 木村の放つたチャイソボー
ルで慶大バックスを攪亂したが
成らず、慶大は二十五分駒崎—
播磨の連絡よくゴール前に迫り
播磨シニートしたのが外れて終
る、二十八分慶大はRW駒崎の
センターリングがゴール左前に
出たが、オフサイド、三十六分
慶大は文大陣深くFKを得駒崎
から又もゴール左前に好送され
たが二宮凡蹴して好機を逸す

◇後半 二十分迄兩軍バックを
完全に破り切れず二十一分慶大
は文大陣にFKを得右近の強蹴
を前出せるFW巧みに故意の逸
球を試みたが文大G K中垣内好
位を占めてのがれ慶大はC H 右
近の右前送球で好機來を思はせ
たがRW駒崎潰されて止む、二
十六分慶大猪俣ドリブル後セン
ターリングの時文大R H 楊カツ
ト失の反則で慶大ペナルティ。
キックを得二宮キックしたがG
Kの正面を衝き慶大得點機をの
がす、文大長蹴で攻めるがFW
線開いて散發に終り慶大は四十
四分猪俣辛苦の右前送球あつた
がRW駒崎のオフサイドで好機
を逸す

S 11. 10. 28

覇権は何校に 混沌たる戦列

學生蹴球豫想記

關東學生蹴球リーグ今シーズンのスケヂュールも七日行はれる早大對文大の一戦を境として順位を決定づける重要な後半の日程に移る事になつてゐる

◇：優勝候補の隨一と目されてゐた早大が陣容手不足とはいへ第一戦を落し、今春來の戦績に鑑して大きな期待をかけられた東大がこれまた早大と軌を一にし一方早大、東大の蹟くを尻目に

かけて順調満帆の勢を見せた慶大が引分けを償するなど波瀾重疊で覇権の歸する所は見透しがつかず混沌としてゐるがそこに大きな興味が盛られる

◇：文大は凡戦の末對東大戦に悪星を印したがよく不調の慶大に喰ひ下がつて引分け漸く充實振りを見せつゝある、これに對し早大はオリムピック選手川本、西邑、加茂兄弟、番野、佐野の

超劣級を迎へたが川本の捻挫は全く癒えず、西邑また病んでオリムピック選手を總動員する事は覺えない、然し川本は強いて出場するものと見られこれに加茂兄弟を加へるからFW線の得點力は侮り難い、然しその彈丸の輸送力乏しくこの得點力あるFW線と思ふ様活躍せしめ得るかどうか、FB線の挺身隊の脆弱と共に早大の憤みである

◇：文大はこれといつて優れたラインは持ち合せないがチームとしては早大のそれよりも均整がとれてゐる、だが文大は松永を中心として早大のひげ目を感じてゐる守備線を抜くは些して至難とは思はれないが佐野を陥れ得るかどうか、早大攻落の鍵である、早大は矢點あつても得點

で制するとすれば名射手に十分の彈丸が供給されねばならないがこれが成るかどうか早大制勝の重點である、早大のベスト・チームは初登場であり、粒を揃へてゐても必ずしも勝味ありとは斷じられぬ孰れは鎗を削る好試合とならう

◇：東大對商大戦は引續き八日行はれるが慶大を繞つて敗れた東大、勝つた商大ではあらうが個個の技術から見ても戦術的に比較して六分四分東大に勝味がある慶大のたゞ完敗して立ち直る暇もなかつた慶大を打棄つた商大にはチームを買く重點を欠き鋭さが無い商大FW線が得點力を示し得ない限りこの試合はどの點から見ても勝味ないと見られる(山田生)

雨中悲壯な熱闘

文、早に敗退す

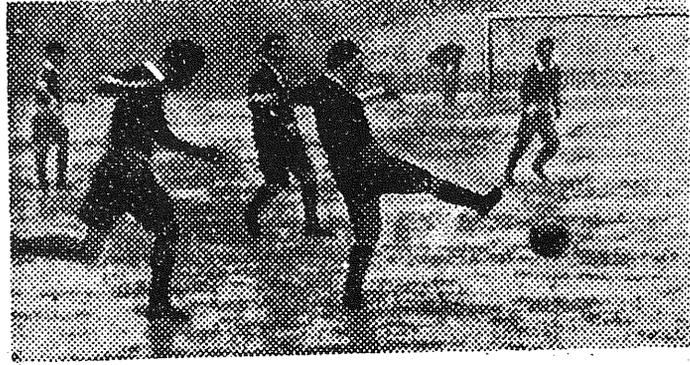
大學蹴球リーグ戦

早大對文大蹴球戦は七日午後三時から神宮競技場で伊藤(主)川邊三島(線)三君審判早大先陣で開始、天候は刻々悪化し雨激しく風を交へてコンディションはかつて見ない不良のもので強引なプレイの懸念に終始して結局3—0で早大勝つ

分の長きに亘つて劣勢の試合を顧みなければならなかつた、だがHB線とFB線の不出來は早大の勝點とするパツクスのそれよりも劣つてゐた所からすれば指令中垣内の退場なく共この試合を収める事は異束なかつたであらう

早大對文大蹴球雨中戦

審判 ◇オリズムピツク代表選手七名の召喚で期待されたこの試合も生憎の豪雨のためフィールドは殆ど全面が水浸りとなつてその個々の進歩の跡を偲び得ないのみかコンビネーション・プレイの醍醐味を味はひ得ず悲壯な場面を點綴して早大の勝利となつた◇…文大が中垣内の人事不省に陥つての退場はその守備力を減殺する事多いばかりかチーム編成が11—10となつて勿論その攻撃力も大いに殺がれてしまつた文大は全く不運に見舞はれ五十五



◇…早大は西呂病後の経過よくこれを糧用してそのFW線は大越を除いてオリズムピツク代表といふ堂々たる顔觸れ、吉田をFB線にさせて未開をCHに抜きパツクスの弱點を補へば文大は松永がインサイドに廻つて攻撃力を増幅するなど共に大事に構へた苦心の跡がうかがはれた

◇…球は水溜にはまつてスピードを殺がれ枯れ果てた濡れ芝草の上を豫期せぬスピードを以てパッスを亂してゐた爲めにパスが正確に三人の間で行はれる事稀しく、キツクも伸びず、そこに双方の苦心が積まれてゐた足校は洗練された早大、臨機應變の處置においても早大が優つてゐた、鮮麗なプレイは望み得ないまでもこの判断處置がこの試合の味であり11—10のハンヂキヤツプを考慮に入れてもこの優勢が勝敗の分水となつてゐた

◇…文大の得點機會を拾ふならば前半十三分松永のコンヂションの不良を逆用した時宜を得た長蹴を筆頭とし、後半久下との連絡に齊した兩三度か數へられるに過ぎず、ショツトの數多い點からしても早大に歩があつた

文大が往時の如くキツク・アンド

●ラツシユの戦法を主流として今日のチームを完成してゐたならば斯る日の試合において早大を尻目にかけ得たとも思はれる『山田生』

島本下	藤川村田	塚部内	
長松久	原小木藤	三阿中	
FW	HB	FB	GK
CK	FK	CK	FK
3	2	8	

試合経過

◇前半 キツクオフ後間もなく早大は吉田の長蹴をとつて川本右寄りドリブルして出でタツクルを外してシュートしたがゴールアウト、文大は七分迄早大陣に球を進めたがFB線を破れず早大はこの後自陣にFKを得右側から出たが文大I江木村の好守に阻まれて空しく文大は十三分松永長蹴したがゴールを掠めてアウトとなる、早大は十七分文大陣右のスロインから川本シュートし文大GK外すを拾つて西呂フリーシュートした

が早くアウトとなり好機を逸す二十五分早大は左にCK第一球を得加茂弟好蹴したが潰されて止み二十九分早大は大越のセンタールンゴを加茂兄受けてシュートすれば右柱を弾いて返りこれに加茂弟シュートしたがアウト、文大は三十分右にCK第一球を得小川のキツクよくのびたのがれ文大第二のCKとなり小川凡蹴で止む、ついで卅二分左に第三CKを得たが無爲卅五分早大LW加茂弟キツク・アンド・ラツシユで出る時文大GK中垣内出でて衝突し中垣内氣絶してタイム五分、LW長島が中垣内に代る、四十二分文大は左に第四CKを得久下のキツク短く早大パツクスの逸球となつたがGK佐野のクリヤする所となる、四十四分早大は文大ペナルティ・エリアに近くFKを得たが加茂兄のキツク潰されて止む

蹴球成績表(七日迄)

文大	1	0	0	0	X
早大	0	0	2	X	
農大	0	0	2	X	
東大	0	X	0	2	
農大	0	X	2	2	1
農商東農	0	2	2	2	1
早大	3	2	1	1	0
農商東農	2	2	0	1	0
早大	3	2	1	1	0
農商東農	2	2	0	1	0

※次ページ下段にフック

東大快勝す

対商大蹴球戦

東大対商大蹴球戦は八日午後三時から明大和泉球場で伊藤(主)木内、三島(線)三君審判商大の先陣で開始東大は3-0で勝つ

東大 3-0 商大

商大は朝氣満々東大を釣り出して優勢に試合を運んだが送球連絡悪く効果なき散漫攻撃で終り東大は最初釣られ気味であつたが次第に立ち直つて遂に勝利を博した

◇：釣られた東大は前半二分、十三分と切り抜け得られたであらうものをゴール・アウトでのがれるなどの焦燥振りであつた、然しこれも商大FW線の突つ込みの悪さに救はれた、商大は強味はあつても小業に試合を運び得ぬ感みがあり結局これが災し無得點に終つた

田西 部田 池田西島橋	7	5	14
神 河 高橋 藤田 藤田	7	5	14
FW 坂井 坂井 田西 藤野 木澤	7	5	31
HB 大 大			
FB 大 大			
GK 大 大			

の域に達せずより得點の機会を得ながら商大の得點を加へて三點に終つては今夜に於ける強豪早慶との對戦も心許ないものがある

◇：商大は後半試合の優勢を挽回し得ぬと知つたなら守備線を上り進めて無得點の汚名からのがれる策に出つてはどうであつたらうか、致れにしてもFW線の出来に共に香しからず守備線のマイキングにはより注意を拂ふ要のある事を一言つけ加へて置かう(山田生)

千葉法政蹴球引分

關東大學蹴球リーグ第二部千葉醫大対法大の試合は十日午後二時から明大球場で三島(主)登濱、友澤(線)三君審判、法大先陣で舉行、結局二對二の同點で引分となりこの結果千葉醫大は最下位で三部に陥落する事になつた

法政 2-2 千葉

豊師對青師再 關東蹴球協會主催
試合は十四日 本社後援

關東中等學校府縣對抗蹴球選手權大會東京豫選決勝は去る四日青山師範と豊島師範の間に行はれ、戦ひ末2-2引分となり、再蹴球試合は廿二日引分となり、十四日午後一時半から本師中球場で行ふ

S 11. 11. 11



▽早大蹴球部マネジャー村形繁明君は三井物産採用試験に合格、來春卒業と共に入社する事となつた

S 11. 11. 11

七日の運動

◇蹴球 ▲(關東高等リーグ)一高2-0商船(一高全勝の成績で優勝) ▲(同二部)外語1-1東齒 ▲(大學リーグ第三部)中央5-0國大 ▲(關西學生蹴球リーグ)關大4-1神高商

S 11. 11. 8

明大蹴球に大勝

關東大學蹴球リーグ二部明大對拓大戦は八日午後一時から和泉明大球場で小野(主)福田、石井(線)三君審判明大先陣で舉行

明大 6-3 拓大

S 11. 11. 9

八日の運動

◇蹴球 (關西學生リーグ)△二部和高商3-3大外語(名古屋電話) 専大20-3全名古屋

S 11. 11. 9

※前ページからつづく

早大対文大 試合経過

◇後半 九分早大は加茂兄の右前送球をRW大越受けて廻り込みシュートすれば文大GK手をすべらしゴール前に轉々する球を加茂弟シュートして一點を先取此直後川本ドリブル・シュートしたが文大GKの正面を衝いて終る、十五分LH關野の前送球

を西邑受けてフリーシュートしたがゴール・アウトとなり好機を逸す、文大は十八分久下、松永の左寄りのパスで出たが松永は早大關野のためカットされて止み早大は二十一分LI加茂兄の右前送球を西邑好蹴してゴールを陥れ2-0と早大リードす、廿三分文大木村の拙劣なバックパスはピンチを招き早大は大越拾つてシュートしたがゴール左柱を掠めてアウト、文大はこの直後松永、久下のパスで進み久下左寄りからシュートしたがGK佐野の好捕となる、三十分迄に早大は三回シュートしたが文大GKの好技と正面に叩きつけて空しく三十六分文大は阿部の長送球を松永受け一度チャージされてから拾つてシュートしたが高くアウトとなる、四十一分早大は西邑苦心の左前送球を加茂弟シュートしたが外れ四十二分川本シュートしたがこれも外れ文大はこの直後松永ドリブル・シュートしたがGK佐野のクリヤとなる、早大は四十四分後退してゐた川本の送球を加茂弟とつてドリブル・シュートして一點を加へ3-0、文大苦戦を續け無得點に終る

S 11. 11. 8

慶大に強味

疑問の東大新戦法

蹴球戦豫想

S 11-11-14

十四、五の兩日に互つて關東大學蹴球聯盟今シーズンの残る六試合の中二試合が行はれる、就中慶帝の一戦は東大が黒星を戴き慶大が半星を掲げてゐるにしても渾沌たる今シーズンの動きからすれば騎権を左右する當に重要な試合であり白眉の試合として數ふるに足るものである、續いて十五日行はれる早大對慶大の一戦は後半に入つて落調を示しつゝある慶大が往々に早大四年連覇の犠牲として供へられるが如くにも見られるにしても強敵に向ふ慶大の玉碎的戦法は侮り難くこの試合も立派な内容を含める事となるであらう

慶帝共に

對早の一戦を前にして愈々制覇の見透しをつける一戦で石に啮ちりついても勝ちたい所である、だが今シーズン兩者の商大、文大、慶大を相手にしての戦績からすれば相似たるもの

のあるが遺憾ながらチームの内容においては慶大の優秀さを認めぬわけには行かない

慶大は得点12の失点0であるに對し東大の得点は約半數の7を數へ失点に至つては3を算するといふのはその攻撃力と守備力の相違を如實に示すものである、この相違を控除せるものは試合毎に示された條件の相違とこの一戦に臨むに際して持ち合わせる闘志の如何に存する

FW線の

奇せの巧さ、得点力は慶大に於て優れFB線以下はいづれも伯仲の技術と見られよう、過日東大が商大との一戦に於て商大の満

満たる闘志と速攻に敗惑されて右往左往して、支離滅裂の體形を以て對した如き不覺がこの試合の頭初に繰返されもしようものならFW線の微力と共に敗戦に拍車をかける事は瞭然である

然し慶大としても商大、慶大を軽くあしらつたその後文大を料理し損ねた不手際があり戦績は兎も角その試合の運びは必ずしも完璧とは稱し得ない、これ迄の數字が物をいふならば慶大は極めて容易に東大を降し王座の一步手前に三色旗を進め得よ

うが試合は數字を以て律する事は出来ない、確實にしてスピーディな慶大のパス・ワークを東大バックスがカットし得ないものでない限りは慶大に勝味ありと言つても必勝は斷する事が出来ない

東大が堅實なる守備

なる守備

體形としてなまじ三人守備の新戦法を對商大戦の際の如くマキングを考慮の外にして布くならば徒らに慶大の攻撃を容易ならしめるものであり自ら幕を捲るに等しい愚劣なる戦術である

東大が己れを知つて出様出方を定めて臨む事が今日の慶大にとつて最も煩はしいものであらう慶大が二點を先取すればこの試合の山は見えたといふべきであり東大が文大の如く前半に於てゴールを許さねばこの試合は其結果が豫想し得ない【山田生】

豊師優勝す

東京代表決定

關東蹴球協會主催本後援關東中等學校蹴球府縣對抗選手權大會東京代表選拔試合山師對豊島師の試合は十四日午後一時半から本郷中球場で伊藤(主)本堂(副)三守審判の下に豊師先攻で開始する四日二對二の同點引分けとなり再試合であつたが豊師豊島の一先攻は豊島にとつては好調を呼ぶ貴重なものとなり青山にとつては決定の失点となつて早くもこの試合を決定づけ青山は僅にPKを以て一勝を擲いたのみで豊島の快勝する所となつた、斯くて豊師師範は東京代表の資格を得ると共に師範等祝大會優勝の榮譽も併せて擔つた

豊島師 5-2 3-10 1 青山師

【豊島】

伊藤 小西 前田 須藤 關 小池

5 5 13 0

FW HB FB CK FK GK PK

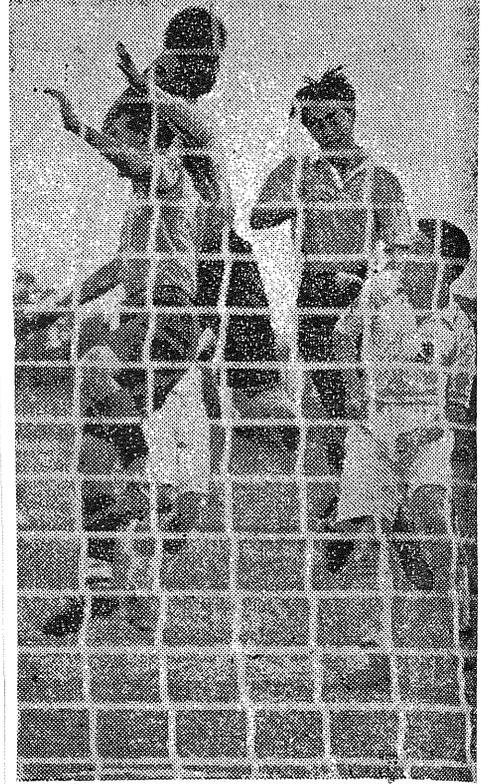
7 5 16 1

伊藤 中野 立口 木井 波野 岡

【青山】

S 11-11-15

ツープス



！チーヤチ
帝大を叩き倒す高橋 田崎の活躍
帝大を叩き倒す高橋 田崎の活躍

慶大の攻守整然

帝大を壓倒す

帝、後半闘志を失ふ

慶大對東大戦は十四日午後三時十分から神宮球場で井出(三)佐野、川本(三)三番審判の下に東大先鋒に開始、東大各ラインを整へて好戦したが不覺の失点から弱さを以て試合功みな慶大のため5-0で惨敗を喫した

慶大 5-0 東大

審判

◇：巧みなプレイを買はれその勢を期待された慶大FWは東大のスリーバックシステムを警戒して、二宮を三宮に誘導、右近をL1に出して全面的な強攻を企てたが開始から二十分までは球が足につかず冷感で東大バックが巨艦を利用して長敵するの引き起された形となり一時は三宮大戦の二の舞を思はせたが、東大GKの失策による思はぬ採ひもの一點から辛くも氣力を持直し得点を重ねて行つた

FWは東大のスリーバックシステムを警戒して、二宮を三宮に誘導、右近をL1に出して全面的な強攻を企てたが開始から二十分までは球が足につかず冷感で東大バックが巨艦を利用して長敵するの引き起された形となり一時は三宮大戦の二の舞を思はせたが、東大GKの失策による思はぬ採ひもの一點から辛くも氣力を持直し得点を重ねて行つた

併しセンタースリー得意の眩惑的なスルーパスは殆ど見られず従つてその得点も胸のすく採な好敵は第四、第五盤の二つに過ぎず他は東大GKの判断の誤りに乗じて流し込んだものに過ぎなかつた

◇：GK高橋としては第二、第三盤は叩いて流さうとせずファーストしてせればあの失点は免れてゐたのではあるまいか、前半よく粘り長敵で勝利して喜んだ東大バック

併しセンタースリー得意の眩惑的なスルーパスは殆ど見られず従つてその得点も胸のすく採な好敵は第四、第五盤の二つに過ぎず他は東大GKの判断の誤りに乗じて流し込んだものに過ぎなかつた

【慶大】	【東大】
宮近田 廣川 元慶 廣川 田	11 3 4
二五増 廣川 加伊 石津	4 12 25
FW	CK FK GK
田田 部田 池田 田田 橋	4 12 25
HB	CK FK GK
FB	CK FK GK
GK	CK FK GK
徳河 阿南 菊大 藤高	4 12 25

試合経過

◇前半 開始五分慶大は東大種田のミスに乗じて左翼から二宮のパスで好機を生んだが空しく東大も十分中央線割り、廣、阿部盤前まで持ち込んだが潰され直後東大前の密集から慶大清廣好敵したが惜しく左に外れる、東大バックは慶大フオアウィツが球が身につかぬのに乗じ巨艦を利用して長敵によく防ぎ、東大盤々好機を生むがハイフのフオローなく空し、二十七分に慶大C江谷元からの送球を捕獲ドリブルに進みキーパー高橋左に進出して捕へたがフアンブルするのを捕獲倒れながらつつけば球はそのまゝゴールに轉入して慶大拾ひもの一盤をあげる、ついで三十二分慶大は中央からの球を二宮返球すれば球はゴール右隅に流れるのを増田すかさずキーパーと同等に流れ込んで二點をリード、東大は盤々逆襲を企てるが三球多く得点に至らず

◇後半 七分慶大廣川ゴールレインあたりから好送球すれば東大GK高橋チヤーチにあひひはたき損ね左に流れるを右近に當てれば球はポストをかすめて入り慶大三點をリード十分東大逆襲して盤中央を割つてドリブルに進めば慶大は防禦せんと進出したGK津田防ぎ切れず球は轉々としてゴールに流れるのをカヴァーした石川善早く身體に當て、間一差持ち出しコーナーに逃れる、三十分加藤から駒橋に出でそのパスをゴール直前に出る二宮突込んで得点東大奮起し順に慶大に攻め入るが極め手なく三十五分慶大逆襲して右から中央にまはり右近取つてドリブルに二十米進みゴール正面から長敵すれば東大GK高橋トネルして5-0と開いた

併しセンタースリー得意の眩惑的なスルーパスは殆ど見られず従つてその得点も胸のすく採な好敵は第四、第五盤の二つに過ぎず他は東大GKの判断の誤りに乗じて流し込んだものに過ぎなかつた

◇：GK高橋としては第二、第三盤は叩いて流さうとせずファーストしてせればあの失点は免れてゐたのではあるまいか、前半よく粘り長敵で勝利して喜んだ東大バック

併しセンタースリー得意の眩惑的なスルーパスは殆ど見られず従つてその得点も胸のすく採な好敵は第四、第五盤の二つに過ぎず他は東大GKの判断の誤りに乗じて流し込んだものに過ぎなかつた

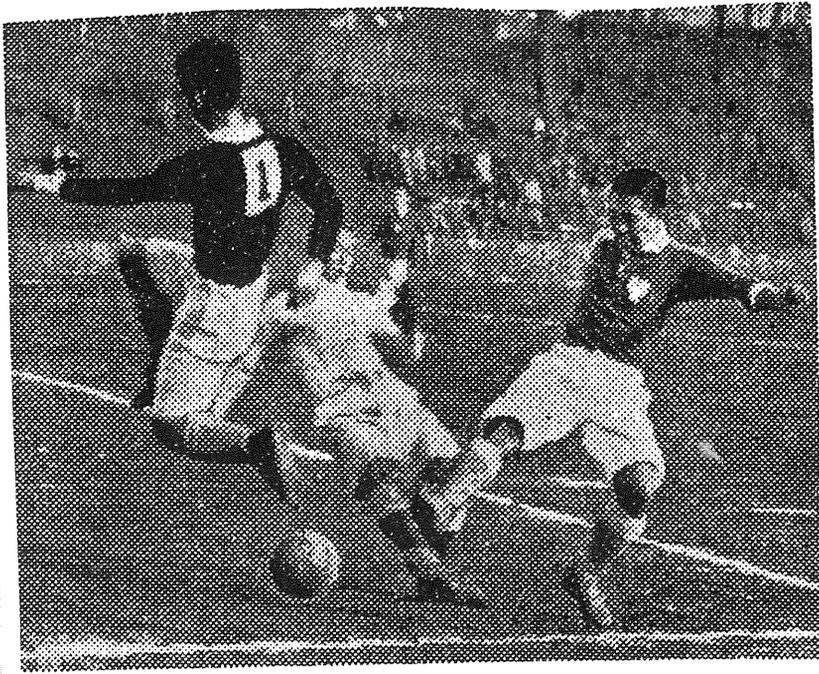
併しセンタースリー得意の眩惑的なスルーパスは殆ど見られず従つてその得点も胸のすく採な好敵は第四、第五盤の二つに過ぎず他は東大GKの判断の誤りに乗じて流し込んだものに過ぎなかつた

併しセンタースリー得意の眩惑的なスルーパスは殆ど見られず従つてその得点も胸のすく採な好敵は第四、第五盤の二つに過ぎず他は東大GKの判断の誤りに乗じて流し込んだものに過ぎなかつた

併しセンタースリー得意の眩惑的なスルーパスは殆ど見られず従つてその得点も胸のすく採な好敵は第四、第五盤の二つに過ぎず他は東大GKの判断の誤りに乗じて流し込んだものに過ぎなかつた

早大FWの巧緻

蹴球 農大に快勝す



技快の弟茂加WL大早 球蹴大農大早

大FWはこれと思ふチャンスには必ず決定的なその猛威を振つた

農大バックはこれに對しタツクルの方法を知らぬかと思はれる程脆い抜かれ方をした。だがこれは球を取る事を考へず潰す事を専一とし深いタツクルを試みるべきではなかつたか、早大の得点の殆んど總てが強直球であつた事はキツカアがフリーであつた事を示してゐる。

◇早大の策、蹴に如し農大は全長髪を削つて力闘を露しただけに終始力一杯戦ひ後半、農大の壓を齎したのはせめてもであつた。勝つた早大は全くFWの力であつた、球が早大ハーフ線を抜いた時は殆ど全部早大ゴール前に迫つてゐた事はゴールキックが略同數であつた事でも知られ、それだけFWが弱かつた事がうなづかれる、同時に早大FWは味方のゴールキックの際試合には全然無關係の位置に構立ちになつてゐる事があるが改めねばなるまい。

した、開始最初の風は早大にとつては少しも負擔にならず、グラウンド・コンディションの良好は早大のフットワークのよさを遺憾なく示してくれた、得点の開きが技術の差程でないのは早大戦を控へて無理をして自傷する事を恐れた爲とも見られるがそれにしても早

早大は後想通り楽勝

早大對農大蹴球戦は十五日午後二時半から戸山學校球場で高山(主)後藤、小林(線)三君審判農大先蹴に開始、早大オリズムピツクFW線の緻細な球捌きは農大守備線を攪亂して大量得点を擧げ快勝した

早大 6-2-0 農大 0-0-0

【農大】

野前野山股橋野井田本	FW	3
天尹	HB	3
寺大群猪高山石吉川	FB	3
加茂	GK	17
弟兄本邑越野野野田野	CK	3
加茂	FK	3
加茂	GK	15

拓大慈大に勝つ

關東大學蹴球第二部拓大對慈大戦は十五日午後零時半から戸山學校球場で竹内(主)岩田、大宮(線)三君審判慈大先蹴で開始、拓大が大勝した

拓大 8-7-1-20 2 慈大

【慈大】

野田美玉藤村本田山川原	FW	5
佐濱宇兒佐中岩松中成西	HB	11
佐川	FB	19
伊北	GK	10
保林村野野田田端	CK	2
南久	FK	16
伊北	GK	16

獨伊蹴球引分

【ベルリン十五日發同盟】ドイツ對イタリア國際蹴球戦は十五日オリズムピツク・スタヂアムで舉行、この日觀衆は實に十萬余と云はれ、ベルリンは勿論歐洲本土に於ても未曾有の大觀衆であつた此試合は開始より猛烈な白熱戦となり前半ドイツ二對一とリードしたが後半イタリアの急迫に遭ひ一點を許し遂に二對二の引分となる

ドイツ 2-2 1 1 2 1 1 1

成績表 (十五日迄)

早大	1000	...	43
東大	0200	...	31
農大	0200	...	12
文大	0200	...	21
早大	0020	...	43
東大	0020	...	32
農大	0020	...	21
文大	0020	...	10
早大	0020	...	43
東大	0020	...	30
農大	0020	...	10
文大	0020	...	74

明大一部へ復活

蹴球 法政に快勝

關東大學蹴球リーグ第二部の最終戦である明大對法大の試合は十七日午後二時から和泉明大球場で小野(主)伊藤、大畑(線)三君明大先陣で開始、明大が快勝して五戦五勝の全勝記録を以て優勝、昭和六年第二部に轉落し五シーズンを経て第一部復活の希望を達した

明大 8 (4-1-1) 2 法大

【法大】

山川 田安永木澤谷原田 1 3 27

平黒 森 村高安鈴赤大大和 CK FK GK

FW HB FB GK 9 5 12

水澤島岡田菊川木出田中

清松中片山中石鈴井杉田

【明大】

◇この試合は順當の結果であるが明大FW線兩翼の未完成とCF中

島の技術に任せた専斷的プレイがなかつたならば明大の得點力は更に大きなものとなつて現はれたであらう、LH中島の確實なプレイは敗戦の中に最後まで粘り強いプレイを見せた法大の村田鈴木と共に頭角をあらはしてゐた

◇法大はBクラスに甘んじなければならなかつたが此日の試合振りからすれば次シーズンは相當の期待をかける事が出来る(山田生)

S // // 18

體協新評議員

決定、内定の顔觸れ

東京オリムピックを控へて進行された體協改組はその後加盟競技團體において寄り／＼新評議員の選出に努力してゐるが、今日迄に既に決定を見たものは

蹴球の深尾隆太郎男、野津謙氏、漕艇の鹽澤昌貞、宮木昌常兩氏、スキーの小島三郎博士、小川勝次氏、以上の三競技團體であり内定を見たものは水上の未弘殿太郎博士、松澤一鶴氏とホッケーの永井直邦子、加藤眞一氏となり、籠球は副島伯の歸朝を待

つて決定される段取となつて居り排球は會長副會長に一任されて未だ決定を見ず體操は大谷武一、森秀兩氏の出馬と豫想されてゐるがこれは廿日前後に決定を見る筈である、馬術も此處四、五日中に決定、陸上は二十一日の代議員會で、又スケートは廿一日の代表委員會においてそれ／＼決定を見る豫定でレスリング、ヨット、ラゲビー、拳闘等も月末までには決定する模様である、庭球は會長に推された勝田氏が未だ正式なる承諾をしてゐないので評議員の選出も或

は來月に持ち越されるのではな

いかと見られてゐる

兎に角十一月末日をもつて各競技團體の新評議員選出は一段落を告げるので來月早々新評議員會を開催し更にこれ等評議員の互選により専務理事はじめ新理事が決定され體協としての新らしき第一歩を踏み出すものと豫期されてゐる

十八日の運動

◇蹴球 青學 5-0 成蹊高

S // // 19

余裕ある早大と

闘志満々の慶應

蹴球争覇戦を前に

蹴球争覇戦の覇権を決する早慶戦は二十二日行はれる。名実ともに天下の早慶戦であり今シーズンの蹴球の最高峰を行くビッグ・ゲームである。

ビッグ・スリーと稱へられた東大も既に四戦、僅かに二勝を記録するに止まつて争覇圏外に遠く去り朝は早慶の間に争はれるのだ。

早大も手兵不足のため西大に一敗を喫してはいるもの、主将川本をはじめ、加茂兄弟、西田、笹野、佐野の六オリムピック代表を迎へて四年連覇を目指し、慶應は対文大戦に半星を残したがオリムピック代表右近を加へて向ふ氣の強い駒崎主将を中心に早大に優るとも劣らぬ巧者を擁して日吉台に屯し三年振りに「王者慶應」を謳歌せんとしてゐる。會戦も愈迫り戦備を整へてゐる兩軍の本據を訪ねて戦線を検討し豫想軍陣を布いて見よう。

早大東伏見球場

あと四日を残すに過ぎぬ十八日であるといふのに昨夜台宿に集つて本日から練習を開始したといふ余裕を示してゐる。慶應が早慶戦のためにのみ合宿練習をするといふ物凄じ意氣込であるのにこれはしたり何といふ悠長な事であらう。

廿日迄練習を続けるが毎日朝々二時間の練習であるといふ事だ。期待は眞向から外れてしまつた。

上野、吉田のF.B線にC.H未開を下げてスリー・バックとし慶應のF.W線に備へメルリンで名キーパーの折紙をつけられた佐野が控へこのゴールに向つて加茂弟、加茂兄、川本、西田、大越のF.W線が巨砲を布き柴田をC.Hとし、關野、笹野が兩翼のH.B線で球を供給して攻撃の練習、著しく上達した球の保持力は小面積いまで鮮やかで強引に守備線を突破、ショット、ショット、だが佐野の廣範圍の守備力はいつかなゴールを許さず漸く汗ばんだと思はれる頃に村形マネージャーの笛があり、

「十五分だ」の聲に應じて、あと五分、川本主將の素ツ氣ない練習延長の命令だ、傍で見ると



【上】早大の練習 【下】練習終つた慶大チーム

のにはこれが早慶戦を控へての練習かと齒がゆくると思はれる。川本主將と一問一答を試みる。大越君の所へ渡邊君を引つ張り出したが、

「早慶戦は若い者では……」
「この間の慶大戦のキツカ」
「兵隊も足らずこれと言つて新しい陣容も布けないし……」
「練習が不足と思ふが……」
「第二軍を相手にして對慶大戦迄は相當試合をやつてゐる、その弊が肝腎の試合の時に出て困るが急造チームと等しいから最大効果を擧げるために……」

「各ラインとも進歩の跡が見えてゐると思ふが……」
「バックが弱いと見くびられてゐる、然しそれも作戦の上にはよいと思つてゐる、オリムピックから歸つてチームとして完成させるのには時日が足らないので困つたが漸くコムピネーションは整つた。」

早慶戦なるが故に氣が重くなつて優れた技術の程を示さず敗れた苦い経験もある、これに比べれば悠揚らぬこの行き方は賢明な策でもあらう。



慶應日吉台合宿

十九日晚秋の冷雨に燃る日吉台で
辻先聲を交へ雨に濡れ泥塗れとな
つて一日でも無敵にはすまい心意
氣の程を見せての猛練習の最中に
訪れた

F W線は二宮、右近、増田、播
磨、駒崎と並びH B線は松元を
中心に加藤、宮川、F B線は石
川、伊藤、G Kが好調にある津
田の陣容は一般の豫想通りだ
早大の余裕綽々、十五日以來合宿
練習してゐる慶應の闘志、實
に面白い對照である。

L W二宮のドリヴル・シュート
は火を吹いて飛んだ、G K津田
も施す術を知らずゴールイン、
丁度四時だ、こゝでフキールド
を二周して練習打ち切りといふ物
俵さ

そこで駒崎主將と一問一答

「余りに物凄い練習なので驚い
た」

「これまでも気合ひで負ける事
が多かつたから、先づ闘志を持
つて臨むといふわけ」

「勝敗の豫想は？」

「負けるとか引分けるなどは考
へた事はないF W線は四點以上
とるといふしバックはゴールを
許すなんて事はしないといふ自
算である」

「この守備線が最も警戒する
のは……」

「早稲田のF W線は球を廻すの
が上手になつてゐる、加茂兄弟
は一寸うるさいかも知れない」

「所で作戦は……」

「秘中の秘、對東大戦と意氣組
みは違ふし右近が本格的の調子
が出てゐるから今シーズンのヤ
マを捉へて臨む事が出来よう」
「L W二宮は不得策としないか
」色々と研究して見たが致方な
い西本を使ふ手もあり二宮をC
Fとする手はあるが今となつて
そんな事は考ふべきではない、
右近と僕とは最後のシーズンだ
から一つガツチリ固めて早稲田
を潰さねばならぬ」

濱田、松丸、塚越、辻と云つた先
輩も日参して士氣を鼓舞して作戦
に與つてゐる、慶應ではこゝ兩三
年見た事のない張り切り方である

比較すればL W線は慶應兩翼の均
衡とかH B線は早の老巧と慶應の
若さなど數へ上げられるであらう

が通観したところチームの技倆に
差は認められず精神力も必ずしも
慶應の旺盛を稱へ得ない、得點先
取も、二點の開きも勝利の確實性
がないと見られよう、孰れにして
も勝敗の豫断は許されぬ早慶戦で
ある(山田生)

球 蹴

農大FWの手薄

文大に敗れ二部へ

関東大学蹴球リーグ文大對農大の試合は二十一日午後二時半から明大球場で吉原(主)山口、岡本(總)三君審判の下に文大の先攻で開始前半接戦を演じたが後半に入つて文大二點を加へて勝ち劇大は遂に五戰一勝で末位となり次シーズン第二部に廻る事になつた

文大 3 (1-1-0) 1 農大

農大はC H山野が文大のエース松永を壁くマークしてゐたがL W長島のマークが足りず危機を招いてゐたそれにも拘らず長島はシュートも敢行せず當然得点し得べきチャンスも數回に亘つて逸した

にはG Kも立直り巧技を見せるといふ皮肉さであつた

◇試合を通じて文大の強味は認められ順當な勝負とはいへるが、文大FWは抜かれた球の處置が悪く引かけて蹴る事が出来ぬのは不利だ、又C Hのポジジョンが守り気味であるのは大切な時に腰が砕けてミスキックが多いのと共に一考の要があらう

主將木村の精力的な活躍は目立つたが後半十分頃左側ベナルテイニリヤ外に得たフリーキックをゴール向つて左にキックしてアウトとしたが當然ライト側へクロスして蹴りFWのシュートの容易を導すべきであつたらう

ブレイはかなりラフなものが見えそのために萎縮したブレイヤーがあり審判も甘い感があつたがなほ且十余のフリーキックを數へてゐた

◇敗れた農大は後半廿分頃からFWを前進せしめ果敢な戦ひを挑んだがFWに人無く恢復出来なかつたのは是非もなかつた(高師勝)

【農大】

野 野前田 橋野山井能本						
天 大寺坂高山 壁石伊川	FW	HB	FB	GK	4 7 17	
島下永崎川村田下家部				CK	FK	GK
長久松原小本藤木三兩	中	10	12	6		

經過

◇前半 一分文大小下長島と渡つたがシュート弱く四分農大逆襲して大野から天野に渡り天野ドリブルしてシュートすれば中垣内危く防ぎ球はバアにはわかへる、坂田突込んだが滑つて逸す▲五分文大右から攻め入下ドリブルで疊前に迫ればFBチエックした時球は流れてG K川本の逆モーションとなりあつたな

◇後半 文大風上となり左翼からしきりに攻めるうち五分木村ロングシュートしたが川本トスに防ぎ十分文大松永原崎のパスで進出原崎のシュートポストに當つて返るのをR W小川突進強蹴してゴールを陥る▲農大キックオフの球を文大壘前に持ち込みしきりに探み山野からの球を大野シュートしたが中垣内よく捕つて逃れ、二十三分

廿一日の運動

◇蹴球(高専一部)
府 商 船 3-2 東 高
高 7-1 日 齒

二十二日の運動

◇蹴球 拓大 5-1 Y C A C、關東協會 3-1 青學 O B、同大 高商 6-0 大商大、關學 9-3 神大 5-2 工大、日醫大 7-1 上智大 ▲關東高専三部、成蹊 5-0 外語、青學 2-1 東醫、横專 5-2 東齒、關西學院 9-3 神高商

早大G・Kの好守備

慶大無得点に敗る

蹴球 早の優勝は確實

早大 21100 慶大

審判

王座をかけると共に

今シーズン關東大學蹴球リーグの優勝を決定づける早慶戦は二十二日午後二時半から神宮競技場で高山(主)菊池、藤岡(線)三君審判の下に早大先陣で舉行、曇天北西の風強く慶大はプール側に陣し追風を利しFW線の速い出足、好連絡で早大陣に球を寄せて鮮かなスタートを切つたが押し切れず後半に入つても前半同様試合の出端巧に抑へて行つたがこれまた失敗し結局早大FW線の傑出した足技に得点されて慶大は如く双方の得点力の偉大を示さなかつたが早大は遂に慶大を降してしまつた

リーグ最強チームとして定評のある早慶両軍の對陣だけに定刻前から観衆はスタンドを埋め近來にない入りを見せた、張り切つた慶大は約二十分前から練習を始め、特にライト側のコンビネーションの練習をするなど作戦の程を思はせたが早大は五分前悠々と登場、いつにかはらぬ軽い練習を見せる、慶大は風上手駄ヶ谷側をとり一塁にリードの機をわらつた、この企ては半ば成功し早大キック・

オフの球がLW加茂弟に出るのをカットして早大陣に攻め込み早くもCKを得た、然し慶大は決め手なくこの欠陥は全試合を通じて繰返されたため遂に紙一重の差で早大の篤に名を成させてしまつた

◇：後半慶大を見せたショットに見ても二官をインサイドとして用ゐてゐたら或は試合はもつと異つた展開を見せてゐたかも知れない、早大スリーバックシステムが亂れたのは後半二十分頃から二官から捌く球を右近が突進して吉田を抜いたいくつかの場合と、右翼からのロングパスの時左翼に生じただけであつた、前半進出得点を期さねばならぬ右近が豫想以上の早大FWのキープに逢ひバックせねばならなくなつたのも大きな違算だつたらう

◇：然し慶大バックは早大の猛襲をよく持ちこたへ、加茂兄弟あたりには翻弄されながらも執拗にタックルを繰返し最後に潰す事に成功してゐた、GK津田も早大の強襲を豫想して練習の時から坐り込みの捕球法をとつてゐたがこれは見事に成功しキヤツチし得ぬ時でも身體のどこかで球をそらす事に成功してゐた

一方早大はFWが定評通りの猛威を振り途中一時緩みはあつたが細細を極めたフットワーク、フツチング、コンビネーションに十分観衆を樂しませてくれた、後半川本主將が擧げた第二點は慶大の攻撃が尖鋭化してかなり急迫した氣分の裡におかれした時のもので、球を抜くや左へ抜くと見せて右へ抜きGK津田の逆をついてアウトサイドに決めたもので加茂兄弟、佐野等のプレイと共に眼底に残る滋味あふる好技であつた

◇：佐野が層々進んでゴールを空にしたのはFWに任せ切れなかつたが、早大の守備はこれに

後半は風に球が流れ、よく延びた佐野の手も及ばなかつたものがあつた、慶大のFWの無得点は稍物足りないながら傳統の意氣と相搏つ眞摯な好試合は大いに買はるべきだが、FWの決定力が遂に試合を左右して順當な結果を見せたものといへよう(高師慶)

【慶大】

宮近田 慶岡川元 慶岡川田
二右増 播磨 官松 加伊 石津

FW	CK	8
HB	FK	6
FB	GK	9
GK		

弟兄) 本島 越野 岡野 野田 野
加加川 西大 關末 笹上 吉佐

【早大】

FW	CK	5
HB	FK	4
FB	GK	20
GK		

蹴球成績表(二十二日迄)

農大	10020	0X	45	14	0
東大	0200	0X	44	22	2
東大	0200	0X	44	22	2
早大	0200	0X	54	33	11
慶大	0200	0X	54	33	11
慶早東商文農	0200	0X	54	33	11
試合勝負分			7	6	4
定點			7	6	4

※ 次のページにつづく

※ 本日の試合は、早大が勝利した。

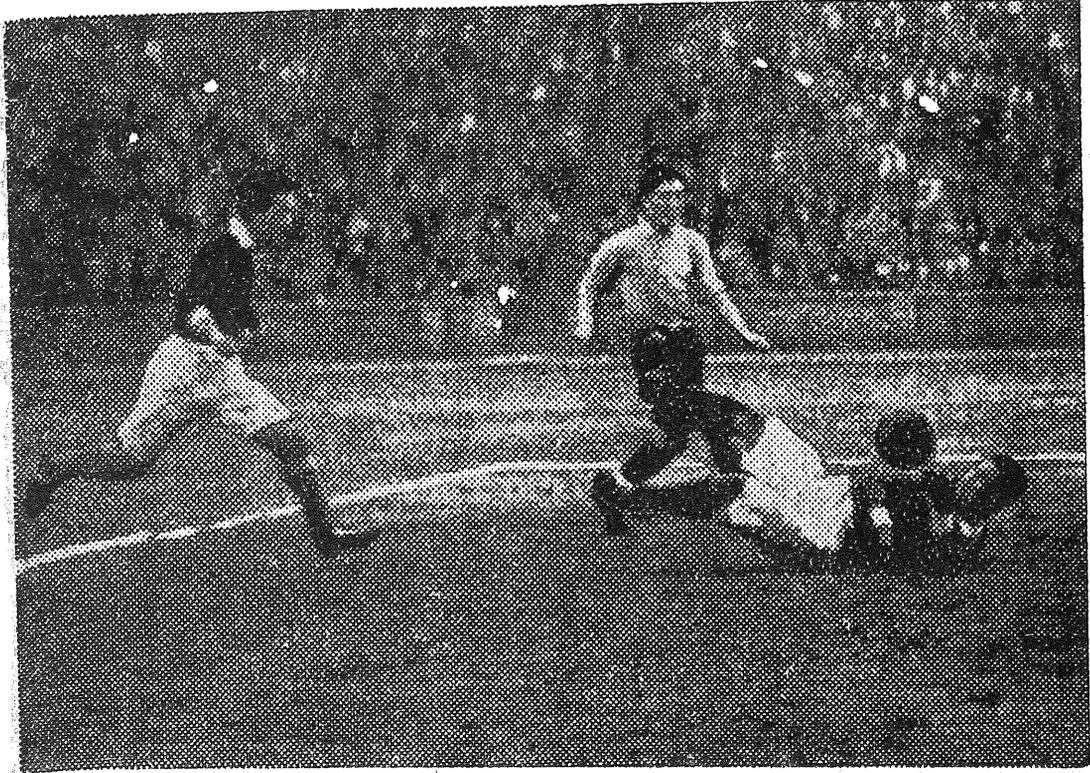
試合経過

◇前半 早大キック・オフの球を慶大奪つて攻め入り駒崎のパスを播磨シュートすれば球はポストに當つてかへり壘前を轉々するのを吉田クリヤする△五分早大FW漸く球を得CKを大越のキック壘前に落ち絶好のチャンスとなつたが決らず、バックした右近の一蹴に逃れたかと思えたが早大川本ドリブルに縋つて進み加茂兄、西邑と早大獨特の巧緻なパスに西邑壘前に強蹴して見事な點をあげる△十分慶大攻めて右近から播磨、駒崎と廻し其あげた球は僅にゴールをオーバーして無爲△十七分中央から出た球を慶大駒崎大きくセンタースれば播磨突込みGK佐野挺身して逃れるのを二宮シュートしたが左に外れ△廿一分早大川本中央を割つてベナルテイエリア邊から強直球を放つてGK津田正面に受けたがフアンブルし球はゴールに向つて轉々とするのを津田身を翻して危く掻き出しタツチに逃れる△卅四分早大加茂弟巧妙なタツチ・ワークに深く持ち込み壘前にパスすれば加茂兄とつて強蹴松元の體に當つてかへるを再び取つて息もつがせぬ強蹴を放つたが慶大人垣を作つて防ぐ、慶大進出して早大の脆弱なバックを抜くがFWの決定力では早大佐野の鐵壁の守りを破り得ず、早大は余裕を持つたFWが球をキープして風下の不利を巧にカバーする△四十四分慶大右のスロインから播磨の送球を右近へディングしたがアウト・対等のまゝ前半を終る

◇後半 慶大キック・オフの球を早大奪つて川本から大越に捌き其センターリングを加茂ヘッドして慶大ピンチに變はれたがバック懸命に逃る、慶大逆襲して三分左側から出た球を二宮強直球を放つてGK佐野ジャムプして見事に捕へつづいて左側から壓迫を加へ洩れ球を宮川強蹴したが球は却つて味方の増田の頭に當つてかへり惜しいチャンス逸す、早大スルーパスに物を言はせて攻めるが中央にチャンスなく△十三分慶大は右近からの球を二宮取つてドリブルに抜きシュートしたが上り△十八分早大は加茂兄取つた逆襲の球を川本に流し川本ドリブルしてシュートすればGK津田スライドに喰ひ止める△廿二分慶大逆襲して左CKをとり二宮のキックはベナルテイマーク邊に流れ、GK佐野進出して叩かうとしたが成らず慶大播磨取つてシュートしたがゴールカバールした吉田クリヤする、二十五分頃から慶大FWに鋭い動きが加はり三十一分早大加茂弟から出た球を川本バックを抜きシュートしたが進出したGK津田防ぎ間髪を入れぬ加茂兄の強蹴は津田の眞正面を襲つて津田坐つたまゝ拾つて逃れる△三十六分右から廻つた球を右近取つて二宮にバックパスしそのパスを早大FW失しCKを興へる、このCKからチャンスとなりGK佐野前進守備で再びゴールが空となつたが末岡よくバックしてコーナーに逃れる△三十九分早大は西邑から川本にパス、川本巧にドツデしてGK津田の逆をつき強直球をネットし二對等とな

る、直後慶大右コーナーをとり更に猛襲を加へたがタイムアップ直前早大は川本中央を割りシュートし慶大懸命に防ぐのを西邑、加茂兄と思もつがせず巨彈を浴びせたが慶大死守してコーナーに逃れた時タイムアップとなり早大勝つ

8/11/23



G・Kの美技！ 早大C.F.川本のシュートを

慶大新人勝つ

早慶新人蹴球戦は早慶戦に先立つて二十二日午後零時半から神宮競技場で舉行一對等の接戦で慶新人軍凱歌をあげ

慶應新人 1-0-0 早大新人

8/11/23

想豫球蹴大商對大文

六分四分の割?

勝味は文大に

商大吊出しの戦術

關東大學蹴球リーグ第一部の今季スケヂュールも十五試合中僅に二試合を残すのみとなつて来る二十九日の早大對東大戦を以て完了する、この二十八日には文大對商大の試合が行はれるがこれは優勝圏外のものであつても廿九日の結果と合せて第三位を決定づけるものである、商大は早大手薄の虚に乗じて奇勝を博し慶大、東大には敗れたが慶大を却けて二勝二敗の戦績であるに對し文大は東大、早大に敗れたが自他共に優勝候補と許した慶大と互角の試合をつづけて遂に引分け慶大を破り殆ど互角の戦績を残してゐる、商大の巧な吊り出しにかゝれば文大も勝味は薄いが文大がこの手に乗らず試合を進め得たならば六分四分の有利が豫想される

◇：兩チームの今シーズンにおける四試合について總覽すれば微かながらも文大には老巧味がうかゞはれ、商大には若さの身上が認められる、結局は若さの中に籠る脆弱が試合を失ふ結果を招くのではなからうか

◇：文大は攻撃線にLW長島の正確なプレイ、RW小川の待球等で攻撃力を半減してゐるがセンター・スリーの體力的の廣い動きは商大のFW線と殆ど互角に對抗し得る自信を持つてゐるものと見られる、殊に松永の練熟せる技術は文大がたのみとする所のものであり商大としてもこれを如何にして阻むかどの試合のヤマであり勝敗はこの點から決定づけられるであらう

◇：商大FW線は出足の早さがありパスワークも確實であるが血氣に任せて一気にゴールを陥れんとして飽くまで正攻法をとりHB線のプロロウも忠實であるが如何せんゴールゲッターを欠いて破行的ラインを布く文大のそれに優るとは思はれない

◇：守備線は何れに強味ありと斷じ難い、商大のバックスが松永の技術を完封し得るかどうかの懸念はあり文大のバックスが商大の速攻を阻む事は至難と見られずこゝに於てこの一戦が順當に運ばれるならば文大に六分四分の有利な豫想は立て得るといふ事になる

◇：商大は均衡のとれたチームであるが粘りに於いて劣り飽く迄粘身の一戦を試みるのでなければこの最終戦に物をいはず得ないであらう(山田生)

S 11. 11. 26

竹腰コーチ

けふ神戸へ

オリムピック蹴球代表
ク蹴球代表
て派遣された竹腰重丸氏は大會終了後パリで一行と別れて歐洲産業組合の實情調査して二十八日午前六時神戸入港の郵船秩父丸で歸朝

S 11. 11. 28

東京實業團

關東蹴球協會の肝煎りで東京實業團蹴球リーグが結成され愈來る十二月六日からリーグ戦が開始される事になつた、加盟十三チームを三クラスに分ち首位三チームを以て改めて決勝リーグ戦を行ふが第一次リーグ戦日割は左の如し

- 十二月六日 東京火災對日本鋼管 (A) 日本鐵兵對慶應病院 (A)
- 東京ガス對航研 (B) 航技對第一生命 (B) 淺野對興銀 (C)
- ◇十三日 東京火災對慶應病院 (A) 日本鐵兵對三共 (A) マツダ對淺野 (A) ◇二十日 日本鋼管對三共 (A) 東京ガス對第一生命 (B) 航研對航技 (B) マツダ對興銀 (C) ◇二十五日 東京ガス對航技 (B) マツダ對千代田 (C) ◇一月九日 千代田對淺野 (C) ◇十日 日本鐵兵對東京火災 (A) 慶應病院對日本鋼管 (A) 第一生命對航研 (B) ◇十七日 日本鋼管對日本鐵兵 (A) 慶應病院對三共 (A) ◇二十三日 千代田對興銀 (C) ◇二十四日 東京火災對三共 (A)

S 11. 11. 26



◇：關東蹴球協會理事東京火災社員井出多米夫氏は同社福岡支店小倉支部轉任となり廿七日赴任

S 11. 11. 28

破竹の早大に對す

更生東大の意氣

學生蹴球 終幕戰の豫想

波瀾曲折を豫想された關東大學蹴球リーグ戦も坦々たる戦績を記録するに止まり二十九日行はれる早大對東大戦を最後として今シーズンの幕を閉ぢる事になつた

早大 は去る廿二日慶大を

破り三勝一敗の戦績を以て今シーズン優勝確實と見られるに至つたがこれに對する東大は二勝二敗を以て既に優勝圏内から脱落し去つてゐる、慶大を続ける兩チームの戦績を繰るならば

早大が2—0で破つた慶大に對し東大は5—0の惨敗記録を止めてゐるが翻つてこれを文大に對して見れば早大が3—0、東大が3—1で共に卻けてゐる

これを直に取り上げて以て早大と東大の實力を比較検討する事は許されない

東大 が早慶と共にビッグ

スリーとして數へられ期待された

ところのものは今春のチーム強化の状態とシーズン開けまでに残したその香しい戦績であつた

ところが今シーズンの第一戦である對慶大戦はこの春に見せた圓滑なパスワークを忘れ勵志を欠いた鬱めな姿を曝して慶大の好餌となり可惜スタートで躓いてしまつた、この痛烈なる一敗は東大のチーム編成に右顧左盼せしめる結果を招き強化策に迷はしめたのであつたが去る十四日慶大に敗れてからの二週間は四戦に鑑みその缺陷矯正に努めた結果この最終戦を前にして面目一新更生のチーム建設に成功し有数の美を誇るんとして意氣軒昂たるものがある

一方 早大は慶大を零敗せ

しめ四年連覇の直前に迫つた勢ひを翻つて引續き合宿練習を續け制覇に備へてゐる

完成せる其FW線加茂兄弟、川本、西田のオリムピック選手のボールを殺し切つた妙技は球と人と一體の如きものであつて東

大が森、菊地、種田、大内等の布くHB線をも翻弄し得ようといふ早大側の確信は容易に撤回せしめる事は出来ない、HB線は笹野、關野が新鋭末岡を援けスリー・バックの新布陣によつて生ずる守備力を廣く確實な動きの下にインサイドとして完成しつゝある加茂兄、西田の掩護で強靱さを加へFB線は吉田、上野の技術とコンビに不安を宿してゐたものゝ對慶大戦でこれを一掃しスリー・バック布陣もイタに付いてゐる、GK佐野の傑出したプレイによつて後顧の憂なく、従來の守備線の危惧は全く去つた

三角 型が四角型に對角線

を描いてスピーディな鋭角パスはシュートインング・レンジを狭くして決定的チャンスにまで押し出して攻撃の優さ、鋭さ、フイードの過不足は別としてHB、FB兩線の緊密な連携は不落の牙城として讀へ得よう

東大 は試合毎にFW線の

編成に異動を見せてゐたが第二試合の對文大戦からCFを除いては漸く固定した、これも一長一短兄たり難く弟たり難い粒が揃つてゐるためにその選定に迷つた事と高橋(豊)の負傷等に因しこれがひいては攻撃線を整へ得點力を増幅する事が出来ずに惱んで来た、森、菊地、大内、または森、菊地、種田の布くHB線、藤岡、築島、または藤岡、種田のコンビで行くFB線は早大のそれに比して守備的に甚だしく遜色あるのではないが前線へのフイードは十分に行はれぬ憾みがある

畢竟 するに變動なきFW線編成に伴ふ緊密な連絡に慣れぬ結果でこれを痛める事がチーム

の弱點である

◇兩軍メンバー

- 【東大】 村(河西) 田内 岡地 谷 沖橋 森 種大 藤 菊喜 松 高阿 潮
- 【早大】 加茂 加川 西大 關末 笹上 吉佐

燃ゆ

早大の巧技に身を挺して試みる繰破、これが最後までつづけられるものならば受身のこの試合もタイに進め得よう

FW線が制球に手間どり早大を廻す野心でも見せれば得點は覺束なく守備線が躊躇後巡のプレイで早い潰しに身を躍らせる事もなかつたならば早大の総論に委せねばなるまい

この一戦東大の勝味は薄いにしてその挺身積極の對戦は内容を盛り、早大のオリムピック・チームの關東における最終戦としてその神技を繰る一戦こそは勝敗を別にしてもその觀賞價値は早慶戦に劣るものとは思はれない(山田生)

横専勝つ

關東高専蹴球 蹴球部第二部 リーグ第二部 横濱專門對東醫の試合は二十六日午後三時から東高球場で舉行5—2で横専勝つ

横専 5—2 11—2 東醫

蹴球日本の本 新しき進路

オリーブピクツ代表 堀江忠男

第一印象といふものは、非常に適確な場合もあり、全然當らないこともある。私の場合には、日本の蹴球が今後どんな方向に進むであらうかについて、ベルリンで我々

が最初に行つた練習試合を見ながら得た見透しが、大體正しかつたやうである
七月十四日 にツアツカ
といふベルリン市内の一クラブ

・チームと、我々の歐洲における最初の試合を行つた時、足を痛めて出場しなかつた私はベルリン到着後長途の旅行の疲勞も癒えず本調子を恢復して居ない日本チームが三對一で敗れたのを見て

本調子さへ出れば、必ず勝てるチームだが、それにしても彼等は我々に缺けてゐる二つのもの——圓熟した個人技術と余裕のある戰術的な判断を持つてゐる、我々が彼等よりずつとスピードイデイである代りに技術的に粗雑であり、戰況判断の稚拙なのと丁度對蹠的だ、我々の細かい低いパスとスピードに、彼等の持つ技術と戰術の圓熟とを附け加へることが、我々の今後進む可き方向であらう

それから後

六つの試合を我々は歐洲でやつて來たが、その結果學んだものは、大體右の觀察が間違つて居なかつたことを證據立てゝゐる
圓熟した個人競技——ツアツカ
との試合に、既に感じたこと

であつたが、その後、オリーブピクツの諸チームを設つてから、外國の一流プレイヤーの球捌きの自然さ、なめらかさには感心させられた、殊にペルー・チームの優秀なプレイヤーなどは、球の方で身體へ付いて來るやうな感じをさへ起させるものであつた、優勝したイタリーのプレ

つがある
一、歐洲や南米の蹴球團では、子供の時から球に親しみ、大人になつても球に觸れ、球と遊ぶことを楽しんでゐること——ベルリン市内の我々に割り當てられた運動場で、小學生達が我々の空いてゐるボールを使つて遊ん

等の姿勢や力の加へ方は實に無理がなく、無駄がない、球に對する慣れが我々とは段違ひである
二、彼等が常に芝生（或は少くとも草）のグラウンドで練習してゐること——歐洲を旅行すると到る處にグリーンの蹴球場を見掛ける、ベルリンでも、我々が

未完成な急調より

高度の戰術判断へ

ベルリン大會の體驗

イヤイが、球を浮かしたまゝ、抜ふ場合が多いので、背の低い、脚の短い日本人には施す術のなかつた場面も、口惜しかつた氣待と共に、はつきり覚えてゐるこのやうな先練された個人技術を

でゐる所を見ると、ヘッドイニングをやつても腦天などへは當てない、日本の大抵の中學校選手よりは自然な體勢でやつて居る、又、ペルーの選手等がオリーブピクツ村のなかのフィールドで、小さい圓陣を作つて頭と足とで、球をポン／＼渡し合つてゐるのをよく見掛けたが、彼

練習試合の相手に選んだクラブのグラウンドは、神巨のグラウンドより、やりよいものであつた、芝生のグラウンドと土のグラウンドとは、まるでプレイの感じが違つて、細かい巧緻なプレイは芝生の上の方がすつと楽に出来ることはいふまでもない、平常は土のグラウンドで

※次ページのと段につづく

練習して居て、一年に數回しか芝生を踏まぬといふ日本の現状では、この點に大きなハンディキヤツプが感じられる

私は日本人の器用さを以てすれば個人技術を世界的水準にまで高めることが、大して困難だと思はな

◇優れた判断 戦術——日本の蹴球は、不十分な基礎技術の上に、無理に、急調な攻撃を主眼とする戦法を作り上げて行つた

結果、歐洲で、スリー・バック・システムを採用する強力な敵にがつちりマークされると、直ぐ攻撃が行き詰まつて、パスの出し所がない場合が屢々あつた

歐洲の好チームは、このやうな場合、個人的な球の保持、突破能力、パスの正確さ等に於て、すぐれてゐるので、味方がすつかりマークされる、敵ゴール前の攻撃の行き詰りを、球を持つてゐる者の巧妙なキープやドリツピング、球のないプレイヤーの横目に適したポジションナル・プ

レイで巧に打開するのであつた歐洲のレフエリーが、キーパーに對するチャージを嚴重に取るので日本でよく見受けるやうな、行き詰まつた時にはチャージ・ボールを上げて、あはよくば、キーパー諸共（ならばまだ良いが、キーパーを先に押して置いて）ゴールへ叩き込まうといふ戦術が全然不可能なことも、敵ゴール前のフオーワードの動きを發達させた一因であらう

◇バックの守備 法において、世界の大勢が、より確實なスリー・バック・システムに據る今日、日本蹴球の攻撃法に今後殘された課題は、如何にして攻撃のテ

ムポに適宜な緩急をつけるかを研究することであらう 守備に際してセンター・ハーフをフル・バックと同列まで下げ

てセンター・フオーワードの突破に備へ、兩フル・バックを後顧の憂なく、積極的にウイングをマークさせるスリー・バック・システムを破るのには、急激な一點張りは無効であり、すく

れた個人的突破力と、強い正確なショットの能力を持つセンター・フオーワードを前出させる歐洲の諸フオーワードの攻撃を、四年後に東京で有効に阻止し得るためには、このシステムを採用せざるを得ないと考へられる

それから、小さいことではあるが我々のハーフなどがよくやる、味方のインサイドまでは届きさうもない球を無理にヘッドイングして敵のハーフに拾はれる——こんなことは、オリムピック参加國中の一流チームには見られなかつた

◇最後に總括 すれば、結局、今までの未完成的技術の上に立つた無理な急調からより高度な技術的完成の基礎の上での余裕ある變化に富む戦術を伴つたプレイ（ヘー

これが恐らく將來の日本蹴球界の進む方向であらう、そしてこれが爲し急げられるためには、芝生のグラウンドの建設と現在の審判の規模の多少の變改——殊に不正なチャージ、タックルを嚴重に罰すること——が必須であらう

關東大學蹴球リーグ第一部文理大對商大戦は二十八日午後二時半から明大和泉球場で審判伊藤（主）小山（中）三君で商大先蹴に開始、文大勝ち今季二勝二敗一引分けを記録し商大は二勝三敗となつた

文大、商大を破る

蹴球・松永會心のプレー

關東大學蹴球リーグ第一部文理大對商大戦は二十八日午後二時半から明大和泉球場で審判伊藤（主）小山（中）三君で商大先蹴に開始、文大勝ち今季二勝二敗一引分けを記録し商大は二勝三敗となつた

文大 7—2—11—2 商大

◇試合のスコアは豫想外に開いた、この開きの最大の原因は商大が文大のエース松永を野放しにしたのによる

松永は今リーグ開始以來始めて解放されてのびくとしたそのプレイと今までに培つてゐた彼の實力を遺憾なく見せた

商大バックスは前半余裕がなくゴールアウトすべき球を返したり、基礎的技術の不足もあつて専らタツチアウトに逃れるのに懸命だつた

GK吉澤のモーションはスタートの前に一回ステツプを踏むため身體が伸び切らずその好判断も僅のところ球に及ばない

◇前半はスコアの接してゐる割合には一方的ゲームとなつたのは商大バックは腰を引きすぎてゐるため球が右へ切れIW大掛を十分活用出来なかつたのと、従つて伸びの足りない球が悉く文大バック

の好餌となり味方のFWにキープレのチャンスがなかつた爲等である

◇文大バックは文字通り激戦であつた、點を與へはしたもののそれは商大の拾ひものの觀があつた前半の一點は商大角田が文大バックのエラーの球を拾ひ一直線にGK中垣内を目標けて「ゆつくり、ゆつくり」との掛聲のなかでゴール左上へキックしたのが偶然にもGKの弱點をついたものであつた

◇後半商大は速攻方針をとりよく攻め込んだが一本調子にすぎた觀があり、その間逆襲を食つてはゴールを許してゐた（高師慶）

掛枝田井井田山藤野木澤

大隈角金村森片後早鈴吉

關學大勝 〔大阪電話〕 關西學生蹴球リーグ關西學院對關西大學の試合は二十九日午後三時から甲子園南運動場で舉行、關學は神商大とともに引分三勝の同成績となり來る六日決勝戦を行ひ東西對抗は來月十三日行はれる事になつた

FW	HB	FB	GK	CK	FK	GK	FK
島下永輪川村田下探部							
7	3	14					

關學	6	2	0	1	關大
	4	1	0	1	

◇蹴球 神商大 4—2 神高商

廿八日の運動

◇蹴球 蹴球協會 2—0 明大

廿九日の運動

B▲高専リーグ横専 10—1 外語、東醫 1—0 東醫

東大無得点で敗れ

早稲田関東の首位

関東学生蹴球終る

関東大学蹴球リーグ戦尾の一戦早大東大戦は秋空高く晴れた二十九日午後二時から神宮野球場で演田(志)津田(伊藤)三浦(志)等が早大の先頭に陣し、四野等で早大勝つた

終つてリーグ閉會式を行ひ大東第一節早大、第二節明大、第三節中大、高専第一節一高、第二節青學高等部、第三節浦高、小學校模範試合の優勝校浦和第二小學校にそれぞれ優勝盃を授與した

早大 4-1-0 東大 3-1-0

審判 試合は後述通り早大の勝となつたがこの試合のヤマは強力無比な早大FWとバックに強いものゝない今リーグに珍しく巨人を揃へてそのウエイトにも技術にも第一位を占めると思はれる早大バックとの對峙にあつた

果敢帯大は對陣應戦に奮闘したFW野をLHに下げ、GKに喜谷を起用して守備陣を強化し終身の戦法をとつたこの方法は明かになりながら一面からFWの深込みの力を集めて攻撃の因をなしたと見られる

之に對し早大は對陣應戦で弱いとされたバックにも自信を帯て余裕を見せて戦に臨みR1西島もよく動いて従来の破行的攻撃に多くの修正を加へC下川本をして得点機を作らせてゐた

併し期待されたオリムピック土産のバントパスも、巧敏な足業による球のキープも帯大バックの早い突破と部厚なマークによつて潰され、充分その醜態味を味ふことは出来なかつた、併し早大の鋭さは前半一點をあげた直後の息もつかせぬ強襲にその片鱗を見せ更に後半比較的平凡なチャンスを得て三點をあげた所に比類のない確実さを示した

元來早大FWの球のキープは完成された個人技と機に臨んで好位に進出して突破の機をねらふ敵友との完全な理解によるもので若し早大以外のチームで演習するとすれば寧ろ苦戦の餘りを免れな

早大以外の名を成した早大バックは朝に戦つてよく守り、兩サイドFWが中央に寄りC下川本の後衛に守られて危げのないブ

レイを預けたが、FBにはバックとしての基本的なキックに不足があり、意外な時にタツチアウトに送れるといふ消極的プレイが見られた、帯大に許したCK四のうち三はこれに原因してゐる事は三省の裏があらう

帯大FWの無力は大助な時にミスキックがあつたりして無得点

成績表

6 東大	0 0 0 2 0 X	5 5 1 4 0
4 東大	2 0 0 0 X 2	5 2 2 3 0
4 東大	0 0 2 X 2 0	5 2 2 3 0
3 東大	0 1 X 0 2 2 2	5 2 2 2 1
2 東大	0 X 1 1 2 2 2	5 3 1 1 1
1 早大	X 2 2 2 0 2 2	5 4 1 0 1
早大	東大	合勝負分定
		8 7 6 4 4

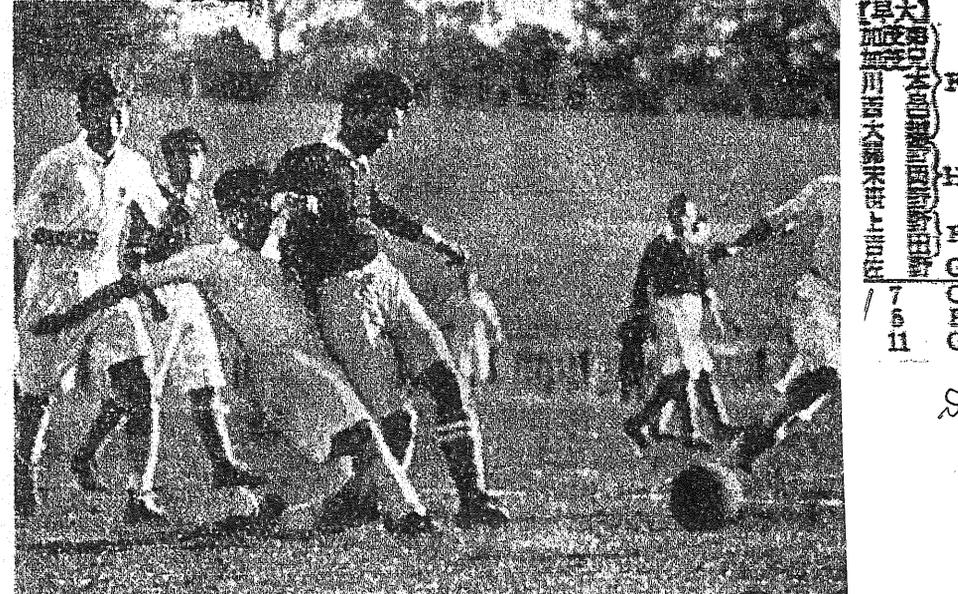
は巴むを得ぬがチャンスらしいチャンスは後半八分のCK一つだけといふのは情ない

のタックルを受けながら好機し遂にゴールを圍り均衡を破る、直後早大は西島川本のパスに重ねて好機を迎へたのを藤田清り込んで演田に西島のパスを加えて帯大に川本がアウト▲二十一分には川本文もや獨走の機を掴んだが藤田菊地折重なつて演田に演田の攻撃に東大好守の應酬となる▲二十三分東大は藤田のパスを早大吉田返すのを沖とつてシュートしたが高くアウト▲三十五分東大右CKを得て藤田のキックを前進したLH藤田ヘッドしたが空し▲四十一分早大左サイドのスロインから加茂兄、西島、川本と廻り川本熱闘に抜け出たが東大バック人垣を作つて防ぐ、一對零東大好防して前半を終る

後半 二分東大は右から進み前進した早大GKの留守をついたが空しく早大逆襲して川本西島とヘッドに攻め東大CKに送れ、ばこのコーナーを早大C下川本ヘッドに接め二對零となる早大押し返して▲八分左CKの好敵を早大GKチエツクされて開れる頃に東大R1阿部よくヘッドしたが僅かにオIパーして惜しいチャンスを取す▲十二分早大は加茂兄のパスを川本とつてクリントン、シュートし

十一分帯大はLWが好からのクロス、パスで早大ゴールを襲ひ藤田の返撃を神速に込んだがGK佐野奮つて遂行▲三十七分早大は西島のパスを得て進んだ大藤シュートしたが裏合よく捕へ▲四十三分早大は最後の攻撃で左側から出た藤田川本得て強襲球にゴール右隅を破り四對零、早大勝つ

FW	7 5 11
HB	
FB	
GK	
CK	4 2 18
FK	
GK	



早稲田蹴球... 前半二十一分東大ゴール前で東大R1菊地



◇：明大蹴球部の明年度役員は左の如く決定した
△主將鈴木

思男△委員官里真輝、本宮守男、井出政利△補助委員石川整治、中島秀夫

◇：ベルリン・オリムピック調査員麻生武治、籠球代表選手田中秀次郎、蹴球コーチ竹腰重丸の三氏はベルリン大會後歐洲各國を旅行中であつたが三十日朝歸京した

S 11.12.1

國際蹴球戰 【ハイブリ

ー・メンデー二日發同盟】二日行はれた國際蹴球戰の成績左の如し

ウエ 1 2 — 1 蘇 蘭
ル 6 — 2 匈 牙 利

S 11.12.4



◇：各競技部の明年度役員の決定せるもの左の如し

◇：【大阪電話】關大蹴球部△主將上吉川梁△マネージャー武本邦彦

◇：東西兩帝大主催第十四回全國高校蹴球大會は恒例により明春一月元日から六日間に亘り京都府府立公園球場で行はれるが申込締切は来る十五日まで京大蹴球部にて

S 11.12.8

神商蹴球優勝

【大阪電話】關西學生蹴球の覇權を決する關學對神商大の再試合は六日午後三時から甲子園南運動場で行、神商大は關學を破り初の覇權を獲得十三日關東の覇者早大と見えることとなつた

神商大 4 (31-0) 1 關學

六日の運動

◇蹴球 YCAC 4 — 2 早高▲實業團リーグ慶應病院 2 — 0 日本徴兵、東京ガス 5 — 0 軌研、興銀 4 — 2 淺野セメント▲關西學生入替試合神高商 (一部) 6 — 2 同大商 (一部)

S 11.12.7

外語二部から

關東高專蹴球リーグ二部最下位決定戰東窗對外語戰は八日午後二時半から和泉球場で舉行五對二で東窗勝ち、外語は米シーズンより三部に降格することになつた

S 11.12.9

本社後援 中等蹴球大會

廿五・六日神宮で

關東府縣對抗

本社後援關東蹴球協會主催關東府縣對抗中等學校蹴球選手權大會は第四回大會を來る廿五、六の二日間明治神宮外苑競技場において開く事になつた、一府七縣の東京府、神奈川、山梨、千葉、埼玉、茨城、栃木、

群馬の諸縣から選抜されて八地方を代表するチームは近日中にいよいよ決定するが地元東京府は九月以降リーグ戦と第二次豫選と二次に亘つて篩をかけた慎重な選出振り、その他各地區も夏季休暇から早くもこれに備へて嚴選主義を採り郷土の名譽にかけて制覇の意氣に燃えてゐる

S 11.12.9

早大か神戸商大か

十二日東西蹴球戦

東京 大阪 電話

豫想問答

蹴球日本のNO.1を決定する東西學生優勝校對抗戦は關西方が關學、神戸商大が三勝一引分の同成績となり、再試合で優勝を決定したため六日の豫定が變更されていよいよ来る十三日甲子園球場で行はれる、昭和四年この對抗戦が創始されてから既に七回の歴史を繰り、この三年連続關東代表として出陣し堂々たる優勝の譽れを擧げ早大が四度登場の新記録を掲げて西下するのに対し、關西は較龍神戸商大が先進京大、關學の重壓の下から乾城一擲、初の制覇成つて激撃する事になつてゐる、オリムピックの精鋭を各ラインに配して無敵を誇る早大が連勝するか、粒々辛苦今日をなした神戸商大が先進チームが今日までに遂げ得なかつた關東打倒の功業を、關西の敗戦歴史にとめる事になるか、關東側からすれば早大の快勝が豫想され、關西の試合を見てゐるには神戸商大に新しい大きな希望がかけられてゐる、東京、大阪間の直通電話を以て一應打診して見る事にした

A 「神戸商大を押し立てて行くのに關東も油断は出来ずまい、FW線の左から大谷、前川、島と並んだ所は早大の加茂弟、加茂兄、川本と遜色はないでせう、圓熟した技術と快足これが早大の3FBシステムを衝き破つて無傷を誇る早大ゴールに汚點を印す事になるでせう」

B 「さうなると試合内容も豊富になるだらうがそれは絶対に豫想し得ない、左右の不均衡は似てゐてもその技術に於て格段の相違がある、左側が似てゐる伯仲のもの、右側が似てゐない伯仲のもの、と見えても東西方に教へる数々の

A 「神戶商大は勝手知つた甲子園に激撃の利がある」

B 「それもあらうが不馴れから来る不利の條件を克服するだけ早大が優れてゐると信じてゐる」

A 「試合を見てからといふ事にして……そこで守備線は……」

B 「オリムピックFW線を向ふにして神戸商大は如何にして應ずるか」

A 「若くは川本をキエックした後にGH木下が後退と引野、若江と共に3FBシステムを採るであらう、對關學戦には完全に近いまでに成功してゐる」

B 「早大と關學、川本と野澤と對比するのは既に遠算ではないか」

A 「絶対不抜とは断言出来ないが木下の執拗さは當代随一のゴールゲッター川本の威力を相當殺げるものと期待する事が出来る」

B 「加茂兄、川本、西島のセンタースリーの變化に富める攻法に眩惑される事を豫期せねば或はさういふ事も言へるだらう」

A 「吉江の濃厚な守備範圍と堅實なそのプレイが後に控へてゐるから木下は気軽に臨めるだらう、バックマンは體力が優れてゐる、ここにも頼もしさがある」

B 「前半は兎も角粘りある早大FW線の攻撃を持て余すと思ふ」

A 「では早大の守備線……」

B 「壁の様な守備線とはいへない然し出来はあつたにしては應應のFW線をノウ・ゴールで抑へてゐる、勿論これは前線のボールの確保力から必然的に余裕を持つ事が出来てはゐるが……野澤、關野に救援する加茂兄、西島の後退、上野、末岡、吉田と並んで預し切れないとすれば佐野が控へてゐる、神戸大の攻勢はそれと見ても、神戸大の攻勢はそれと見ても、神戸大の攻勢はそれと見ても……」

A 「捕球は確實だが動作が緩慢の嫌ひがある、凡ゆる角度から放つ早大の巨彈をこの最後の線で防ぎ得るかどうか、要は事前工作にあると思ふ、HB線とFB線と行田との緊密な連絡……」

B 「早大は守備が弱いといふ評判(事實は早大も認めてゐる)をたてられてゐるので気分の上ではシツクリ合つて來てゐる、派手なところはないが鈍重のうちにも堅實さが認められる、コンクリートの壁とは言へないだらうが障子位のところは行ける、そして其障子のかげには佐野といふわけ……」

A 「どうも概観したところ神戸商大には歩がないといふ事になる」

B 「横綱玉錦と三役どころの相撲といつた様になつて來たが甲子園の地の利と負けると思つたら決定的の儘破で速二無三行く事をせねばならぬわけ……ですか」

B 「早大の警戒せねばならないのはその點でせう、早大も慎重に構へてゐるから好調の波に乗れば妙技を以てスタンドの觀衆に蹴球の醍醐味を満喫させ魅了し去る事になるでせう、攻撃振りには未だかつて見ない巧味のある圓熟したものですからこの點期待願ふ事にしませう」

A 「神戸商大は零敗の豫想ですか」

B 「早大が實力を發揮したら零敗十點位の差を作ると信じます」

A 「それは余りに神戸商大を輕視してゐる、無傷を誇るそのゴールに一矢ならで數矢を放つ……と見てゐる、何は兎もあれ十三日の會戦といふ事にして……」(三電二郎、山田午郎)

A 「絶対不抜とは断言出来ないが木下の執拗さは當代随一のゴールゲッター川本の威力を相當殺げるものと期待する事が出来る」

B 「加茂兄、川本、西島のセンタースリーの變化に富める攻法に眩惑される事を豫期せねば或はさういふ事も言へるだらう」

A 「吉江の濃厚な守備範圍と堅實なそのプレイが後に控へてゐるから木下は気軽に臨めるだらう、バックマンは體力が優れてゐる、ここにも頼もしさがある」

B 「前半は兎も角粘りある早大FW線の攻撃を持て余すと思ふ」

A 「では早大の守備線……」

B 「壁の様な守備線とはいへない然し出来はあつたにしては應應のFW線をノウ・ゴールで抑へてゐる、勿論これは前線のボールの確保力から必然的に余裕を持つ事が出来てはゐるが……野澤、關野に救援する加茂兄、西島の後退、上野、末岡、吉田と並んで預し切れないとすれば佐野が控へてゐる、神戸大の攻勢はそれと見ても、神戸大の攻勢はそれと見ても、神戸大の攻勢はそれと見ても……」

A 「捕球は確實だが動作が緩慢の嫌ひがある、凡ゆる角度から放つ早大の巨彈をこの最後の線で防ぎ得るかどうか、要は事前工作にあると思ふ、HB線とFB線と行田との緊密な連絡……」

B 「早大は守備が弱いといふ評判(事實は早大も認めてゐる)をたてられてゐるので気分の上ではシツクリ合つて來てゐる、派手なところはないが鈍重のうちにも堅實さが認められる、コンクリートの壁とは言へないだらうが障子位のところは行ける、そして其障子のかげには佐野といふわけ……」

FWが戦局支配

強力早大を迎へ撃つ神商大

けふ東西蹴球争覇

【大阪電話】 東都代表の早大が更に光輝ある勝利を擲るか、それも更生の意氣高らかに燃え立ち蹴撃の地に恵まれた神戸商大が關西不振の殻を破つて初の功業を達成するか、あらゆる角度から多分の興味を盛る東西優勝校對校早大對神戸商大の蹴球試合は今十三日午後二時から甲子園運動場に於



(上)大早本川
將主大商神谷大

て開催される、早稻田大學は十一日早くも大阪、十二日まで晴れの會場に出いて慎重な練習に準備を整へ一方神戸商大も亦最後の整調成り満を持して待機して居る、晴れの争覇の前に兩チーム主將にその秘策を聞く

神商大 大谷主將談
早大はオリムピック選手を六名

も揃へて居るので中々強くどうしてもおされるだらうとは覺悟しては居ますが、併しFWラインは頗る好調ですから逆襲によつて一氣に攻め破る自信を持つて居ます

▼バツクは對關學戰と同様にエヴリー・マン・マークのシステムを取りますが余り飛び過ぎないでシユートینگ・レンジ邊りでびしくと潰す積りです若し早大に眞正面に打つつかつて行くと引け目を感じますが早大の得失に就いても相當研究しましたからその短所を衝くべく作戦を凝らして居ます

早大 川本主將談

關學であるならば今まで度々試合をしたことがありますので同チームに關しては能く判つてゐますが、神戸商大との試合は初めてであるだけにチーム全體のことは能く判りません

▼大谷 谷前川君等は東西選抜試合の時に顔を合はせたことがありますが中々強い選手だと思つてゐます、神商大の強力なFWの左側に對しては別段これといつて特別な守備陣は布かない積りです、オリムピックから歸つてからバツク陣もしつくりと纏つて來ましたし、又抜かれれば抜かれた時で何んとかやつてくれると思ひます

實業團蹴球リーグ (第二日)

實業團蹴球リーグ第二日は十三日午前十時から戸山學校球場で三試合を舉行

日本徴兵	0	2	1	三共製藥
東京ガス	1	3	1	海軍省技
マツダ	4	6	2	術本部
ソノ	4	0	2	後野セネ

十三日の運動

蹴球 【京都電話】 京都蹴球選手権決勝

京 大 2 — 1 同志商社



◇…オリムピック蹴球チーム主將竹内佛一君はオリムピック大會終了後各地を見學旅行中であつたが十二日淺間丸でレスリングの丹波主將と共に關朝の管

東西學生蹴球爭霸戰

神商大後衛の好防

早大に善戦し惜敗

關東辛くも四連覇

〔大阪電話〕 全日本學生界のナメ

バー・ワンを決する東西優勝後の
對抗早大對神戸商大の蹴球試合は
十三日午後二時から甲子園南運動
場で市橋(主)渡邊、川本(線)三君
審判の下に神戸商大の先鋒に開始
曇天なれば殆ど無風でグラウンド
は稍濕りを帯びてゐたが先づ良好
なコンディションであつた、兩
軍接戦の末遂に3—2で早大勝
ち、四回全國制覇の偉功を擲てた
早大3(1—1—0)2 神商大

早大評—山田千郎

◇…早大は東西對抗における關東
の面目と四連覇の記録を辛くも樹
立したが今シーズンに入つてハス
トメムバーを敷いて後の試合とし
ては其内容の最も低調であること



後半廿五分神商大左コナー
キツクヘデツイゲン防

勝れた所に勝利を捉へ得たに過
ぎない、早大は未知のこの相手に
對し見極めたことは微塵もな
く全力を傾けて戦つたのだ、
しかし中心勢力の試合疲れの結
果が制球力は亂れてゐたし判断
においても正鵠を失してゐた、
精巧を極めた多角形の攻法はそ
の片鱗を見せただけで商大の力
圖と相俟つて盛らるべき試合内
容を欠くに至つた

◇…攻勢の圓滑さを取戻すべく西
呂と加茂兄、加茂弟がそれぞ
れ入替つては見たが効果を招來せ
ずに止んだ、我等が物足らなさを感
じたと同様に早大も意に滿たぬこ
の一戦ではなかつたが、神商大の
力戦奮闘、早大の不調といふに盡
きる試合であつた

神商評—三宅二郎

◇…神商大は前半一點の重荷に少
しも應ずるところなく後半開始後
三分にして大谷の判断よき快技に
よつて一點を挽回し同點としたが
大谷はシュートの直前つまづいて
右足を痛め一時退場する悲壯な場
面を見せた、大谷に期待するチー
ム故彼の負傷によつて全員の士氣
の上に甚大な影響を及ぼすかと危
まれたが案外その懸念は解消して
戦ひ、勝利を把握しなかつたとい
いへ名にしおふ早大に對するその
善闘振りは見事なものであつた

に追捲り又3 F B システムを棄
て、深く門をなしたF B はH B
の洩れた球をよくカバーして危
地を脱し殊に吉江の動きは見上
げたものであつた、G K 行田の
捕球は先づ無難ではあつたが進
出の時機を逸し勝ちでその點早
大佐野に比し確かに大きな差が
あつた、何れにしてもオリムピ
ック選手四選手を第一線につら
りと並べた猛者達の強攻を僅か
三點で食止めた守備振りは絶讚
に値する

◇…FW線は對關學戦と同様に一
度前川でキープして右へパスし
更に相手ゴール前で左へ返し大
谷サイドで得點するといふ策は
圖に當つてノーゴールを誇る無
傷の早大ゴールを割り得たのは
バックの健闘と共にその功績は
大きい、ゴールゲッターとして
の大谷はこの日も快蹴して二點
を奪ひ聲名を更に高からしめ
た、負傷後の動きは兎も角とし
て前半得點を焦り過ぎる内側
へ入り込んだ癖ひはなかつたら
うか、これがためいつもの奇襲
の度を少からしめたやうであつ
た精力絶倫の前川の前後の動き
は相變らず執拗でピンチを切抜
ける役割をよく負じ、右側のみ
に備せず横に應じて大谷へ放つ
パスワークはなかくさえたも
のであつた、併し余りボールを
持ち過ぎて折角攻撃への端緒と
思はれる際も潰されたのは惜し
まれた、島は快足を利する機に
悪まれなかつたがR I 佐野の攻
防への進退は見上げたものであ
つた

※次のページにつづく

戦績表と試合経過

を示した、バックスの不調に乗じ
て神商大が大谷が傷付かず前川の
果斷のパスに攻撃的變化による攻
撃密度を濃厚にするものがあつた

ならば或は早大が黒星を背負ふこ
とになつたかも知れない
◇…對慶大對東大の試合を見た眼
には川本のプレーのみが印象づ

けられその他は全線に朝氣も乏
しく球捌きの滑かさは全く見ら
れず早大の持味十分發揮され
ず唯だ個人技の神商大に比して

※前回のページからつづく

「東西学生蹴球争覇戦」

東西對抗戦績表

關東	西
關東蹴球協會主催本社後援第四回 關東中等學校府縣對抗蹴球選手權 大會は既報の如く来る二十五、六 の二日間明治神宮競技場において 開催されるが一府七縣を代表する 精銳も愈左の如く決定を見、會 期も一週日の後に迫り關東の王座 を巨魁けて籍任を賭みしだき猛練 習を積んでゐる、榮冠は前回の覇	西 學大學 大 大 大 大 大 大 大 大 關 關 關 關 關 關 關 關 2 1 2 1 2 0 2 2 8 2 2 2 5 6 1 2 3 大 大 大 大 大 大 大 大 東 東 東 東 東 東 東 東 年 年 年 年 年 年 年 年 四 五 六 七 八 九 十

試合経過

◇前半 四十二分早大は加茂兄弟の好聯絡で加茂兄弟深く出で決定的な機會となりシュートしたがゴール直前を掠めてアウト、四十二分加茂弟一加茂兄一川本の聯絡に出で川本の放つた第一球はG K行田のクリヤするところとなりこれを拾つて遂に得点す

◇後半 二分神商大はL I前川苦心の逆球をL M大谷受けて正面に廻しクリン・シュートし得点1-1同点となる△九分早大はR I西邑のパスを受けてC F川本無造作の得点に2-1のリードとなる△二十四分神商大はL I前川の

パスを早大バックスクットを損じR I磯野受けG K佐野進出の際に洩れた球を得た大谷フリーシュートして得点二対二となる△三十分早大はR I田野野強引のドリブルで左前に出で小さく前進するをC F川本シュートして三對二となる

【神商大】
谷川 野田村下野野江田
大前 磯野今木中川吉行
FW 4 4 11 0
HB 4 2 2 1
FB 4 2 2 1
GK CK FK GK PK
弟兄 4 2 2 1
茂後本島越野岡野野田野
加加川西大笹末關上吉佐
【早大】

S 11-12-14

八代表が争ふ

關東中等蹴球の王座

廿五、六兩日神宮で

關東蹴球協會主催本社後援第四回關東中等學校府縣對抗蹴球選手權大會は既報の如く来る二十五、六の二日間明治神宮競技場において開催されるが一府七縣を代表する精銳も愈左の如く決定を見、會期も一週日の後に迫り關東の王座を巨魁けて籍任を賭みしだき猛練習を積んでゐる、榮冠は前回の覇

考豊島師範が邀撃の利を再覇に導くか、非崎中學が優勝の大旗を甲府盆地に翻騰とひるがへすか、はた新銳宇都宮中學が藤岡中學、埼玉師範、湘南中學、千葉師範、茨城師範等の先進強豪を所目にかけて稱覇の業を完成するか、關東中等蹴球界掃尾を飾るに相應しく十分の期待をかけ得るビッグ・ミート

である、各府縣代表左の如し

- 【東京】豊島師範【埼玉】埼玉師範【千葉】千葉師範【茨城】茨城師範【神奈川】湘南中學【山梨】非崎中學【群馬】藤岡中學【栃木】宇都宮中學

S 11.12.19

十九日の運動

- ◇ラケビー【神戸電話】同志社大學 14—0 神戸外人
- ◇ホツケー【神戸電話】慶應 大 4—3 神戸外人
- ◇蹴球【横濱電話】YCAC 3—1 農大

S 11.12.20



◇：東商大蹴球チームは三商大リーグ戦出場のため来る廿六日東京驛發列車で西下、甲子園スポーツマンホテルに投宿、廿八日は對大商大、卅日對神商大戦を何れも午後三時から甲子園球場において舉行する事となつた

S 11.12.16



◇：東京、神戸、大阪三商大主催全國高商蹴球大會は十二月三十日甲子園運動場にて開催されるがこれに先立ち二十五日から四日間大阪商大グラウンド（決勝は甲子園）で關西豫選大會が舉行される

S 11.12.18



◇：商大蹴球部明春卒業選手就職先は左の如く決定した
淺枝彦太郎（朝鮮無烟炭）荒井文雄（東西電球）角田昇（三菱商事）森田昭之（三井礦山）田島輝重（東京瓦斯電）

◇：東京工大主催第八回全國高工蹴球大會は来る廿六、七、八の三日間工大で開催される、参加校は仙台、廣島、濱松、横濱、神戸、名古屋、山梨、東高藝の八チームで組合せは廿五日決定される筈

S 11.12.20

關東中等蹴球代表打診

烈々の闘志

栃木縣—宇都宮中

栃木縣代表として新設宇都宮中學が初登場する事になつた。去る十月二十五日行はれた豫選において烏山中、足利中、今市中を3-0、6-0、5-0で粉砕し去つた宇中の球史は淺い。大正十五年球史の第一頁を繰り展げたが地元で評判される宇中魂が凝つて今日を築き上げたと言はれてゐる、環境に恵まれぬ

ため技術的には大きな期待はかけられないがイレヴンの滿々たる闘志が凝つて一丸となる所に宇中の底力がある。八月三日行はれた浦高主催の大會で埼玉師範のため1-0の惨敗を喫したのであるが九月十二日水高主催の大會で再び相見え1-0の

=(1)=

惜敗とまで漕ぎつけたものは宇中魂のあらはれといへるだらう。僅月余にしてこの戦績を収め得たものは球界の一大驚異であり、このチームを迎へる事は本大會の大きなホープでもある。

昭和八年以來第一線に活躍する石總主將を中心として霧解けの悪コンデションを物ともせず統制と粘りあるプレイに目標を置いて練習怠らない宇中イレヴンはこの初舞台において三度埼玉

師範と會戦の機會に浴する事を切望してゐる。

技術的にはこれと言つて取立てる程の事はないが上級生で體格も優れてゐるこの初見参のチームは如何なる足跡を残すであらうか。

個人技に中心點

群馬縣—藤岡中學

蹴球不毛の地群馬縣から代表として出陣する藤岡中學は縣内無敵で推薦されたがその實力を試みるにも全く方法がなくチーム・ワークの洗練と完成に大きな悩みを抱きながらと屹々と個人技の完成を期

- FW (4) (5) (5) (2) (4) (5) (4) (5) (4) (4) (4)
- HB (4) (5) (4) (5) (4) (5) (4) (4) (4) (4) (4)
- FB (4) (5) (4) (5) (4) (5) (4) (4) (4) (4) (4)
- GK (4) (5) (4) (5) (4) (5) (4) (4) (4) (4) (4)
- 補欠 (4) (5) (4) (5) (4) (5) (4) (4) (4) (4) (4)

してゐる。偶々本年は三ヶ年計畫の第一年にあつてゐるので自信もないと言つてゐるが佐藤部長統率の下に井田主將を中心として第一學期は夏の二週間の合宿練習に備へるため體力、走力の養成に全力を注ぎ第二學期に入つてからは基本的な個人技に重點を置

いてコンペネーション・プレイの完成に力をいたして來てゐるこの實力は試合記録のないため検討するを許されないがこの處女試合も總じて選手が若いので相手に吊られその實力をあらはし得ない憾みがある様に思はれる。

相手に吊られる事がなければ規則立つた練習を積み十氣も旺盛であるからこゝに強味が凝つてゐるとも見られてゐる。

- FW (3) (3) (4) (2) (3) (4) (5) (4) (4) (5) (3) (1) (1)
- HB (3) (4) (2) (3) (4) (5) (4) (4) (5) (3) (3) (1) (1)
- FB (3) (4) (2) (3) (4) (5) (4) (4) (5) (3) (3) (1) (1)
- GK (3) (4) (2) (3) (4) (5) (4) (4) (5) (3) (3) (1) (1)
- 補欠 (3) (4) (2) (3) (4) (5) (4) (4) (5) (3) (3) (1) (1)

關東中等蹴球代表打診

(2)

堂々の貫祿

山梨縣——葦崎中學

山梨代表はまたも非關中學、甲府盆地の一角に名乗りをあげてから數年を出でずして一躍蹴球界の名門として讀へられるに至り然も本年は黄金時代

を吐く様な練習が續けられてる。スタートは拙い癖ひはあるが一度好調の波に乗れば必ず鋭く物凄さどのラインも大學級にも匹敵する程に整つてゐてそのプレイは全く

FW (4)5(5)3(4)5(4)4(5)5(3)3(2)
 (4)5(5)3(4)5(4)4(5)5(3)3(2)
 一淳平 徹文 美男 郎 匠 一 進 武 景 治 久
 泰 芳 繁 靜 太 森 切 光 良

倉山 木 林 村 林 川 水 田 田 刀 野 根 海 倉
 小 中 鈴 小 上 小 吉 清 細 小 功 飯 中 新 日

FW HB FB GK 補欠

攻撃に異色

神奈川縣代表は春、秋の縣下中等學校蹴球リーグ戦に於て再度優勝の榮冠を獲得した湘南中學チームが神奈川縣蹴球聯盟から推薦されて代表となり引續き出場する事になつた

神奈川縣は從來練習師範が斷然

ソツがない、判断の正確と個々の巧味、張り切れさうな體力と備々たる闘志、岩崎部長を迎へてこゝに十年、師弟のこまやかな情愛……これが必ず實を結ぶであらうとは非中フアンに見るところである

- FW (5)4(5)5(4)4(3)5(5)5(3)
 (4)5(5)5(4)4(3)5(5)5(3)
 郎一 雄二 雄三 雄四 雄五 雄六
 三 桂 光 禮 春 幸 孝 豊 博 嘉 太
 悅 田 野 草 田 木 嘴 熊 口 口 田 田 田
 太 椎 佐 増 給 三 小 田 山 吉 園 吉
- FW HB FB GK 補欠

物凄い得點力

茨城縣代表は茨城師範が常勝の名を手にしてまたも登場する事になつた、十一月末から行はれた縣體協主催縣下中等學校大會では第一回戦に於て往年の雄水海道中學を4-0で却け、水戸商業を第二回戦に於て3-0で破り決勝戦は茨城工業との間に行はれたが6-0で降してしかもノウ・ゴールといふ無敵振りを示した

水戸高校主催の大會では豊島師範のため惜しくも3-2で敗れ

- 桐生高上の大會では埼玉師範のため2-1で共に決勝で無念の涙をのんでゐる
- 四月以降九試合を行つてゐるに過ぎないが37得點の5失點といふ物凄得點力を藏してゐる
- 假令豊島に敗れ埼玉に退けられはしたといふものゝその力量は侮り難い、小島部長、四倉主將のいふところを綜合すると體格のすぐれてゐることと走力の強味から来る出足の速さが第一にあげられ豊島、埼玉に對し苦い經驗を積んだ結果は小心な技術に大膽なプレイといふ鐵則の下に注意に注意の拂はれたフットワークに相當の自信があるらしく見受けられる
- 原 倉 木 山 倉 林 川 毛
 立 坂 茂 田 四 小 石 市 井 上 之 入 村 田
 瑞 房 俊 勇 貞 誠 達 清 國 昌 千 裕 夫 一
 瑞 房 俊 勇 貞 誠 達 清 國 昌 千 裕 夫 一
- FW HB FB GK 補欠



郎午田山

今年度の 蹴球界回顧

〔上〕

輝く伯林の收穫

球史に残る瑞典撃破の大功績

目に立つ興亡浮沈

蹴球界年内の行事としては押し迫つて行はれる關東中等學校府縣對戰、選手権大會と三回大リーグ戰を、四年連覇の新記録を掲げた事によ

三日南甲子園球場で行はれた東西學生優勝校對抗戰において早大が度の大會は、いともなくオリムピック大會といふ年来の願望の叶ひへ

一段落とつけた、應州は去る四月

ルリンに代表チームを送るなど多事多端、しかもこの開れのオリムピックにおいては全歐に勇名を馳せて優勝候補に數へられてゐたスエーデンを打捨り金的を射落し、第二回戦に進んでは遂にイタリーのため制覇への途は無慙にもうち砕かれたが蹴球日本の威力を發揚する事が出来て球史に光輝の一ページを掲げ得た記念すべき昭和十一年であつたといへよう

東は慶應が松丸、塚部の先輩を交へて慶應B R Bで登壇し合せて五代表を迎へて行はれた

赫々たる球史を誇る中國地方では九州、北陸、北海道の代表不参は毎度の事ながら初のオリムピック代表チームを鞭撻歡送する六月を選んで行はれた全日本選手権大會としてあまりに物寂しいものであつた

新

陣容を帯いて間もない四月輔仁大學軍を迎へたが研磨よりも交際の意味が多分に含まれたものであるに過ぎず開幕を告げる鐘の如きものであつた

勿

論會期について種々意見の存するところであらうが一年を通じて球界の狀態を撮取る唯一のこの機會、これは協會當事者と共に球人それ自體も勘考せねばならないものである

春の行事として取立てゝ語るものは何と言つても第二回全日本選手権大會である

遠く朝鮮を代表して曹成專門を迎へ北は東北學院俱(東北代表)南からは關東(關西代表)名古屋(東(東海代表)の馳せ名地元隊

これが當然の歸趨にしてもその落魄の姿を親しく見れば東海球界の華やかな盛況の姿を追はせし居る

※ 次のページにつづく

※前のページをウツク

るまい

東北は刺戟之しいたためにそれは批判の外にありといふ事も出来ようが東海の場合はあたらす、敗れた名古屋薬専のみを責めるもあたらす、浮沈興亡はあらうとも先づ八高の猛省を促し東海の蹶起を要望して置かう

一 般に豫想された如く晋成専門、關學、慶應B R Bの鼎立

で覇權は争はれた、決勝戦に恨みを呑んだ晋成専門、この晋成専門に準決勝戦で試合を延長戦に運びながら長蛇を逸した關學、力量は伯仲といふを得ないにしても運、不運によつて勝敗が決した感が深かつた

勿論覇權を握つた慶應B R Bは有利な条件を反古にせぬ試合の巧みさを見逃しはしないが、この試合には限りぬ事であるが晋成専門はあまりに勝を急いで失敗した憾みが多い、これは整々のおぼろげな事であらう

スエーデンを破るの飛電を手にしたのは明けるに早い八月五日の拂曉であつた

前

半0—2の頹勢を後半に入つて挽回したその底力、この貴い一勝は三十余年の血と汗とで綴る球史の結晶たゞ一念、倒れて後に止まん氣魄の賜物で遙かベルリンの空に向つてたゞ感謝の思ひを寄せず居られないものであつた

球界の現状からすればこの一勝こそはイタリーの優勝にも匹敵すべきものであり光輝燦たる業績として讃へるに十分のものである

井睦の懸念なきにしも非ずであつたがこの結果によつて世界制覇は遠しと雖もその水準に達せるを知り得た

二

それがオリムピック初陣の第一の收穫として數へ得るものである、従来も舞台は小さくあつたにしても極東選手権大會の國際的のものであり代表チームを送る機会があつたが経費その他点から力なれ腕なれし余裕が興へ

られなかつた

そのため一步祖國を踏み出せばより以上上達を策する事は覺束ないとされてゐたのであるが今回は大會まで相當の期間を残しこの點數はれるところがあつた

練習期間の多いといふ事はプレイを十分享樂する事に導き得て個々の完成が得られた、この技術的の成功は知らず識らずのうちに精神の融和協調も生んだ

殊に選抜チームであつて懸念されてゐた事は長期の練習と轉戦に依つて全く解消したやうに聞いている

渡

歐と共に立派なチームを完成したといふべきで選手個々の完成といふ事が第二の收穫として數へ得ると思ふ

3 F B システムその他多角的攻法等も勿論擧げられるであらうが従来もこの3 F B は實戦の上に必要な迫られて廣く散見したところのものあり特に新しい型といふ取まての程な事は無い

明確に形態づけられてゐるこの型をこの度の土産として検討玩味すべきであるといつても差支なからう、多角型の攻法に至つては個々の上達を期すべきだけの問題で改めて取り立てる程の事はない

孰れにしてもリフアインされたフットボーラーに仕立て、歸つて來た事、これが收穫と要約する事も出来ようものである

秋

リーグ戦の開幕をつなぎ合わせるのは全日本中等學校選手権である、東日本の興望を擔つて駒を進めた非崎中學が鐵運に恵まれた廣島一中のため可惜兜を脱ぎはしたが傳統を誇る神戸、廣島地方に育まれたそれと比べれば甲府盆地に孤壘を守る非崎中學のこの異常の躍進は以て範とするに足るものがあらう

廣島一中の稱覇も稍沈滯氣味の中國球界にとつては一服の清涼劑以上のものである【カワト】の早真はオリムピック代表早打廣大戦】

今年度蹴球界回顧 [下]



渾然たる早大

慶明に惜しまるゝ精神的弱點

警鐘を鳴した神商大

オリムピック代表チーム派

試合の機会に恵まれて活れど、星の準備のために春早くから練習。そのためにシーズン全般を閉鎖

関東、西の大学高等リーグ戦は九月末から約一旬に亘って行われた

て見ると案に相違して春の期待は裏切られた感が深い

尤も例年になく春としてチームの整備が早かつたのに對する測定のおやまりがあつたところにも裏切られるに至つた因が潜んでゐたのかも知れないが

早大がオリムピック・チームに獻げた七代表を迎へぬ間に商大と願合せてこれを喪つたのは早大としての實力を云々するにはあたらすとはいふものゝリーグ戦冒頭のこの結果は此シーズンの波瀾曲折を豫想せしめるに十分であつた、所がシーズンが深み行くに連れて意外にも

東大 が慶大を制し切れず却つてその軍門に兜を脱ぐといふ結果を招來し更に慶應が文大と引分けでビッグ・スリーとして目され

早大の準備不足は、シーズン前半に於て半日を、思はず揚げると云ふ、早大の混乱と云ふ、早大の準備不足

く豫想せしめぬところに新しい興味津々として湧いたのであつた

事實はオリムピック七代表の歸參を迎へて陣容強化の成つた早大が極めて無造作に残る文大、商大、慶大、東大を撃破して四シーズン連覇の業を成し遂げた従來の例によると遠征選手を交へると兎角失敗かちのものであるが早大がこの事なくして成功を収めたものは個々の技術の向上の上に精神的融合に導き得た成功が潜んでゐるのを見逃せない

方法

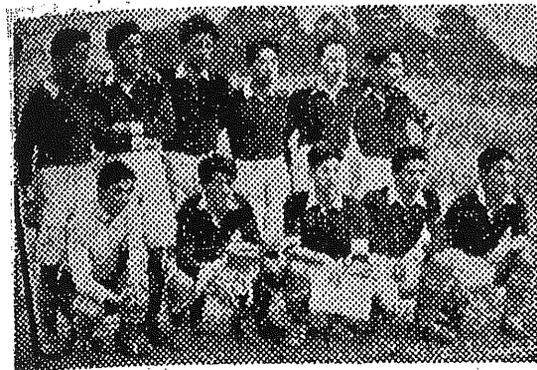
つて意見もあらうが緊急對策として第一、二軍の練習試合を連日試みたのが融合の誘導にあつてゐる、偶々練習試合において懸される懸解が肝腎な試合の上にはあらはれたといふもその影響するところは些程大きなものではない

早大連覇期は3Fの型を混用する事により準備力の増強を期したと云ふ、また、早大の準備不足

※ 次のページにつづく

フットワークの優秀さなどが攻撃力を数段と引上げチームとして強力なものとはしてゐるがその因をさぐれば精神力の融合が早大の四年連覇の主因であつたと見たい

大軍一部優勝の早大チーム



早大 団体競技の精進と極

またとない事に誰が異存あるや、以て観とすべしである。

この點文大も相似たるものとして見るを得ようし臥薪嘗膽四年振りにカムバックした明大もしかしかきいふを得るだらうし破産に瀕した中大が第二部に進出するを得たのもイレゾンの強力なる精神力に生きた賜物ではないか

前シーズン豫想に反して惨めな戦績を残した慶大が素早く立ち直つて威風堂々と無敗の記録で早大と對戦すると見られたが春の全日本選手権に勝を急いだ曾成専門の轍を踏んだかの感が多い

大事

の對早大戦にはその蓄へられた七割の力より出し得なかつた

早大としては慶大が四つに組み得る力、或はそれ以上の實力を持ち合せる強氣に臨まれた爲めに却つて與と易かつたであらうこの一戦慶大が多少なりともビケ目を感じて臨んでゐたならば強力

試合を進め得ない自覚、これが慶大を遂に持て余さしてはゐなかつたか、敢て慶大の今シーズンに實力を以てしてこの點違算ありと明言するのではないが戦況から推して斯くありたかつたと思ふ

これを技術的に見るならば春より秋において勿論進境の著るしいものを認めたがチーム編成の辛苦はさる事ながら二宮をインサイドに据ゑる事の効果考へさせられるものがあつた

何事

によらずスタートの肝腎である事はこれを一例としても差文はあるまい、文大は松永チームの精名さへ感じられたがムラのあるのは早大のみならず

永を中心によい選手をそろせてゐるたゞは見逃せぬ

商大はスタートで拾ひ幸運に乗り慶大また東大の重物を喰つてスタートよく出たが断髪令の實施も効なく尻切れ鱈の嘆を残して止み、破竹の勢を見せて全勝し明大と入れ替る事になつた商大にしても慶大にしても個々の技倆はまだ完成を見ずいづれも氷を踏むの思ひで試合を運ぶ不甲斐なさを捨てねばならない

第二

部に於ては明立共に闘争を争ふものと見られたが立大は興變のあとで陣容整備に至らず胆大の度胸なき試合振りに或は押し切れるかとも見えなが遂にこの試合を落したのが今シーズンの復活により次シーズン不安を残して終始するよりもこの結果の方が立大のため幸ひするものと見たい

手不足の拓大の好戦續の前に法大は激起の要がありはしないか初年度の股を破るためには今

た京大が新興神戸商大に制され、傳統を誇る關學がまた神戸商大と引分けて再試合により覇を争つた結果神戸商大が初の稱覇となつた

巨星

大谷を中心として先進戸商大のこの飛躍は球界にとり啓蒙の鐘ともなつた

關東の覇者早大を甬甲子園に邀へて好戦の末3-2の惜敗に終り健闘を絶讃されたがこの一戦の結果を見て關東西の力量は些して隔たるところなしと見るならばそれは謬れる見方といはねばならない早大の辛勝とはなつたが激撃の地の利だけでも早大を見るために加算して今後に處して欲しい

とすには又たどういふであらう

南西は往時の海軍らしい姿の色を

ある(山田を)

關東中等蹴球大會

組合せ決る

愈明二十五日を第一日として開く關東蹴球協會主催本社後援の第四回關東中等學校府縣對抗蹴球選手權大會の組合せ及び審判打合せの關東蹴球協會理事會は二十三日午後開催されたが組合せは抽籤に依り左の如く決定した

決勝 準決勝

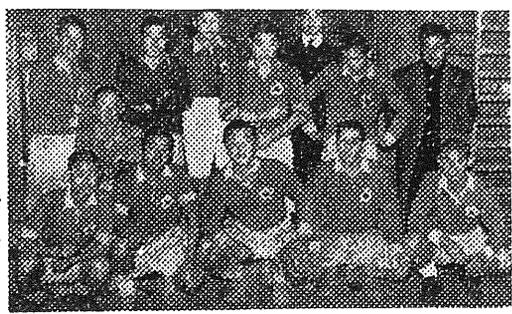
勝者 十時					
二時	二時	二時	二時	二時	二時
勝者 十一時					
勝者 一時					
勝者 二時半					
千葉師範	豊島師範	藤岡師範	宇都宮師範	藤岡師範	藤岡師範
茨城師範	茨城師範	茨城師範	茨城師範	茨城師範	茨城師範
茨城師範	茨城師範	茨城師範	茨城師範	茨城師範	茨城師範
茨城師範	茨城師範	茨城師範	茨城師範	茨城師範	茨城師範
茨城師範	茨城師範	茨城師範	茨城師範	茨城師範	茨城師範
茨城師範	茨城師範	茨城師範	茨城師範	茨城師範	茨城師範

老練再登場

關東中等蹴球代表打診

東京—豊島師

本年に入つて一躍躍頭した府立八中に夏の全國大會東京地方選では2-0で敗れ代表の光榮を逸したが水高主催の近畿中等學校大會で埼玉師範を2-1で破り決勝戦で茨城師範を3-2に破つてから漸く對八中戦後のスランプから脱し秋のリーグ戦では青山師範、府立八中等と共に本大會第二次豫選出場資格を得、青山師範が辛くも府立八中を仆し豊島對青山の東京代表争覇となり2-1で引分け再戦した末これを5-1で撃破して遂に再び東京代表として出場する事になつた



地元東京府代表は前回の覇者豊島師範が連戦出場する事になつた

傾けて試合を運ぶ老練さは見逃せない、二十日寒雨の中に商船校を相手として試合するなど悪まれた環境を利用してチーム力の向上を期してゐる

再戦は勿論希望所であらうが敢して語らず無言の修練をつとける所が恐ろしい(豊島は豊島師範チーム)

藤井水原田川貝山黒根木堂持田 關
伊藤青小村前須藤小關並西劍齋

FW 補欠
HB
FB GK

必勝の決意

埼玉縣—埼玉師範

四月以降の戦績からして埼玉師範が無条件で埼玉縣代表に推薦された、次シーズンに備へてチーム編成を修めようとなし得る程の豊富なスタッフである埼玉師範は傳統の誇りをよく繼承してゐる

これで三回連戦の出陣、夏とこの冬の二大會に向つて全生命を打ちこんでゐるといふその意気は侮り難い、FW線の巨星鈴木が起ち得なくなつたが最近ではこの補ひが十分ついたので言つてゐるからこれまた優勝候補として推す事が出来るであらう

試合度胸もメツキリ加はり本年度の最終目標に向つて血みどろの練習をつとけてゐるところ非關中學

が最も警戒を要するといふ事が言かれる

伊藤部長、大島主將のいふところを紹介すればこの最後のビッグミートに於ては實力を遺憾なく發揮する事が出来るであらうと、そして戦へば必ず勝つ、勝たねば止まぬ」と補足する事を忘れなかつた、この決意が如何にして示されるか

田島藤川藤田子口藤田島
明沖近中伊池窪山瀬池大

FW 補欠
HB
FB GK

士氣旺盛

千葉縣—千葉師

千葉縣代表は千葉師範が連戦出場の光榮を擔ふ事になつた

輝く球史を持つ佐倉中學の跡を継ぎ新興東高師中學の追撃をばづしてこの光榮を擔つた千葉師範はFW線の村上、青木の果斷

のブレイが攻撃武器として光り

C 田安田 R B 鈴木のコンビは守備の鐵壁を誇つてゐる、老將二瓶の病も癒えたので出場を見るとなると守備はいよいよ堅く千葉代表としての名をばづかしめる様な事はなからう

士氣の旺盛は代表八チームの中に斷然異彩を放つものであるかも知れない(完)

(2) (5) (1) (1) (2) (2) (5) (5)
(5) (1) (5) (1) (5) (2) (2) (5)
谷上田木橋 司田錦 山木橋 木橋
瀬村吉青本 郡安川 深鈴木 本鈴木高

FW 補欠
HB
FB GK

廿日の運動

◇蹴球(實業團リーグ)

第一生命 3-0 東京瓦斯
ランプダ 7-1 興
日本鋼管 5-1 三共製薬
陸軍技研對航空研は延期

S 11-12-21

關東中等蹴球

第一日のプログラム

いよいよけいこ球界の雄飛を飾る第四回關東中等學校蹴球選手權大會を控へて二十四日午後三時から本社樓上において主將、監督會議を開いて協會役員から種々の注意が與へられ第一日のプログラムを左の如く決定して同四時半散會した

- ◇開會式(午前九時半) ▲入場行進 ▲國旗掲揚、君が代齊唱 ▲開會 ▲試合開始(十時)
 - ▲試合開始(十時)
 - 進 ▲國旗掲揚、君が代齊唱 ▲開會 ▲試合開始(十時)
 - 豊島師 千葉師
 - 藤岡師 埼玉師
 - 宇都宮師 藤岡師
 - 湘南中 茨城師
- 同本大會は晴雨に不拘豫定通り行ふ

S 11-12-25

全國高商蹴球

關東豫選番組

蹴球大會關東豫選は來る廿五、六、七の三日間和泉明大グラウンドで舉行されるが組合せ左の如し

廿五日 第一回戦

A 商大豫對商大專 十一時
B 大倉對横商專 零時半
C 横高商對福島高商 二時

廿六日 準決勝
B勝者對C勝者 零時半
A勝者對高千穂 二時

廿七日 決勝 二時

S 11-12-23

豊島、埼玉師勝つ

関東中等蹴球開幕



関東蹴球界年末の最大行事として「関東中等学校蹴球大会」第一日は廿五日午前九時半から神宮競技場で開演した。定刻八代表校選手の嚴

肅なる入場式後君が代奉唱のうち
に大橋頭高く國旗を掲げ、副生會
長代理の開會の辭選手宣誓と型の
如く終つて午前十時豊島師範對千
葉師範の第一試合が開始された。
霧解けの不良の球場も制覇に燃ゆ
る若人の意氣は物かは、熱と熱、力
と力、技と技を競ふにあますこと
ろなく熱戦を展開した、成績左の
如し【豊島は豊島師對千葉師戦】
【千葉師對小長谷合】小川、
杉田(線)三君審判)

【千葉師】
谷上田木橋司田鍋山木澤
1 4 16
藤村吉青本郡安川深鈴木
FW HB FB GK
藤井木原田川貝山黒根木
5 1 1
伊横青小村前須腰小關並

【豊島師】
埼玉師 15 7 0 0 藤岡中
(埼玉) 8 0 0 0 (群馬)
(藤岡中先戦、山口(主) 粉川、鹽
田(線)三君審判)
【埼玉師】
田島藤川藤田子口藤田島
8 0 0
町沖近中伊池笹山齋池大
FW HB FB GK
崎前藤 村邊田木安田林
0 3 27
宮宮安旭川渡井高山吉小
【藤中】

S 11.12.26

【第一回】朝日招待蹴球大會

ベルリン・オリムピックに初
陣の我が蹴球代表チームは第
二次試合にお
いて優勝國イ
タリーのたぬ
敗れたとはい
へ北歐の強豪
スエーデンを
撃破し一躍
「蹴球日本」の名を認めしむ
種目として躍進を期待される

第一試合(午後零時半)
WMW(早大俱)對 關西學院大學
第二試合(午後二時半)
慶應義塾大學 對 神戸商業大學

關西運動場に東都學生蹴球界
の雙壁WMW(早大俱)なら
びに慶應義塾大學兩チームを
とらつた

明春一月十日

申子園南運動場にて

オリムピック準備第一年に贈る
東西最優秀四チームの對抗試合

S 11.12.26

全國高商蹴球

第一日成績

全國高商蹴球大會豫選第一日は廿五日關西は大阪商大運動場、關東は和泉球場で夫々行はれた

關東豫選	關西豫選	高神	高志	高福	高島	高倉	大科	商大	商大	商大
1 3	1 1	4	11	4	2 2	4	7	1 6	1 6	7
1 0	1 0	1 3	3 8	2 2	1 0	1 1 2 0	0 2	0 2	0 2	0 2
1	2	1	2	1	1	2	2	2	2	2
高和	高和	高和	高和	高和	高和	高和	高和	高和	高和	高和
高和	高和	高和	高和	高和	高和	高和	高和	高和	高和	高和

廿五日の運動

マツダ 5—2 千代田生命

四豪制覇に邁進

本社後援 關東中等蹴球大會

關東蹴球協會主催本社後援の第四回關東中等學校府縣對抗蹴球選手權大會第一日は廿五日午前十時から神宮外苑競技場で豫定の如く第一回戦を終つた

八球群の球児が描く熱戦圖繪はスタンドに陣取る先輩校友や觀衆を全く魅了し嚴寒を征服して年末の最大行事を飾るに相應しいものであつた、地元豊島師範をはじめ埼玉師範、非崎中學、

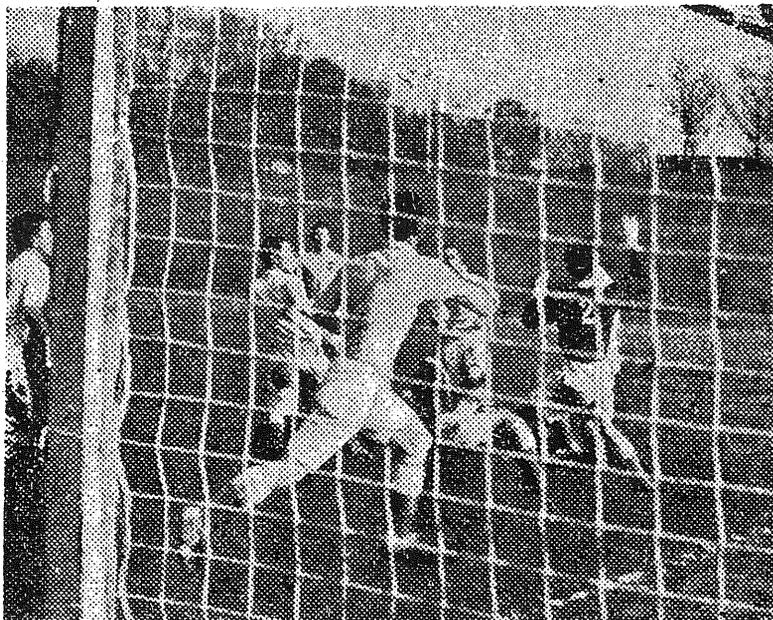
けふの組合せ(神宮)

◇準決勝 豊島師範 對 埼玉師範 (十時)
非崎中學 對 湘南中學 (十一時半)
◇決勝 (午後二時)

湘南中學が四豪として制覇に一歩前進、第二日の準決勝に進む事となつた

非崎中快勝

非崎中學 5 3 1 0 0 宇都宮中 (山梨) 2 1 0 0 (栃木) 宇都宮先鋒、伊藤(主) 鈴木、本堂(三君審判)
◇前半 宇都宮堂々の對陣に試合は冒頭から白熱化し中盤に一進一退し非崎は四分RW上村ドリブルシュートして一點を挙げ十分宇都宮ゴール前に強襲し混戦の際に一點を加へ2-1となる、宇都宮はバックスの好フイード續出するがFW線の整球遅れてパスを截



戦熱の中宮都宇對中崎非

し得點に至らず、非崎は十九分CH吉川の前送球を上村受けてシュートし得點3-1となつて前半を終る
◇後半 七分非崎はLW小倉の右前好パスをRI小林とつて宇都宮GK土山の逆を働いて得點、宇都宮は二十分自陣のFKで好機を迎へたが非崎GK功刀の好防に阻まれ止む、非崎は二十八分CH吉川強直球ゴール左を割り更に一點を加へ5-1で勝つ

【非崎中】
倉山木林村澤川水切田刀
小中鈴小上小吉清小細功
FW HB FB GK
野井田綱柿原山水崎宇山
越室大石大野横清岩矢士
【宇都宮中】
CKFKGK
1 3 20

湘南中奮戦

湘南中學 3 2 1 0 0 茨城師範 (神奈川) 2 1 0 0 (茨城) 茨城先鋒、工藤(主) 大越、村形(線) 三君審判
◇前半 技倆伯仲中盤に偵察を續けたが十分頃から漸くFW線の好連続で守備を働き試合は白熱、十五分湘南は大田、椎野の好連続で出たが惜しくも返し茨城は十九分市毛、田山のパスで田山シュートしたがゴールを破れず止む、湘南は三分鈴木、浅井、HB線高く投げボールを収めシフト、一點を先取、二十八分湘南はスロインから好パスとなつて出たが無爲

【茨師】
原倉木山倉林川毛上内入
立板茂田四小石市井戸坂
FW HB FB GK
田野草田木宅熊崎口田田
大椎佐増鈴三小三山吉園
【湘南中】
CKFKGK
12 5 3

豊師對千葉師經過

豊島師 9 1 1 千葉師
◇前半 千葉先鋒と共に豊島のゴールに迫つたが在しく豊島は八分LH前川のロング・シュートをRI小松原ハツディングで中継ぎし一點を先取してから千葉の浅いタツクルを巧みに外し乍らボールをそのゴールに近く寄せて得點を重ねて勝敗を決定づけ千葉は自陣に悪戦を續く
◇後半 千葉オーブンに試合を運ぶに至つて豊島陣に攻めたが制球亂れてバックを破れず豊島は強いキツクと好連続で點差を作り、千

決勝は豊師、非中

關東中等準決勝蹴球

關東蹴球協會主催本社後援關東中等學校蹴球大會第二日は二十六日午前十時から神宮外苑競技場で開催、四強豪の寒空を物ともせぬ意氣の戦が展開された
豊島師 2 0 1 0 0 埼玉師 (東京) 2 0 1 0 0 埼玉師 (封土) 埼玉師先鋒、小長谷(主) 大越、久下(線) 三君審判
田島藤川藤口子田藤田島
町沖近中伊山笹池瀧池大
FW HB FB GK
藤井木原田川貝山黒根木
伊横青小村前須腰小關重
【豊師】
CKFKGK
5 7 14

【湘南中】
田野草田木宅熊崎口田田
大椎佐増鈴三小三山吉園
FW HB FB GK
倉山木林村澤川水切田刀
小中鈴小上小吉清小細功
【非崎中】
CKFKGK
9 2 7

埼師將藤岡中經過

豊は二十八分遂に左から割つて出で一點を報い敗戦のうちにも氣を吐いた
埼玉師 15 0 藤岡中
◇前半 二分埼玉は伊藤、近藤、沖島の好送球を沖島シュートして一點を先取しついで五分十二分と強攻を續けてゴールを陥れ前半なかばにして大勢を決す
◇後半 藤岡のキツクよくのびて中盤に競り合ひをつつけたが藤岡の連絡とかく断たれ勝ちでバックスを破れず埼玉は漸次得點を重ねて15-0で大勝を博した

【非崎中】
山梨 4 1 0 0 湘南中 (神奈川) 湘南先鋒、清水(主) 宮本、八田(線) 三君審判
田島藤川藤口子田藤田島
町沖近中伊山笹池瀧池大
FW HB FB GK
藤井木原田川貝山黒根木
伊横青小村前須腰小關重
【豊師】
CKFKGK
5 7 14

葦中の強攻及ばず

豊島師範優勝す

関東中學蹴球終る

関東中學蹴球協會主催本社後援の第四回関東中等學校府縣對抗蹴球選手大會第二日は二十六日午前十時 勝ち残った四精鋭湘南中學(神奈川) 埼玉師範(埼玉) 非崎中學(山梨) と地元を代表する豊島師範、連戦連闘の色も見せず



【写真】(上) 葦崎中對豊島師範の決勝戦後半二十分葦中ゴール前の接戦(下) 美土路本社編輯局長から豊島師範チームに優勝旗授與

【高眞】(上) 葦崎中對豊島師範の決勝戦後半二十分葦中ゴール前の接戦(下) 美土路本社編輯局長から豊島師範チームに優勝旗授與

ら眞紅の大旗と銀牌が授けられ三時二十分大旗高く掲げられた國旗は須貝豊島主將、吉川非崎主將の手により君が代奉唱裡に撤下され優勝豊島、血涙をのんで退出する非崎に稱讃と同情の拍手が觀衆から贈られて二日間の本大會も芽出度く終了を告げた

決勝戦

豊島師範 2-0-1 葦崎中學 (東京) 2-1-1 (山梨) (非崎先鋒、竹腰(主) 笹野、福島(總)三若審判)

◇前半 豊島フル側に陣し非崎の先鋒で開始豊島は五分I横井LW伊藤の好連絡で左側を割つて出で好機となり伊藤シュートしたがGK功刀の好捕で止む、豊島追風を利して強襲をつづけ九分又も左側から攻め立てたが無為、十分頃から試合は漸く中盤に移り二十分非崎は小倉、中山のパスで左側から進んだが豊島バックスの好防となつて止み更に上村右隅から辛くも捌いた球を小林とつて前出せるCH吉川に廻し更にLW小倉に出したが小倉のショット弱く止む、豊島は二十二分右側から進み左前送球をLW伊藤フリー・シュートしたが高くアウトとなる

◇後半 三分非崎はRI小林のパスはLI中山、LW小倉と出で小倉シュートしたがGK重木の正面をついて止む、豊島は六分右CK後、洩れ球を前出せるCH須貝強襲し非崎はGK功刀の逆モーショントとなつて一點を許す、八分豊島RW村田の中前送球は非崎GK失となりLW伊藤シュートして一點を加へ2-0とリード、非崎はFW線乱れてFB線を抜くに至らず豊島速攻を奏して球は非崎陣に集中され非崎苦戦を續く、二十八分非崎はLW小倉ドリヴルして深く出での長蹴はよく伸びてノウタッチのゴールインとなり一點を

削い豊島陣に球を寄せて強攻を續けたが遂に恢復出来ず敗る

【豊師】
藤井木原田川員山黒根木
伊藤青小村前須腰小關並
FW HB FB GK
倉山木林村澤川水切田刀
小中鈴木小吉清小細功

7 2 12
3 6 14
CK FK GK
FK GK

準決勝戦経過

◇前半 非崎は六分LI中山のパスは湘南のLB山口のためカットされたがCF鈴木その球を拾つてシュートし一點を先取、非崎強攻を續けたが湘南バックスの好防にたしく二十九分LW小倉のパスをCF鈴木シュートして得點2-0となる

◇後半 非崎は十四分LI中山、CF鈴木の連絡で出で鈴木ドリヴルシュートして一點を加へ更に十六分CH吉川の右前送球をRI小林とつて鈴木に廻し鈴木中央を割つて出で左前に流すを中山シュート、更に廿二分中山のショットで一點を加へ二十四分小倉の飛球は湘南FB失となり大勝す

豊島師範 2-1-0 埼玉師範

◇前半 埼玉調子の整はぬ間に豊師強攻して四分RW村田ドリブルに進み中央送球し中央の突込悪く點にならぬかと見えたが埼玉RFの軽い返球をRW村田再びとつて軽くキックすれば球は埼玉GKをオーバして豊師最初の一點をあぐ二十一分豊師左から進み埼玉バックスを競り合ひ埼玉の外した球を豊師LW伊藤拾つて斜にシュートすれば埼玉LFのカバー成らず豊師二點をリード

◇後半 埼玉の猛襲を逃れ豊師強豪を降す

△第一回戦

高 神 戸 7 3 4 2 0 2 東京高
高 工 7 3 1 2 0 2 等工藝

高 濱 工 6 3 3 2 1 3 山梨
高 名 古 屋 2 1 1 0 1 1 廣島
高 工 2 1 1 0 1 1 高工島

高 横 濱 6 2 4 1 0 1 高工台

全國高商蹴球 全國高商蹴球大會
豫選第二日成績 豫選第二日成績

日目は廿六日関東は和泉明大球場で準決勝二試合を、關西は大坂商大球場で一回戦残り一試合を舉行

◇關東豫選(準決勝)
高 福 島 7 3 1 2 1 0 0 2 1 3 大倉高
高 商 大 5 2 2 1 0 0 0 0 0 高千穂
高 關 西 豫 選 【大阪電話】
高 松 7 1 6 1 0 0 0 0 0 高長崎
高 商 7 1 6 1 0 0 0 0 0 高商

全國高商蹴球

商大豫科關東代表に

第六回全國高商蹴球大會關東代表選最終日の東京商大豫科對福島高商優勝戦は二十七日午後一時から和泉明大球場で商大豫科優勝關東代表となる

商大豫 3 21 0 1 福島

【商大豫】

水岡尾井田堂山川野橋澤 7 3 15 0
清松池金吉二片荒早高吉
FW HB FB GK CK FK GK
平原川藤 木藤田島崎津 8 4 17 1
片栗及澤 佐伊半桑松島

關西豫選 【大阪電話】

全國高商蹴球大會關西豫選準決勝二試合は二十七日大阪商大で舉行

神戸 5 0 0 0 同志社
高商 5 0 0 0 同志社
名古屋 6 2 4 1 1 2 高商松

濱松、横濱勝つ

高工蹴球準決勝

二日は二十七日午前十一時から引續き大岡山工大球場で舉行

◇準決勝

濱松 2 0 2 1 10 1 神戸
横濱 5 0 6 1 2 1 3 名古屋

S 11. 12. 28

濱松高工優勝

全國高工蹴球

第八回全國高工蹴球大會最終日の濱松對横濱優勝戦は廿八日午後一時から大岡山工大球場で舉行、濱松は四對一で快勝、本大會四度目の覇を遂げた

濱松高工 4 3 1 0 1 横濱高工

高商蹴球關西

代表は神高商

大會關西地方豫選會第四日の決勝は二十八日甲子園南運動場で舉行

神戸 3 1 2 1 1 1 2 名古屋

神商大優勝

リーグ神戸商大對東京商大の試合は二十八日午後三時から甲子園南運動場で舉行、三一二で神戸商大が勝ち優勝した

神商大 3 2 1 2 0 2 東京商大

S 11. 12. 29

東商大豫優勝

全國高商蹴球

【甲子園電話】三商大主催第六回全國高商蹴球大會決勝東京商大豫科對神戸高商戦は三十日午後一時から甲子園南運動場で木下(主)河本、打越(線)三君審判神戸高商の先蹴で舉行、五對三で東京商大豫科優勝す

商大豫 5 1 4 2 1 3 神戸高商

【神戸】

田垣藤藤田橋野井川井本 11 8 4
横高伊加山小字永前藤橋 15 3 1
FW HB FB GK CK FK
水岡尾井瀬堂山川野橋澤
清松池金吉二片荒早高吉

S 11. 12. 31

東京商大一一位

三商大蹴球

【甲子園電話】三商大蹴球リーグ最終日東京商大對大阪商大戦は三十日午後三時十五分から甲子園南運動場で河本君主審で東京先蹴で舉行、三對一で東京勝ち結局神戸商大二勝で優勝し一勝一敗の東京が第二位、大阪は全敗で第三位となつた

東京 3 3 0 1 0 1 大阪

【大阪】

川鶴村野宮本村井井月森 22 3 0
【戸】竹松佐大富中大石大河 1 15 0
FW HB FB GK CK FK
掛井枝田井田崎西藤木島
大荒浅角村森若小後鈴田

S 11. 12. 31

次期世界蹴球大會

ベルリン・オリムピック大會蹴球部は、決勝の審判の選定に異議を申立て會期中途で脱退引揚げを行つたペルーではその後國際蹴球聯盟に對して聯盟脱退を通牒しその成行を注目されて居たが同聯盟では去る十一月廿八日ベルリンに開催

の委員總會で滿場異議なくペルーの脱退を承認することとなつた、なほ同席上において次期世界選手權大會の開催期日が議せられたがこの結果會期は一九三八年六月四日から十九日まで會場はパリと決定、ドイツが提案したベルリン・オリムピック・スタジアムでの開催は却下された

S 11. 12. 29

ULMIRA 1
ARY'S BY
for wd TW d 1 Fi 1 al
ov. ant
att 00 in
nd
covered
sta Clara's fi
ry's since 192
mph strength
ter to moment

海外スポーツニヨリス